

(公印・契印省略)

総 政 企 第 56 号

令 和 8 年 3 月 26 日

統計委員会委員長

津 谷 典 子 殿

総務大臣

林 芳 正

諮問第203号

農業経営統計調査の変更について（諮問）

標記について、令和8年3月12日付け7統計第865号により農林水産大臣から別添「基幹統計調査の変更について（申請）」のとおり申請があったところ、その承認の適否を判断するに当たり、統計法（平成19年法律第53号）第11条第2項において準用する同法第9条第4項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

(参考：別添の申請関連書類の目次)

農業経営統計調査の生産費調査については、農畜産物ごとに計16種類の調査票を用いて行われていたところ、今回、レイアウトを一新するなど、全ての調査票について、レイアウトの全面見直しが行われます。そして、変更後の調査票は1種類につき40ページを超えるものが多数含まれます。

農林水産省から提出された申請書類では、これら全ての調査票及び新旧対照表が含まれるため、申請書類一式を揃えると、1,600ページを超える膨大なページ数となります。

一方で、変更内容は各調査票において共通する部分も多く、「米」「小麦」「牛乳」の3種類の調査票を使えば、今回の変更内容が全て網羅できますので、限られた時間の中で効率的かつ効果的に御審議いただく観点から、そのみを添付しています。

1. 申請書	1
2. 申請事項記載書（注：調査計画の新旧対照表）	2
➤ 本文部分	
《その1：営農類型別経営統計に係る調査》	2
《その2：農畜産物の生産費統計に係る調査》	16
➤ 別添部分	29
➤ 調査票の新旧対照表（以下3種類の調査票抜粋）	31
《別記様式第3号：米生産費統計調査票（個別経営体）》	31
《別記様式第4号：小麦生産費統計調査票（個別経営体）》	79
《別記様式第18号：牛乳生産費統計調査票》	117
3. 変更後の調査計画（注：申請内容を反映した令和9年調査の調査計画）	166
➤ 本文部分	
《その1：営農類型別経営統計に係る調査》	166
《その2：農畜産物の生産費統計に係る調査》	173
➤ 別添1 農業経営体の定義	179
➤ 別添2 報告者の選定	180
➤ 別添3 調査票（別記様式第1号～22号のうち、以下3種類の調査票抜粋）	183
《別記様式第3号：米生産費統計調査票（個別経営体）》	183
《別記様式第4号：小麦生産費統計調査票（個別経営体）》	231
《別記様式第18号：牛乳生産費統計調査票》	269
➤ 別添4 集計事項一覧	317
➤ 別添5 公表時期	337
4. 農業経営統計調査の必要性等について	338

(公印・契印省略)

7 統計第 8 6 5 号
令和 8 年 3 月 1 2 日

総務大臣 殿

農林水産大臣 鈴木 憲和

基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成19年法律第53号）第11条第1項の規定に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

農業経営統計調査

主管部課	大臣官房統計部経営・構造統計課		
事務担当者	統計管理官 吉江 健司	電話 e-mail	03(3591)0923 kenji_yoshie570@maff.go.jp
	課長補佐 野田 英隆 (営農類型別経営統計班)	電話 e-mail	03(6744)2043 hidetaka_noda540@maff.go.jp

申請事項記載書

別紙

- 1 調査の名称 農業経営統計調査
- 2 変更の内容

<目次>

- ◆調査計画本文（その1：経営統計調査）・・ P 1
- ◆調査計画本文（その2：生産費調査）・・ P15
- ◆別添1～5・・ P28
- ◆調査票・・ P30

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>調査計画</p> <p>1 調査の名称 農業経営統計調査^(注1) <u>(その1：営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）</u> <u>(注1) 農業経営統計調査は、経営統計調査及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の2種類とする。</u></p> <p>2 調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲（<input type="checkbox"/>個人 <input checked="" type="checkbox"/>世帯 <input type="checkbox"/>事業所 <input checked="" type="checkbox"/>企業・法人・団体 <input type="checkbox"/>地方公共団体 <input type="checkbox"/>その他） 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照）とし、次の区分とする。</p> <p><u>(削る)</u> <u>ア 個人経営体</u></p>	<p>調査計画</p> <p>1 調査の名称 農業経営統計調査</p> <p>2 調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲（<input type="checkbox"/>個人 <input checked="" type="checkbox"/>世帯 <input type="checkbox"/>事業所 <input checked="" type="checkbox"/>企業・法人・団体 <input type="checkbox"/>地方公共団体 <input type="checkbox"/>その他） 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、<u>営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。</u> <u>ア 経営統計調査</u> <u>(ア) 個人経営体</u></p>	<p>調査の内容、変更の実施年により調査計画本体を経営統計調査と生産費調査に分割する。 そのため、便宜的に現行調査計画を「変更前」に記載し、比較している。 経営統計調査を「その1」として整理 分割に合わせて整理 ※当該調査について内容の変更なし（以下、同様）。</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																																																
<p>世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体</p> <p><u>イ 法人経営体</u> 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 <u>(削る)</u> 4,526 経営体 (母集団の大きさ : 969,279 経営体) (内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>○個人経営体</td> <td>3,665 (母集団の大きさ(以下同じ)942,155)</td> </tr> <tr> <td>水田作</td> <td>768 (520,198)</td> </tr> <tr> <td>畑作</td> <td>826 (58,800)</td> </tr> <tr> <td>野菜作</td> <td>818 (159,191)</td> </tr> <tr> <td>果樹作</td> <td>556 (126,808)</td> </tr> <tr> <td>花き作</td> <td>147 (19,312)</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>88 (11,104)</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>307 (25,982)</td> </tr> <tr> <td>養豚</td> <td>70 (1,200)</td> </tr> <tr> <td>採卵養鶏</td> <td>15 (980)</td> </tr> <tr> <td>ブロイラー養鶏</td> <td>20 (965)</td> </tr> <tr> <td>その他(注2)</td> <td>50 (17,615)</td> </tr> </table> <p>(注2)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの当農類型のいずれにも分類されない営農(芝、軽種馬(競走用仔馬)、養蜂等)の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計(個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計)を作成する際にのみ用いる。</p>	○個人経営体	3,665 (母集団の大きさ(以下同じ)942,155)	水田作	768 (520,198)	畑作	826 (58,800)	野菜作	818 (159,191)	果樹作	556 (126,808)	花き作	147 (19,312)	酪農	88 (11,104)	肉用牛	307 (25,982)	養豚	70 (1,200)	採卵養鶏	15 (980)	ブロイラー養鶏	20 (965)	その他(注2)	50 (17,615)	<p>世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体</p> <p><u>(イ) 法人経営体</u> 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p><u>イ 生産費調査</u> <u>(ア) 個別経営体</u> 世帯による事業を行う経営体(法人格を有する経営体を含む。)</p> <p><u>(イ) 組織法人経営体</u> 個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 <u>ア 経営統計調査</u> 4,526 経営体 (母集団の大きさ : 969,279 経営体) (内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>○個人経営体</td> <td>3,665 (母集団 942,155)</td> </tr> <tr> <td>水田作</td> <td>768 (母集団 520,198)</td> </tr> <tr> <td>畑作</td> <td>826 (母集団 58,800)</td> </tr> <tr> <td>野菜作</td> <td>818 (母集団 159,191)</td> </tr> <tr> <td>果樹作</td> <td>556 (母集団 126,808)</td> </tr> <tr> <td>花き作</td> <td>147 (母集団 19,312)</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>88 (母集団 11,104)</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>307 (母集団 25,982)</td> </tr> <tr> <td>養豚</td> <td>70 (母集団 1,200)</td> </tr> <tr> <td>採卵養鶏</td> <td>15 (母集団 980)</td> </tr> <tr> <td>ブロイラー養鶏</td> <td>20 (母集団 965)</td> </tr> <tr> <td>その他(注1)</td> <td>50 (母集団 17,615)</td> </tr> </table> <p>(注1)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの 13 当農類型のいずれにも分類されない営農(芝、軽種馬(競走用仔馬)、養蜂等)の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計(個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計)を作成する際にのみ用いる。</p>	○個人経営体	3,665 (母集団 942,155)	水田作	768 (母集団 520,198)	畑作	826 (母集団 58,800)	野菜作	818 (母集団 159,191)	果樹作	556 (母集団 126,808)	花き作	147 (母集団 19,312)	酪農	88 (母集団 11,104)	肉用牛	307 (母集団 25,982)	養豚	70 (母集団 1,200)	採卵養鶏	15 (母集団 980)	ブロイラー養鶏	20 (母集団 965)	その他(注1)	50 (母集団 17,615)	<p>分割に合わせて整理</p> <p>記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p>
○個人経営体	3,665 (母集団の大きさ(以下同じ)942,155)																																																	
水田作	768 (520,198)																																																	
畑作	826 (58,800)																																																	
野菜作	818 (159,191)																																																	
果樹作	556 (126,808)																																																	
花き作	147 (19,312)																																																	
酪農	88 (11,104)																																																	
肉用牛	307 (25,982)																																																	
養豚	70 (1,200)																																																	
採卵養鶏	15 (980)																																																	
ブロイラー養鶏	20 (965)																																																	
その他(注2)	50 (17,615)																																																	
○個人経営体	3,665 (母集団 942,155)																																																	
水田作	768 (母集団 520,198)																																																	
畑作	826 (母集団 58,800)																																																	
野菜作	818 (母集団 159,191)																																																	
果樹作	556 (母集団 126,808)																																																	
花き作	147 (母集団 19,312)																																																	
酪農	88 (母集団 11,104)																																																	
肉用牛	307 (母集団 25,982)																																																	
養豚	70 (母集団 1,200)																																																	
採卵養鶏	15 (母集団 980)																																																	
ブロイラー養鶏	20 (母集団 965)																																																	
その他(注1)	50 (母集団 17,615)																																																	

変 更 案		変 更 前		変 更 理 由
○法人経営体	861 (27, 124)	○法人経営体	861 (母集団 27, 124)	記載の適正化
水田作 (集落営農)	111 (4, 538)	水田作 (集落営農)	111 (母集団 4, 538)	
水田作 (集落営農以外)	153 (3, 698)	水田作 (集落営農以外)	153 (母集団 3, 698)	
畑作	126 (3, 189)	畑作	126 (母集団 3, 189)	
野菜作	100 (4, 848)	野菜作	100 (母集団 4, 848)	
果樹作	98 (1, 541)	果樹作	98 (母集団 1, 541)	
花き作	65 (1, 113)	花き作	65 (母集団 1, 113)	
酪農	26 (1, 660)	酪農	26 (母集団 1, 660)	
肉用牛	38 (1, 612)	肉用牛	38 (母集団 1, 612)	
養豚	45 (1, 278)	養豚	45 (母集団 1, 278)	
採卵養鶏	58 (892)	採卵養鶏	58 (母集団 892)	
ブロイラー養鶏	16 (434)	ブロイラー養鶏	16 (母集団 434)	
その他 (注3)	25 (2, 321)	その他 (注2)	25 (母集団 2, 321)	分割に合わせて整理 記載の適正化
(注3)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農 (芝、軽種馬 (競走用仔馬)、養蜂等) の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計 (法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計) を作成する際のみ用いる。		(注2)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの 13 営農類型のいずれにも分類されない営農 (芝、軽種馬 (競走用仔馬)、養蜂等) の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計 (法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計) を作成する際のみ用いる。		
<u>(削る)</u>		イ 生産費調査 3, 832 経営体 (母集団の大きさ : 848, 839 経営体) (内訳)		分割に合わせて整理
		○個別経営体	3, 385 (母集団 833, 033)	
		《農産物生産費統計》		
		米生産費	818 (母集団 673, 743)	
		小麦生産費	396 (母集団 26, 298)	
		二条大麦生産費	70 (母集団 6, 728)	
		六条大麦生産費	47 (母集団 2, 191)	
		はだか麦生産費	38 (母集団 1, 097)	
		そば生産費	112 (母集団 17, 354)	
		大豆生産費	398 (母集団 32, 769)	
		原料用かんしょ生産費	63 (母集団 2, 243)	
		原料用ばれいしょ生産費	71 (母集団 1, 942)	
		なたね生産費	45 (母集団 523)	
		てんさい生産費	68 (母集団 6, 381)	
		さとうきび生産費	114 (母集団 10, 451)	

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																																										
<p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出) <u>(削る)</u></p> <p>個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する(注4)。</p> <p>詳細については、別添2のとおり。</p> <p><u>(注4)</u> 次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<table border="0"> <tr> <td colspan="3"><u>《畜産物生産費統計》</u></td> </tr> <tr> <td>牛乳生産費</td> <td>402 (母集団)</td> <td>12,123)</td> </tr> <tr> <td>去勢若齢肥育牛生産費</td> <td>221 (母集団)</td> <td>6,807)</td> </tr> <tr> <td>乳用雄肥育牛生産費</td> <td>74 (母集団)</td> <td>623)</td> </tr> <tr> <td>交雑種肥育牛生産費</td> <td>63 (母集団)</td> <td>1,305)</td> </tr> <tr> <td>子牛生産費</td> <td>208 (母集団)</td> <td>28,390)</td> </tr> <tr> <td>乳用雄育成牛生産費</td> <td>39 (母集団)</td> <td>415)</td> </tr> <tr> <td>交雑種育成牛生産費</td> <td>47 (母集団)</td> <td>1,041)</td> </tr> <tr> <td>肥育豚生産費</td> <td>91 (母集団)</td> <td>1,329)</td> </tr> <tr> <td>○組織法人経営体</td> <td>447 (母集団)</td> <td>15,806)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><u>《農産物生産費統計》</u></td> </tr> <tr> <td>米生産費</td> <td>176 (母集団)</td> <td>9,394)</td> </tr> <tr> <td>小麦生産費</td> <td>100 (母集団)</td> <td>2,577)</td> </tr> <tr> <td>大豆生産費</td> <td>171 (母集団)</td> <td>3,835)</td> </tr> </table> <p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出) <u>ア 経営統計調査</u></p> <p>個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</p> <p>詳細については、別添2のとおり。</p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u></p> <p><u>2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ご</u></p>	<u>《畜産物生産費統計》</u>			牛乳生産費	402 (母集団)	12,123)	去勢若齢肥育牛生産費	221 (母集団)	6,807)	乳用雄肥育牛生産費	74 (母集団)	623)	交雑種肥育牛生産費	63 (母集団)	1,305)	子牛生産費	208 (母集団)	28,390)	乳用雄育成牛生産費	39 (母集団)	415)	交雑種育成牛生産費	47 (母集団)	1,041)	肥育豚生産費	91 (母集団)	1,329)	○組織法人経営体	447 (母集団)	15,806)	<u>《農産物生産費統計》</u>			米生産費	176 (母集団)	9,394)	小麦生産費	100 (母集団)	2,577)	大豆生産費	171 (母集団)	3,835)	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>
<u>《畜産物生産費統計》</u>																																												
牛乳生産費	402 (母集団)	12,123)																																										
去勢若齢肥育牛生産費	221 (母集団)	6,807)																																										
乳用雄肥育牛生産費	74 (母集団)	623)																																										
交雑種肥育牛生産費	63 (母集団)	1,305)																																										
子牛生産費	208 (母集団)	28,390)																																										
乳用雄育成牛生産費	39 (母集団)	415)																																										
交雑種育成牛生産費	47 (母集団)	1,041)																																										
肥育豚生産費	91 (母集団)	1,329)																																										
○組織法人経営体	447 (母集団)	15,806)																																										
<u>《農産物生産費統計》</u>																																												
米生産費	176 (母集団)	9,394)																																										
小麦生産費	100 (母集団)	2,577)																																										
大豆生産費	171 (母集団)	3,835)																																										

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>(削る)</u></p> <p>(3) 報告義務者</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>ア 農業経営体を代表する者</p> <p>イ 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注5)の職員又は経営統計調査に係る事務を受託した民間事業者(以下「民間事業者」という。)が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</p> <p>(注5)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-1、3-2)を参照)</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>《基本項目》</p> <p>ア 経営体の現況に関する事項</p> <p>イ 損益計算書に関する事項</p> <p>ウ 事業収支の概要</p> <p>エ 保有する土地面積の状況</p> <p>オ 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項</p> <p>カ 制度受取金・積立金等に関する事項</p>	<p><u>とに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u></p> <p><u>詳細については、別添2のとおり。</u></p> <p>ウ 共通事項</p> <p><u>今回の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。</u></p> <p>(3) 報告義務者</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p><u>(ア) 農業経営体を代表する者</u></p> <p><u>(イ) 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注3)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者(以下「民間事業者」という。)が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</u></p> <p>(注3)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p>イ 生産費調査</p> <p><u>(ア) 農業経営体を代表する者</u></p> <p><u>(イ) 農業経営体を代表する者が報告できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</u></p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-1から3-18まで)を参照。)</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p>《基本項目》</p> <p><u>(ア) 経営体の現況に関する事項</u></p> <p><u>(イ) 損益計算書に関する事項</u></p> <p><u>(ウ) 事業収支の概要</u></p> <p><u>(エ) 保有する土地面積の状況</u></p> <p><u>(オ) 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項</u></p> <p><u>(カ) 制度受取金・積立金等に関する事項</u></p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>キ</u> 労働に関する事項 《詳細項目》 <u>ク</u> 貸借対照表に関する事項 <u>ケ</u> 投資と資金調達の状況 <u>コ</u> 役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）</p> <p>なお、<u>ク</u>及び<u>ケ</u>については、個人経営体のうち主業経営体（注6）、準主業経営体（注7）及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体（注8）（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。</p> <p>（注6）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>（注7）「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>（注8）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。</p> <p>〔集計しない事項の有無〕 □無 ■有</p> <p><u>経営統計調査は、農業経営体の経営の実態について詳細に報告を求めるとともに、調査票への記入に代えて関係資料の開示等についても許容していることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（経営している土地があるか等）及び関係資料の開示等を確認する事項（青色申告決算書（農業所得用）の提供の有無等）を含む。</u></p> <p><u>（削る）</u></p>	<p><u>（キ）</u> 労働に関する事項 《詳細項目》 <u>（ク）</u> 貸借対照表に関する事項 <u>（ケ）</u> 投資と資金調達の状況 <u>（コ）</u> 役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）</p> <p>なお、<u>（ク）</u>及び<u>（ケ）</u>については、個人経営体のうち主業経営体（注4）、準主業経営体（注5）及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体（注6）（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。</p> <p>（注4）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>（注5）「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>（注6）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。</p> <p>〔集計しない事項の有無〕 □無 ■有</p> <p><u>（イ）～（コ）のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u> <u>（ア）経営の概況</u> <u>（イ）生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況</u> <u>（ウ）調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項</u> <u>（エ）物件税及び公課諸負担に関する事項</u> <u>（オ）土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）</u> <u>（カ）消費税（畜産物生産費のみ）</u></p>	<p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由								
<p>(2) 基準となる期日又は期間^(注9)</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>ア 個人経営体 毎年1月1日から12月31日までの1年間</p> <p>イ 法人経営体 毎年、決算の対象となった1年間</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(注9) 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。</p>	<p>(キ) 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項</p> <p>(ク) 出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）</p> <p>(ケ) 建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況</p> <p>(コ) 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況</p> <p>(サ) 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況</p> <p>(シ) 農具の購入費等に関する事項</p> <p>(ス) 搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）</p> <p>(セ) 土地の面積及び地代に関する事項</p> <p>(ソ) 労働に関する事項</p> <p>(タ) 乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）</p> <p>[集計しない事項の有無] <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有</p> <p>(2) 基準となる期日又は期間</p> <p>ア 経営統計調査^(注7)</p> <p><u>(ア)</u> 個人経営体 毎年1月1日から12月31日まで</p> <p><u>(イ)</u> 法人経営体 毎年、決算の対象となった<u>年の</u>1年間</p> <p>イ 生産費調査</p> <p><u>生産サイクル（収穫終了月までの1年間）^(注7)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。</u></p> <table border="1" data-bbox="972 1042 1749 1332"> <thead> <tr> <th>農畜産物</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚</td> <td>毎年1月1日 から12月31日</td> </tr> <tr> <td>さとうきび</td> <td>毎年4月1日 から3月31日</td> </tr> <tr> <td>小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね</td> <td>毎年9月1日 から8月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注7) 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、経営統計調査に係る法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。また、生産費調査において、2つの暦年にまたがる品目に</p>	農畜産物	期間	米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日 から12月31日	さとうきび	毎年4月1日 から3月31日	小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日 から8月31日	<p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p>
農畜産物	期間									
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日 から12月31日									
さとうきび	毎年4月1日 から3月31日									
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日 から8月31日									

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>6 報告を求めるために用いる方法</p> <p>(1) 調査系統</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>ア 経営統計調査のみの報告者 農林水産省 - 民間事業者 - 報告者 └ 民間調査員 ┘ (注10)</p> <p>(注10) 民間事業者が雇用する調査員をいう。</p> <p>イ 生産費調査の報告者を兼ねる者</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>農林水産省 - <u>地方農政局等</u>^(注11) - 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注12)</p> <p><u>(注11)</u> 地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を経由して農林水産省との間における事務を行う。</p> <p>(注12) 農林水産省が任命する調査員をいう。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、<u>アに記載する</u>調査系統により実施する。</p>	<p><u>については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。</u></p> <p>6 報告を求めるために用いる方法</p> <p>(1) 調査系統</p> <p>ア <u>経営統計調査</u></p> <p><u>(ア)</u> 経営統計調査のみの報告者 農林水産省 - 民間事業者 - 報告者 └ 民間調査員 ┘ (注8)</p> <p>(注8) 民間事業者が雇用する調査員をいう。</p> <p><u>(イ)</u> 生産費調査の報告者を兼ねる者</p> <p>a <u>地方農政局の管轄区域</u></p> <p>農林水産省 - <u>地方農政局</u> - 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注9)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(注9) 農林水産省が任命する調査員をいう。</p> <p>b <u>北海道</u></p> <p>農林水産省 - <u>北海道農政事務所</u> - 報告者 └ 統計調査員 ┘</p> <p>c <u>沖縄県</u></p> <p>農林水産省 - <u>内閣府沖縄総合事務局</u> - <u>農林水産センター</u> - 報告者 └ 統計調査員 ┘</p> <p>なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、<u>経営統計調査の部分について、(ア)に記載の</u>調査系統</p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>注意書きを付すことで記載を一本化</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>(削る)</p> <p>(2) 調査方法 <input checked="" type="checkbox"/> 郵送調査 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン調査 (<input checked="" type="checkbox"/> 政府統計共同利用システム <input checked="" type="checkbox"/> 独自のシステム <input type="checkbox"/> 電子メール) <input checked="" type="checkbox"/> 調査員調査 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員調査) 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、<u>経営統計調査のみの報告者であるか、生産費調査の報告者を兼ねるものであるかの区分に応じて、以下のとおり、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に対して、決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示若しくは提供又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員、統計調査員又は民間事業者が調査票に記入する方法 (他計報告) により行う場合もある。</u></p> <p>(削る) ア 調査票の配布 (ア) 経営統計調査のみの報告者 民間事業者が郵送で配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告</p>	<p>により実施する。</p> <p>イ 生産費調査 (ア) 地方農政局の管轄区域 農林水産省 - 地方農政局 - 報告者 └ 統計調査員 ┘</p> <p>(イ) 北海道 農林水産省 - 北海道農政事務所 - 報告者 └ 統計調査員 ┘</p> <p>(ウ) 沖縄県 農林水産省 - 内閣府沖縄総合事務局 - 農林水産センター - 報告者 └ 統計調査員 ┘</p> <p>(2) 調査方法 <input checked="" type="checkbox"/> 郵送調査 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン調査 (<input checked="" type="checkbox"/> 政府統計共同利用システム <input checked="" type="checkbox"/> 独自のシステム <input type="checkbox"/> 電子メール) <input checked="" type="checkbox"/> 調査員調査 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員調査) 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。</p> <p>ア 経営統計調査 (ア) 調査票の配布 a 経営統計調査のみの報告者 民間事業者が郵送で配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報</p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、<u>前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票に</u>あらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p><u>(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者</u> 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、<u>前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票に</u>あらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p><u>イ 調査票の提出等</u> <u>(ア) 経営統計調査のみの報告者</u> 次のいずれかの方法により行う。 <u>a</u> 報告者が郵送により、<u>民間事業者</u>に提出する。 <u>b</u> 民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 <u>c</u> 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 <u>d</u> 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は、<u>民間調査員</u>が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</p> <p><u>(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者</u> 次のいずれかの方法により行う。 <u>a</u> 報告者が郵送により、<u>地方農政局等</u>に提出する。 <u>b</u> 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 <u>c</u> 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 <u>d</u> 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は、<u>地方農政局等の職員若しくは統計調査員</u>が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p>告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、<u>前年の調査票情報をあらかじめ調査票に</u>印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p><u>b</u> 生産費調査の報告者を兼ねる者 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、<u>前年の調査票情報をあらかじめ調査票に</u>印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p><u>(イ) 調査票の提出等</u> <u>a</u> 経営統計調査のみの報告者 次のいずれかの方法により行う。 <u>①</u> 報告者が郵送により提出する。 <u>②</u> 民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 <u>③</u> 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 <u>④</u> 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、<u>政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム</u>（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</p> <p><u>b</u> 生産費調査の報告者を兼ねる者 次のいずれかの方法により行う。 <u>①</u> 報告者が郵送により提出する。 <u>②</u> 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 <u>③</u> 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 <u>④</u> 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、<u>政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム</u>により提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</p>	<p>記載の適正化</p>
	<p><u>イ 生産費調査</u> <u>(ア) 調査票の配布</u> <u>地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。</u></p>	<p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>7 報告をを求める期間 (1) (略)</p> <p>(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限 <u>(削る)</u> 調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p><u>なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告をを求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</u></p> <p><u>また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成15年法律第72号)に基づき農林水産省が保有(データベースの管理は(独)家畜改良センターが実施)している牛個体識別台帳(トレーサビリティデータ)を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。</u></p> <p><u>(イ) 調査票の提出等</u> <u>次のいずれかの方法により行う。</u></p> <p><u>① 報告者が郵送により提出する。</u></p> <p><u>② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</u></p> <p><u>③ 報告者が電子化した調査票を独自のシステムにより提出する。</u></p> <p><u>④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</u></p> <p>7 報告をを求める期間 (1) (略)</p> <p>(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限 <u>ア 経営統計調査</u> 調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。</p> <p><u>イ 生産費調査</u> 調査票は、5(2)のイに掲げる期間前に配布し、提出期限に</p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>8 集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(1) 営農類型別経営統計 ア 個人経営体 (ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) プロイラー養鶏経営</p> <p>なお、<u>5 (1) のク及びケ</u>については、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。</p> <p>イ・ウ (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p>については、<u>同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。</u></p> <p>8 集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p><u>《経営統計調査》</u></p> <p>(1) 営農類型別経営統計 ア 個人経営体 (ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) プロイラー養鶏経営</p> <p>なお、<u>5 (1) アの(ク)及び(ケ)</u>については、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。</p> <p>イ・ウ (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p><u>《生産費調査》</u></p> <p>(3) 農産物生産費統計 ア 個別経営体 <u>(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、(エ) 六条大麦生産費、(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、(キ) 大豆生産費、(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、(コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、(シ) さとうきび生産費</u></p> <p>イ 組織法人経営体 <u>(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費</u></p> <p>(4) 畜産物生産費統計 (個別経営体) ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛</p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																		
<p>9 調査結果の公表の方法及び期日 (1) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧) <u>(削る)</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>10 使用する統計基準等 □使用する → □日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 () ■使用しない <u>経営統計調査</u>では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="159 900 943 1331"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票 (注13)</td> <td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年</td> <td><u><経営統計調査のみの報告者に係るもの></u> 農林水産省大臣官房統計部長 <u><生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの></u> 地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注13) 記入済みの調査票とは、調査票の記入に代えて提出された決算書類等を含む。</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票 (注13)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	<u><経営統計調査のみの報告者に係るもの></u> 農林水産省大臣官房統計部長 <u><生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの></u> 地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長	<p><u>生産費、エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成牛生産費、キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費</u></p> <p>9 調査結果の公表の方法及び期日 (1) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧) <u>調査結果は、e-Stat 及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>10 使用する統計基準等 □使用する → □日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 () ■使用しない <u>本調査</u>では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="974 900 1751 1155"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票 (注10)</td> <td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注10) 記入済みの調査票とは、<u>経営統計調査</u>において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票 (注10)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長	<p>記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p>
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票 (注13)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	<u><経営統計調査のみの報告者に係るもの></u> 農林水産省大臣官房統計部長 <u><生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの></u> 地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長																		
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票 (注10)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長																		

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>12 立入検査等の対象とすることができる事項</p> <p>経営統計調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5（1）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</p>	<p>12 立入検査等の対象とすることができる事項</p> <p>本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5（1）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</p>	<p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>調査計画</p> <p>1 調査の名称 <u>農業経営統計調査</u>^(注1) (その2：農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）) <u>(注1) 農業経営統計調査は、生産費調査及び営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）の2種類とする。</u></p> <p>2 調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、<u>農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）</u>を作成し、<u>農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。</u></p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲（<input type="checkbox"/>個人 <input checked="" type="checkbox"/>世帯 <input type="checkbox"/>事業所 <input checked="" type="checkbox"/>企業・法人・団体 <input type="checkbox"/>地方公共団体 <input type="checkbox"/>その他） <u>農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照）とし、次の区分とする。</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u> <u>ア 個別経営体</u> 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）</p> <p><u>イ 組織法人経営体</u></p>	<p>調査計画</p> <p>1 調査の名称 農業経営統計調査</p> <p>2 調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、<u>農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）</u>を作成し、<u>農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。</u></p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲（<input type="checkbox"/>個人 <input checked="" type="checkbox"/>世帯 <input type="checkbox"/>事業所 <input checked="" type="checkbox"/>企業・法人・団体 <input type="checkbox"/>地方公共団体 <input type="checkbox"/>その他） <u>農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、<u>営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。</u></u></p> <p><u>ア 経営統計調査</u> <u>(ア) 個人経営体</u> <u>世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体</u> <u>(イ) 法人経営体</u> <u>世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u> <u>(ア) 個別経営体</u> 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。） <u>(イ) 組織法人経営体</u></p>	<p>調査の内容、変更の実施年により調査計画本体を経営統計調査と生産費調査に分割する。 そのため、便宜的に現行調査計画を「変更前」に記載し、比較している。 生産費調査を「その2」として整理</p> <p>分割に合わせて整理 ※当該調査について内容の変更なし（以下、同様）。</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																																																																		
<p>個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 <u>(削る)</u></p>	<p>個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 ア 経営統計調査 4,526 経営体 (母集団の大きさ : 969,279 経営体) (内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>○個人経営体</td> <td>3,665 (母集団)</td> <td>942,155)</td> </tr> <tr> <td>水田作</td> <td>768 (母集団)</td> <td>520,198)</td> </tr> <tr> <td>畑作</td> <td>826 (母集団)</td> <td>58,800)</td> </tr> <tr> <td>野菜作</td> <td>818 (母集団)</td> <td>159,191)</td> </tr> <tr> <td>果樹作</td> <td>556 (母集団)</td> <td>126,808)</td> </tr> <tr> <td>花き作</td> <td>147 (母集団)</td> <td>19,312)</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>88 (母集団)</td> <td>11,104)</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>307 (母集団)</td> <td>25,982)</td> </tr> <tr> <td>養豚</td> <td>70 (母集団)</td> <td>1,200)</td> </tr> <tr> <td>採卵養鶏</td> <td>15 (母集団)</td> <td>980)</td> </tr> <tr> <td>ブロイラー養鶏</td> <td>20 (母集団)</td> <td>965)</td> </tr> <tr> <td>その他^(注1)</td> <td>50 (母集団)</td> <td>17,615)</td> </tr> </table> <p>(注1)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13 営農類型のいずれにも分類されない営農(芝、軽種馬(競走用仔馬)、養蜂等)の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計(個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計)を作成する際にのみ用いる。</p> <table border="0"> <tr> <td>○法人経営体</td> <td>861 (母集団)</td> <td>27,124)</td> </tr> <tr> <td>水田作(集落営農)</td> <td>111 (母集団)</td> <td>4,538)</td> </tr> <tr> <td>水田作(集落営農以外)</td> <td>153 (母集団)</td> <td>3,698)</td> </tr> <tr> <td>畑作</td> <td>126 (母集団)</td> <td>3,189)</td> </tr> <tr> <td>野菜作</td> <td>100 (母集団)</td> <td>4,848)</td> </tr> <tr> <td>果樹作</td> <td>98 (母集団)</td> <td>1,541)</td> </tr> <tr> <td>花き作</td> <td>65 (母集団)</td> <td>1,113)</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>26 (母集団)</td> <td>1,660)</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>38 (母集団)</td> <td>1,612)</td> </tr> <tr> <td>養豚</td> <td>45 (母集団)</td> <td>1,278)</td> </tr> </table>	○個人経営体	3,665 (母集団)	942,155)	水田作	768 (母集団)	520,198)	畑作	826 (母集団)	58,800)	野菜作	818 (母集団)	159,191)	果樹作	556 (母集団)	126,808)	花き作	147 (母集団)	19,312)	酪農	88 (母集団)	11,104)	肉用牛	307 (母集団)	25,982)	養豚	70 (母集団)	1,200)	採卵養鶏	15 (母集団)	980)	ブロイラー養鶏	20 (母集団)	965)	その他 ^(注1)	50 (母集団)	17,615)	○法人経営体	861 (母集団)	27,124)	水田作(集落営農)	111 (母集団)	4,538)	水田作(集落営農以外)	153 (母集団)	3,698)	畑作	126 (母集団)	3,189)	野菜作	100 (母集団)	4,848)	果樹作	98 (母集団)	1,541)	花き作	65 (母集団)	1,113)	酪農	26 (母集団)	1,660)	肉用牛	38 (母集団)	1,612)	養豚	45 (母集団)	1,278)	<p>分割に合わせて整理</p>
○個人経営体	3,665 (母集団)	942,155)																																																																		
水田作	768 (母集団)	520,198)																																																																		
畑作	826 (母集団)	58,800)																																																																		
野菜作	818 (母集団)	159,191)																																																																		
果樹作	556 (母集団)	126,808)																																																																		
花き作	147 (母集団)	19,312)																																																																		
酪農	88 (母集団)	11,104)																																																																		
肉用牛	307 (母集団)	25,982)																																																																		
養豚	70 (母集団)	1,200)																																																																		
採卵養鶏	15 (母集団)	980)																																																																		
ブロイラー養鶏	20 (母集団)	965)																																																																		
その他 ^(注1)	50 (母集団)	17,615)																																																																		
○法人経営体	861 (母集団)	27,124)																																																																		
水田作(集落営農)	111 (母集団)	4,538)																																																																		
水田作(集落営農以外)	153 (母集団)	3,698)																																																																		
畑作	126 (母集団)	3,189)																																																																		
野菜作	100 (母集団)	4,848)																																																																		
果樹作	98 (母集団)	1,541)																																																																		
花き作	65 (母集団)	1,113)																																																																		
酪農	26 (母集団)	1,660)																																																																		
肉用牛	38 (母集団)	1,612)																																																																		
養豚	45 (母集団)	1,278)																																																																		

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
	<u>採卵養鶏</u> 58 (母集団 892) <u>ブロイラー養鶏</u> 16 (母集団 434) <u>その他</u> (注2) 25 (母集団 2,321) (注2)「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農(芝、軽種馬(競走用仔馬)、養蜂等)の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計(法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計)を作成する際にのみ用いる。	
(削る) <u>3,360 経営体</u> (母集団の大きさ: <u>656,131 経営体</u>) (内訳) ○個別経営体 <u>3,082</u> (母集団の大きさ(以下同じ) <u>640,434</u>) 《農産物生産費統計》 米生産費 <u>720</u> (<u>514,784</u>) 小麦生産費 <u>374</u> (<u>22,466</u>) 二条大麦生産費 <u>60</u> (<u>6,118</u>) 六条大麦生産費 <u>58</u> (<u>1,948</u>) はだか麦生産費 <u>38</u> (<u>846</u>) そば生産費 <u>127</u> (<u>13,262</u>) 大豆生産費 <u>365</u> (<u>25,266</u>) 原料用かんしょ生産費 <u>57</u> (<u>1,010</u>) 原料用ばれいしょ生産費 <u>79</u> (<u>1,543</u>) なたね生産費 <u>36</u> (<u>398</u>) てんさい生産費 <u>61</u> (<u>5,256</u>) さとうきび生産費 <u>96</u> (<u>8,678</u>) 《畜産物生産費統計》 牛乳生産費 <u>350</u> (<u>8,822</u>) 去勢若齢肥育牛生産費 <u>186</u> (<u>5,328</u>) 乳用雄肥育牛生産費 <u>48</u> (<u>465</u>) 交雑種肥育牛生産費 <u>69</u> (<u>1,144</u>) 子牛生産費 <u>199</u> (<u>20,848</u>) 乳用雄育成牛生産費 <u>35</u> (<u>323</u>) 交雑種育成牛生産費 <u>42</u> (<u>1,073</u>) 肥育豚生産費 <u>82</u> (<u>856</u>)	イ <u>生産費調査</u> <u>3,832 経営体</u> (母集団の大きさ: <u>848,839 経営体</u>) (内訳) ○個別経営体 <u>3,385</u> (母集団 <u>833,033</u>) 《農産物生産費統計》 米生産費 <u>818</u> (母集団 <u>673,743</u>) 小麦生産費 <u>396</u> (母集団 <u>26,298</u>) 二条大麦生産費 <u>70</u> (母集団 <u>6,728</u>) 六条大麦生産費 <u>47</u> (母集団 <u>2,191</u>) はだか麦生産費 <u>38</u> (母集団 <u>1,097</u>) そば生産費 <u>112</u> (母集団 <u>17,354</u>) 大豆生産費 <u>398</u> (母集団 <u>32,769</u>) 原料用かんしょ生産費 <u>63</u> (母集団 <u>2,243</u>) 原料用ばれいしょ生産費 <u>71</u> (母集団 <u>1,942</u>) なたね生産費 <u>45</u> (母集団 <u>523</u>) てんさい生産費 <u>68</u> (母集団 <u>6,381</u>) さとうきび生産費 <u>114</u> (母集団 <u>10,451</u>) 《畜産物生産費統計》 牛乳生産費 <u>402</u> (母集団 <u>12,123</u>) 去勢若齢肥育牛生産費 <u>221</u> (母集団 <u>6,807</u>) 乳用雄肥育牛生産費 <u>74</u> (母集団 <u>623</u>) 交雑種肥育牛生産費 <u>63</u> (母集団 <u>1,305</u>) 子牛生産費 <u>208</u> (母集団 <u>28,390</u>) 乳用雄育成牛生産費 <u>39</u> (母集団 <u>415</u>) 交雑種育成牛生産費 <u>47</u> (母集団 <u>1,041</u>) 肥育豚生産費 <u>91</u> (母集団 <u>1,329</u>)	分割に合わせて整理 報告者数を算出するための 母集団を最新の農林業セン サスの結果(2025年結果) を用いて更新すること及び 精度の見直しに伴う報告者 数、母集団の大きさの変更。

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>○組織法人経営体 278 (15,697) 《農産物生産費統計》 米生産費 98 (9,458) 小麦生産費 82 (2,651) 大豆生産費 98 (3,588)</p> <p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出) <u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u> 2025年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する^(注2)。 詳細については、別添2のとおり。</p> <p><u>(注2)</u> 次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(3) 報告義務者 <u>(削る)</u></p>	<p>○組織法人経営体 447 (母集団 15,806) 《農産物生産費統計》 米生産費 176 (母集団 9,394) 小麦生産費 100 (母集団 2,577) 大豆生産費 171 (母集団 3,835)</p> <p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (全数階層あり) □有意抽出) <u>ア 経営統計調査</u> <u>個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u> <u>詳細については、別添2のとおり。</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u> 2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添2のとおり。</p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>ウ 共通事項</u> <u>次回の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。</u></p> <p>(3) 報告義務者 <u>ア 経営統計調査</u> <u>(ア) 農業経営体を代表する者</u></p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理 報告者を選定するための母集団リストについて、最新の農林業センサスを用いて作成。</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>(削る)</p> <p>ア 農業経営体を代表する者</p> <p>イ 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注3)の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</p> <p>(注3)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-3から3-22まで)を参照)</p> <p>(削る)</p>	<p>(イ) 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注3)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者(以下「民間事業者」という。)が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</p> <p>(注3)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p>イ 生産費調査</p> <p>(ア) 農業経営体を代表する者</p> <p>(イ) 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</p> <p>(新設)</p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-1から3-18まで)を参照。)</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p>《基本項目》</p> <p>(ア) 経営体の現況に関する事項</p> <p>(イ) 損益計算書に関する事項</p> <p>(ウ) 事業収支の概要</p> <p>(エ) 保有する土地面積の状況</p> <p>(オ) 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項</p> <p>(カ) 制度受取金・積立金等に関する事項</p> <p>(キ) 労働に関する事項</p> <p>《詳細項目》</p> <p>(ク) 貸借対照表に関する事項</p> <p>(ケ) 投資と資金調達の状況</p> <p>(コ) 役員、雇用者への給与に関する事項(法人経営体のみ)</p> <p>なお、(ク)及び(ケ)については、個人経営体のうち主業経営体^(注4)、準主業経営体^(注5)及び所得税青色申告決算書(農業所得用)による帳簿管理がなされている副業的経営体^(注6)(以下「青色申告の副業的経営体」という。)並びに法人経営</p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>(削る)</p> <p>ア 認定農業者の状況（米生産費（個別経営体）のみ）、直近5か年の10a当たり収量（農産物生産費のみ）、農業就業者数（牛乳生産費のみ）</p> <p>イ 生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況</p> <p>ウ 調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項</p> <p>エ 物件税及び公課諸負担に関する事項</p> <p>オ 土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）</p> <p>(削る)</p> <p>カ 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項</p> <p>(削る)</p> <p>キ 建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況</p> <p>ク 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況</p> <p>ケ 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況</p> <p>コ 農具の購入費等に関する事項</p> <p>サ 搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）</p> <p>シ 土地の面積及び地代に関する事項</p> <p>ス 労働に関する事項</p> <p>セ 乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）</p> <p>〔集計しない事項の有無〕 <input type="checkbox"/>無 <input checked="" type="checkbox"/>有</p> <p>生産費調査は、各種農畜産物の生産費の実態を明らかにすること</p>	<p>体から報告を求める。</p> <p>(注4) 「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>(注5) 「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。</p> <p>(注6) 「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。</p> <p>〔集計しない事項の有無〕 <input type="checkbox"/>無 <input checked="" type="checkbox"/>有</p> <p>(イ)～(コ)のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。</p> <p>イ 生産費調査</p> <p>(ア) 経営の概況</p> <p>(イ) 生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況</p> <p>(ウ) 調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項</p> <p>(エ) 物件税及び公課諸負担に関する事項</p> <p>(オ) 土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）</p> <p>(カ) 消費税（畜産物生産費のみ）</p> <p>(キ) 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項</p> <p>(ク) 出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）</p> <p>(ケ) 建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況</p> <p>(コ) 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況</p> <p>(サ) 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況</p> <p>(シ) 農具の購入費等に関する事項</p> <p>(ス) 搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）</p> <p>(セ) 土地の面積及び地代に関する事項</p> <p>(ソ) 労働に関する事項</p> <p>(タ) 乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）</p> <p>〔集計しない事項の有無〕 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有</p> <p>(新設)</p>	<p>報告者の負担軽減を目的として、生産費を計算するための調査項目に特化し、その他の項目は利活用や集計上必要な項目に限定</p> <p>調査票の設問の追加に伴う変更及び調査票の全体的な</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																
<p>を目的として、詳細な報告を求めていることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、生産費の集計する過程において用いる事項(負担割合等)、回答内容の審査のための事項(作業者等)、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項(自給の有無、物々交換の有無等)等を含む。</p> <p>(2) 基準となる期日又は期間 <u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u> 生産サイクル(収穫終了月までの1年間)^(注4)に基づき、農畜産物の品目ごとに、次の期間とする。</p> <table border="1" data-bbox="152 719 936 1082"> <thead> <tr> <th>農畜産物</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚</td> <td>毎年1月1日から12月31日までの1年間</td> </tr> <tr> <td>さとうきび</td> <td>毎年4月1日から3月31日までの1年間</td> </tr> <tr> <td>小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね</td> <td>毎年9月1日から8月31日までの1年間</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注4)</u> 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、2つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。</p> <p>6 報告を求めするために用いる方法 <u>(1) 調査系統</u> <u>(削る)</u></p>	農畜産物	期間	米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日までの1年間	さとうきび	毎年4月1日から3月31日までの1年間	小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日までの1年間	<p>(2) 基準となる期日又は期間 <u>ア 経営統計調査(注7)</u> <u>(ア) 個人経営体</u> 毎年1月1日から12月31日まで <u>(イ) 法人経営体</u> 毎年、決算の対象となった年の1年間 <u>イ 生産費調査</u> 生産サイクル(収穫終了月までの1年間)^(注7)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。</p> <table border="1" data-bbox="972 719 1749 1011"> <thead> <tr> <th>農畜産物</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚</td> <td>毎年1月1日から12月31日</td> </tr> <tr> <td>さとうきび</td> <td>毎年4月1日から3月31日</td> </tr> <tr> <td>小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね</td> <td>毎年9月1日から8月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注7)</u> 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、経営統計調査に係る法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。また、生産費調査において、2つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。</p> <p>6 報告を求めするために用いる方法 <u>(1) 調査系統</u> <u>ア 経営統計調査</u> <u>(ア) 経営統計調査のみの報告者</u></p>	農畜産物	期間	米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日	さとうきび	毎年4月1日から3月31日	小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日	<p>見直しに伴う記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理 記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p>
農畜産物	期間																	
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日までの1年間																	
さとうきび	毎年4月1日から3月31日までの1年間																	
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日までの1年間																	
農畜産物	期間																	
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日																	
さとうきび	毎年4月1日から3月31日																	
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日																	

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>(削る)</u> <u>(削る)</u></p> <p>農林水産省 - <u>地方農政局等</u>^(注5) - 報告者 └ 統計調査員 ┘ <u>(注6)</u></p> <p><u>(注5)</u> 地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を經由して農林水産省との間における事務を行う。</p> <p><u>(注6)</u> 農林水産省が任命する調査員をいう。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p><u>農林水産省 - 民間事業者 - 報告者</u> └ <u>民間調査員</u> ┘ <u>(注8)</u></p> <p><u>(注8)</u> 民間事業者が雇用する調査員をいう。</p> <p><u>(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者</u></p> <p>a <u>地方農政局の管轄区域</u> <u>農林水産省 - 地方農政局 - 報告者</u> └ <u>統計調査員</u> ┘ <u>(注9)</u></p> <p><u>(注9)</u> 農林水産省が任命する調査員をいう。</p> <p>b <u>北海道</u> <u>農林水産省 - 北海道農政事務所 - 報告者</u> └ <u>統計調査員</u> ┘</p> <p>c <u>沖縄県</u> <u>農林水産省 - 内閣府沖縄総合事務局 -</u> <u>農林水産センター - 報告者</u> └ <u>統計調査員</u> ┘</p> <p><u>なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、経営統計調査の部分について、(ア)に記載の調査系統により実施する。</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u></p> <p><u>(ア) 地方農政局の管轄区域</u> <u>農林水産省 - 地方農政局 - 報告者</u> └ <u>統計調査員</u> ┘</p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(イ) 北海道</u> <u>農林水産省 - 北海道農政事務所 - 報告者</u> └ <u>統計調査員</u> ┘</p>	<p>注意書きを付すことで記載を一本化</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>(削る)</u></p> <p>(2) 調査方法 ■郵送調査 ■オンライン調査 (□政府統計共同利用システム ■独自のシステム □電子メール) ■調査員調査 ■その他 (職員調査) 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員に決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員又は統計調査員が調査票に記入する方法 (他計報告) により行う場合もある。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p><u>(ウ) 沖縄県</u> 農林水産省 - 内閣府沖縄総合事務局 - 農林水産センター - 報告者 └ 統計調査員 ─┘</p> <p>(2) 調査方法 ■郵送調査 ■オンライン調査 (■政府統計共同利用システム ■独自のシステム □電子メール) ■調査員調査 ■その他 (職員調査) 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。</p> <p><u>ア 経営統計調査</u> <u>(ア) 調査票の配布</u> a <u>経営統計調査のみの報告者</u> <u>民間事業者が郵送で配布する。</u> <u>なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</u> b <u>生産費調査の報告者を兼ねる者</u> <u>地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。</u> <u>なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</u> <u>(イ) 調査票の提出等</u> a <u>経営統計調査のみの報告者</u> <u>次のいずれかの方法により行う。</u> ① <u>報告者が郵送により提出する。</u></p>	<p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>(削る)</p> <p>ア 調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を 求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局 等の職員が前年調査の報告内容をあらかじめ調査票に印字し、そ の内容について更新を求めるものとする。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のた めの情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第 72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独） 家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビ リティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計 調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票 及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引 状況をあらかじめ調査票に印字する。</p> <p>イ 調査票の提出等</p>	<p>② 民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③ 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共 同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行 うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信 時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施 す。以下同じ。）により提供し、又は民間調査員が報告者を 訪問して当該書類の提供を受ける。</p> <p>b 生産費調査の報告者を兼ねる者 次のいずれかの方法により行う。</p> <p>① 報告者が郵送により提出する。 ② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問し て回収する。 ③ 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共 同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又 は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問 して当該書類の提供を受ける。</p> <p>イ 生産費調査 (ア) 調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告 を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農 政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字 し、その内容について更新を求めるものとする。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のた めの情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法 律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は （独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（ト レーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳 生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産 費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調 査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。</p> <p>(イ) 調査票の提出等</p>	<p>分割に合わせて整理 表現の適正化</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>次のいずれかの方法により行う。</p> <p><u>(ア) 報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。</u></p> <p><u>(イ) 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</u></p> <p><u>(ウ) 報告者が電子化した調査票を独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。）により提出する。</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>7 報告を求める期間</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>調査票は、<u>5 (2)</u>に掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。</p> <p>8 集計事項</p> <p>次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p><u>(削る)</u></p>	<p>次のいずれかの方法により行う。</p> <p>① 報告者が郵送により提出する。</p> <p>② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</p> <p>③ 報告者が電子化した調査票を独自のシステムにより提出する。</p> <p>④ <u>報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</u></p> <p>7 報告を求める期間</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限</p> <p><u>ア 経営統計調査</u></p> <p><u>調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u></p> <p>調査票は、<u>5 (2) のイ</u>に掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。</p> <p>8 集計事項</p> <p>次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p><u>《経営統計調査》</u></p> <p><u>(1) 営農類型別経営統計</u></p> <p><u>ア 個人経営体</u></p> <p><u>(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、</u></p>	<p></p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>(削る)</u> <u>(1) 農産物生産費統計</u> ア 個別経営体 (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、 (エ) 六条大麦生産費、(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、 (キ) 大豆生産費、(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、 (コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、 (シ) さとうきび生産費</p> <p>イ 組織法人経営体 (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費</p> <p><u>(2) 畜産物生産費統計 (個別経営体)</u> ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛生産費、 エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成</p>	<p><u>(ク) 養豚経営、(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営</u></p> <p>なお、5 (1) アの(ク) 及び(ケ) については、<u>個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。</u></p> <p><u>イ 法人経営体</u> <u>(ア) 水田作経営、(イ) 水田作経営 (集落営農)、(ウ) 畑作経営、(エ) 野菜作経営、(オ) 果樹作経営、(カ) 花き作経営、(キ) 酪農経営、(ク) 肉用牛経営、(ケ) 養豚経営、(コ) 採卵養鶏経営、(サ) ブロイラー養鶏経営</u></p> <p><u>ウ 農業経営体</u> <u>(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営</u></p> <p><u>(2) 経営形態別経営統計</u> <u>ア 個人経営体、イ 法人経営体、ウ 農業経営体</u></p> <p><u>《生産費調査》</u> <u>(3) 農産物生産費統計</u> ア 個別経営体 (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、 (エ) 六条大麦生産費、(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、 (キ) 大豆生産費、(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、 (コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、 (シ) さとうきび生産費</p> <p>イ 組織法人経営体 (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費</p> <p><u>(4) 畜産物生産費統計 (個別経営体)</u> ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛生産費、 エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成</p>	<p>分割に合わせて整理 報告を求める事項の変更に 伴い、表章する事項を変更 (調査計画の別添4に変更 なし)</p>


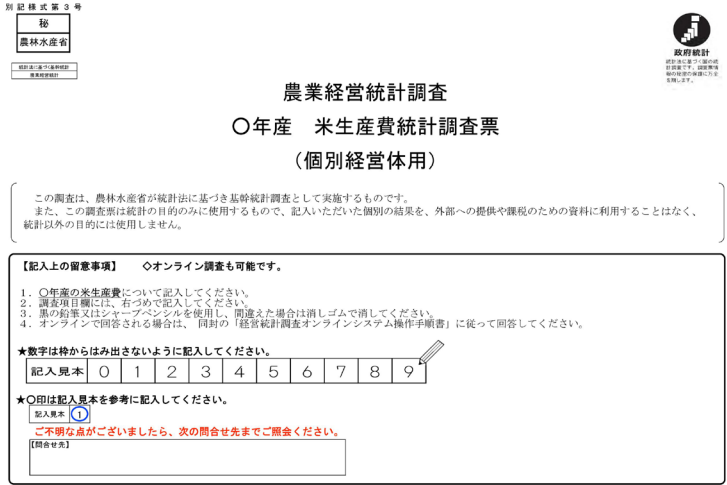
変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																		
<p>牛生産費、キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費</p> <p>9 調査結果の公表の方法及び期日 (1) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧) <u>(削る)</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>10 使用する統計基準等 □使用する → □日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 () ■使用しない 生産費調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="159 863 943 1118"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票</td> <td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年</td> <td>地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(削る)</u></p> <p>12 立入検査等の対象とすることができる事項 生産費調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5 (1) に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長	<p>牛生産費、キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費</p> <p>9 調査結果の公表の方法及び期日 (1) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧) <u>調査結果は、e-Stat 及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>10 使用する統計基準等 □使用する → □日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 () ■使用しない 本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="972 863 1747 1118"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票^(注10)</td> <td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注10) 記入済みの調査票とは、経営統計調査において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。</u></p> <p>12 立入検査等の対象とすることができる事項 本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5 (1) に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票 ^(注10)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長	<p>記載の適正化</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p> <p>分割に合わせて整理</p>
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長																		
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票 ^(注10)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長																		

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>別添 1 農業経営体の定義 (略)</p> <p>別添 2 報告者の選定方法 1～3 (略)</p> <p>4 地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。</p> <p>5 (略)</p> <p>※ <u>2、4の結果、同一の農業経営体が営農類型調査客体と生産費調査客体として抽出された場合、両調査の調査対象として選定することも可能。</u></p> <p>別添 3 調査票</p> <p>別添 3-1 営農類型別経営統計調査票 (個人経営体用)</p> <p>別添 3-2 営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用)</p> <p>別添 3-3 米生産費統計調査票 (個別経営体)</p> <p>別添 3-4 <u>小麦生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-5 <u>二条大麦生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-6 <u>六条大麦生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-7 <u>はだか麦生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-8 そば生産費統計調査票 (個別経営体)</p> <p>別添 3-9 大豆生産費統計調査票 (個別経営体)</p> <p>別添 3-10 原料用かんしょ生産費統計調査票 (個別経営体)</p> <p>別添 3-11 原料用ばれいしょ生産費統計調査票 (個別経営体)</p> <p>別添 3-12 <u>なたね生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-13 <u>てんさい生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-14 <u>さとうきび生産費統計調査票 (個別経営体)</u></p> <p>別添 3-15 <u>米生産費統計調査票 (組織法人経営体)</u></p>	<p>別添 1 農業経営体の定義 (略)</p> <p>別添 2 報告者の選定方法 1～3 (略)</p> <p>4 地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、<u>営農類型調査客体及び生産費調査客体の標本の十分な共用が図られるよう統計部長が定めるところにより</u>、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。</p> <p>5 (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>別添 3 調査票</p> <p>別添 3-1 営農類型別経営統計調査票 (個人経営体用)</p> <p>別添 3-2 営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用)</p> <p>別添 3-3 米生産費統計調査票 (個別経営体用)</p> <p>別添 3-4 <u>麦類生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p>別添 3-5 <u>そば生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-6 <u>大豆生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-7 <u>原料用かんしょ生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-8 <u>原料用ばれいしょ生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-9 <u>なたね生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-10 <u>てんさい生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-11 <u>さとうきび生産費統計調査票 (個別経営体用)</u></p> <p>別添 3-12 <u>米生産費統計調査票 (組織法人経営体用)</u></p>	<p>両調査の調査客体の選定期間や調査方法 (生産費調査は他計中心、営農類型調査は自計中心) が異なることや、報告者負担軽減等を踏まえ、次回の標本替えが行われる令和 9 年調査以降は、調査客体の共用を意図する選定は行わない。</p> <p>名称の適正化 (以下、同様)。報告者が正確に回答できるように配慮し、品目ごとに調査票を作成</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>別添 3-16 小麦生産費統計調査票（組織法人経営体）</p> <p>別添 3-17 大豆生産費統計調査票（組織法人経営体）</p> <p>別添 3-18 牛乳生産費統計調査票</p> <p>別添 3-19 子牛生産費統計調査票</p> <p>別添 3-20 肥育牛生産費統計調査票</p> <p>別添 3-21 育成牛生産費統計調査票</p> <p>別添 3-22 肥育豚生産費統計調査票</p> <p>別添 4 農業経営統計調査の集計事項一覧 （略）</p> <p>別添 5 農業経営統計調査の公表時期 （略）</p>	<p>別添 3-13 小麦生産費統計調査票（組織法人経営体用）</p> <p>別添 3-14 大豆生産費統計調査票（組織法人経営体用）</p> <p>別添 3-15 牛乳生産費統計調査票</p> <p>別添 3-16 子牛生産費統計調査票</p> <p>別添 3-17 育成牛・肥育牛生産費統計調査票 （新設）</p> <p>別添 3-18 肥育豚生産費統計調査票</p> <p>別添 4 農業経営統計調査の集計事項一覧 （略）</p> <p>別添 5 農業経営統計調査の公表時期 （略）</p>	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

1 農産物生産費統計（米（個別経営体））

変 更 案	変 更 前	変更点及び理由																												
<p>別記様式第3号 1 ページ</p>  <p>✓本調査の対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和〇年産の米の生産(受託生産を除く。)についてお答えください。 3ページ～41 ページは、食用米(食用のために生産された水稻)についてお答えください。 42 ページ以降は、飼料用米についてお答えください。 金額は消費税を含めて記入してください。 <p>✓記入にあたって (記入例1)123.4 アールの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 数字は右づめで記入してください。 該当がない項目は「-」を記入してください。 マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 <p>✓記入欄にあらかじめ印字されている場合 (記入例3) 印字内容を修正する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。) <table border="1" data-bbox="387 1342 875 1393"> <tr> <td>2025年センサス 番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>寄体番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2025年センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄体番号								<p>別記様式第3号 1 ページ</p>  <p>【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 〇年産の米生産費について記入してください。 調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p>★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</p> <p>★〇印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 ① ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご問合せください。 【問合せ先】</p> <table border="1" data-bbox="1003 882 1279 922"> <tr> <td>2020年センサス 番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>寄体番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2020年センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄体番号								<p>視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ)</p> <p>報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化</p> <p>報告者が記入しやすいよう記入例などを追加</p> <p>問い合わせ先を調査票の最後のページに移動</p>
2025年センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄体番号																								
2020年センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄体番号																								

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>2 ページ</p> <p style="text-align: center;">目次</p> <p>①</p> <p>[1] 認定農業者の状況 3</p> <p>[2] 直近5か年の10a 当たり収量 3</p> <p>[3] 作業別労働時間 4</p> <p>[4] 生産物の販売等の状況 9</p> <p>①</p> <p>[5] 制度受取金の状況 11</p> <p>[6] 食用米生産のために使用した資材等 12</p> <p>[7] 農具の購入費・生産管理関係の費用等 25</p> <p>[8] 物件税及び公課諸負担 27</p> <p>[9] 土地改良及び水利費 29</p> <p>[10] 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 30</p> <p>[11] 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 32</p> <p>[12] 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 34</p> <p>[13] 土地の面積及び地代 36</p> <p>①</p> <p>[14] 作付ほ場の状況 39</p> <p>[15] 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 41</p> <p>[16] 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 42</p>	<p>3 ページ</p> <p style="text-align: center;">調 査 事 項</p> <p>①</p> <p style="text-align: right;">ページ</p> <p>[1] 経営の概況 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、食用米生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。</p> <p>[2] 生産物の販売等の状況 5 食用米、稲わら及びふるい下米等の販売状況等について記入してください。</p> <p>[3] 食用米の生産のために使用した資材等 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。</p> <p>[4] 物件税及び公課諸負担 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。</p> <p>[5] 土地改良及び水利費 9 土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。</p> <p>[6] 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 9 借入金残高、支払利子について記入してください。</p> <p>[7] 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。</p> <p>[8] 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。</p> <p>[9] 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。</p> <p>[10] 農具の購入費・生産管理関係の費用等 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。</p> <p>[11] 土地の面積及び地代 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。</p> <p>[12] 作業別労働時間 15 家族、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。</p> <p>[13] 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 16 飼料用米の作付面積、生産量、食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用及び労働時間等について記入します。</p>	<p>報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え</p> <p>視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略</p> <p>報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止(廃止項目は46～48ページ参照)</p> <p>①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更</p>

変更案

変更前

変更点及び理由

3 ページ

まずは経営全体のことをお教えてください。

【1】認定農業者の状況

 記入の仕方 ~ ページ

認定農業者はいますか。

いる	<input checked="" type="radio"/>
いない	<input type="radio"/>


ここからは 食用米 についてお教えてください。

本調査は、以下の調査範囲の水稲(食用米)が対象です。

<input checked="" type="radio"/> 調査範囲	<input type="checkbox"/> 調査範囲外
食用のために生産された水稲 主食用米 もち米 政府備蓄米 新市場開拓用米(食用) 加工用米 米粉用米 醸造用米 (※)畑に湛水した「田」で生産したものも含まれます。	飼料用米 バイオエタノール用稲 陸稲 ホールクroppサイレージ用稲 受託生産した米

直近5か年の食用米の 10a 当たり収量についてお教えてください。

【2】直近5か年の10a 当たり収量

 記入の仕方 ~ ページ

直近5か年における食用米の10a 当たりの収量(玄米数量)を記入してください。

①

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

3

3 ページ

【1】経営の概況

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	<input checked="" type="radio"/>
いない	<input type="radio"/>

3 ページ

【1】経営の概況

4 直近5か年の10a 当たり収量

直近5か年における食用米の10a 当たり収量を記入してください。

①

区分	1 年前	2 年前	3 年前	4 年前	5 年前
10a 当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、食用米(食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米(政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。)、加工用米、米粉用米)です。食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めな
いでください。

設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ)

報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ)

報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ)

報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、水稲(食用米)の調査範囲の説明を追加

①直近5か年の10a 当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

4～5 ページ（変更前15ページと対比）

①

ここからは 令和〇年産の食用米生産にかかった労働時間等 についてお教えてください。

[3] 作業別労働時間 記入の仕方～ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の食用米生産に携わった家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

②

Table with columns for worker ID (1-6), gender (male/female), age, and various agricultural tasks (seedling, sowing, weeding, etc.) with time input fields.

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

つづく



[3] 作業別労働時間(つづき) 記入の仕方～ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

②

Table with columns for worker ID (7-12), gender (male/female), age, and various agricultural tasks (seedling, sowing, weeding, etc.) with time input fields.

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離

②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変更案

変更前

変更点及び理由

6～8ページ（変更前15ページと対比）

①

【3】作業別労働時間（つづき） ☐ 記入の仕方～ページ

2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がある	②	→ (2)へ

(2) (1)で「雇用している人がある」を選択した方のみお答えください。()令和〇年産の食用米生産における雇用人（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
		時間	時間	時間	時間
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽				
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業				
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り				
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入				
直まき	直まき、覆土に係る労働				
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け				
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布				
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき				
管理	けい群の草刈り、けい群の除草剤散布、水管理				
防除	農業散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策				
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理				
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬				
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記録（税務申告は含まない。）				
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等				

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

(3) 令和〇年産の食用米生産のために雇用人（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、①賃金、②食用米負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

- 食用米のみの支払分を記入する場合 100(%)としてください。
- 食用米以外の支払分を含めて記入する場合 食用米分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②食用米負担割合	
男性	円	円	%	%
女性	円	円	%	%

つづく



【3】作業別労働時間（つづき） ☐ 記入の仕方～ページ

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	食用米生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	食用米生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	食用米生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ ↓ ↑ すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の食用米生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分	性別	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示	時間	時間	時間	時間	時間	時間
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽						
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業						
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り						
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入						
直まき	直まき、覆土に係る労働						
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け						
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布						
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき						
管理	けい群の草刈り、けい群の除草剤散布、水管理						
防除	農業散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策						
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理						
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬						
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等						

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

8

①同上

③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

15ページ

①

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間		雇用労働時間		作業種類	内容例示
		性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	男	女		
種子播	選種、浸種、消毒、催芽																			種子播	選種、浸種、消毒、催芽
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業																			育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り																			耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入																			基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入
直まき	直まき、覆土に係る労働																			直まき	直まき、覆土に係る労働
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け																			田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布																			追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき																			除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理																			管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																			防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理																			刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬																			乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																			生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																			間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

4 支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
男		
女		

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

①同上

②同上

変 更 案

9～10ページ

ここからは 令和〇年産の食用米の生産状況等 についてお教えてください。

【4】生産物の販売等の状況 ☑ 記入の仕方～ページ

1 食用米の販売状況(玄米換算)

令和〇年産の収穫量のうち、販売用(予定を含む。)の食用米について、①数量、②金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

①

区分	①数量	②金額	内容例示
販売用「計」	万 kg	万 円	○主食用、加工用として販売された米(予定を含む。)及びその種子
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万 kg	万 円	次のようなものも含む
	万 kg	万 円	・いわゆる縁故米
	万 kg	万 円	・贈答米
	万 kg	万 円	・産直米
	万 kg	万 円	・政府備蓄米
	万 kg	万 円	・新市場開拓用米
	万 kg	万 円	・加工用米
	万 kg	万 円	・米粉用米
	万 kg	万 円	・醸造用
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	
	万 kg	万 円	

2 自家用の食用米の数量(玄米換算)

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)食用米の数量は何キログラムでしたか。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	内容例示	自家用の数量
種子用	種子用に仕向けたもの(予定を含む。)	万 kg
飯米用	飯米用に仕向けたもの(予定を含む。)	万 kg
その他	種子用、飯米用以外に仕向けたもの(予定を含む。)	万 kg

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変 更 前

5 ページ

【2】生産物の販売等の状況

1 食用米の販売状況等(玄米換算)

当年度産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

①

区分	内容例示	数量(kg)	金額(円)
販売用(予定を含む。)	主食用(計)	万 kg	万 円
	加工用(計)	万 kg	万 円
区分出荷	集荷円滑化対策において区分出荷された米	万 kg	万 円
自家用	種子用	万 kg	
	飯米用	万 kg	
	その他	種子用、飯米用以外に仕向けた(予定を含む。)もの	万 kg

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

報告者が記入しやすいよう、自家用の食用米の数量に関する設問を分離

①食用米の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「主食用(計)」、「加工用(計)」及び「区分出荷」を削除し、「販売用「計」」を把握するよう変更

変更案

10ページ

3 稲わら、もみがら、ふるい下米等

令和〇年産の食用米生産で発生した稲わら、もみがら、ふるい下米等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したものは含みません。)

また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる産先販売価額)。

②

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	稲わら加工品等 民芸品、なわ等の原料、飼料、 敷料、たい肥等仕向けのもの (きゅう肥交換を含む。)	万 kg	円
	もみがら 販売したもみがら	万 kg	円
	ふるい下米等 選別により除かれた米 (販売したもの)	万 kg	円
自家用	乾燥わら 収納された稲わらで、自家仕 向けのもの (水田還元、敷料、たい肥等)	万 kg	
	もみがら 自家で使用したもみがら	万 kg	
	ふるい下米等 選別により除かれた米 (自家で使用したもの)	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10

変更前

5ページ

【2】生産物の販売等の状況

2 稲わら、ふるい下米等の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、ふるい下米等及びもみがらの販売状況等について記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

②

(1) 稲わら
「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合(%)	金額(円)
販売用	加工品等 民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		万 千 百 十
	その他 (肥料、飼料、敷料) 飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの (きゅう肥交換を含む。)		
自家用	生わら コンバインの切断わら、野積み、 野ざらし状態のもの(無評価)		
	乾燥わら 収納された稲わらで、自家仕向けのもの (水田還元、敷料、たい肥等)		
	その他 (焼却、放棄) 焼却、放棄(無評価)		
計		100	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

(2) ふるい下米等及びもみがら
ふるい下米等及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合(%)	販売用	自家用	その他(廃棄等)
ふるい下米等	100			
もみがら	100			

ふるい下米等及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他(廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、自家用、その他(廃棄等)の合計が100となります。)

区分	販売金額(円)
ふるい下米等	万 千 百 十
もみがら	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

②報告者の記入負担軽減を図るため、稲わら、もみがら及びふるい下米等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ


変更案

変更前

変更点及び理由

11ページ

【5】制度受取金の状況

 記入の仕方 ~ ページ

令和〇年産の食用米に係る以下の制度受取金はいくらでしたか。
(該当がない区分は「-」を記入)

①

制度名	受取金
	万 円
	万 円
	万 円
	万 円
	万 円
	万 円

注：飼料用米、WCS 稲に係る交付金は含みません。

11

4 ページ

【1】経営の概況 (続き)

11 制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

①

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

①制度受取金等の状況のうち農業共済について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ、把握を取りやめ
制度名欄は調査時に差込印刷を行う

変更案

12ページ

ここからは 令和〇年産の食用米生産に使用した金額等 についてお教えてください。

【6】食用米生産のために使用した資材等 📖 記入の仕方 ~ ページ

1 使用した種子(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額			②食用米負担割合		
使用した種子(購入分)「計」			万	千	百	円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	
			万			円	%	

12

つづく



変更前

6ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1) 種子

品 種 名 等	数量 (kg)	金 額 (円)	食用米負担割合 (%)
(計)	万 千 百 十	万 千 百 十	
購 入			
自 給			

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離

①使用した種子(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

13ページ（変更前6ページと対比）

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 📖 記入の仕方 ~ ページ

2 使用した種子(自給分)

② (1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、①品種名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①品種名等	②使用数量	④食用米負担割合	
		③単位	
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

14ページ

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

3 使用した苗(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した苗のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額			②食用米負担割合		
			万	千	円	万	千	%
使用した苗(購入分)「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%

6ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等

1 種苗費

(2) 苗

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

品 種 名 等	植 え 付 け た 面 積 (a)	金 額 (円)	食 用 米 負 担 割 合 (%)
(計)	ha	万 千 百 十	
購			
入			

①使用した苗(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「植え付けた面積(a)」については「使用数量」として必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

15ページ

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)

記入の仕方 ~ ページ

4 使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合食用米に使用した割合を記入してください。

①

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②食用米負担割合		内容例示
			万	円	%		
使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)「計」				円	%		窒素質肥料 りん酸質肥料 カリ質肥料
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)							
			万	円	%		けい酸質肥料
			万	円	%		炭酸カルシウム(石灰含む。)
			万	円	%		複合肥料
			万	円	%		土壌改良資材
			万	円	%		微生物資材
			万	円	%		液肥
			万	円	%		農薬入り肥料
			万	円	%		ペースト肥料
			万	円	%		苦土質肥料
			万	円	%		微量要素肥料
			万	円	%		有機質肥料など
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		
			万	円	%		

注:融雪剤として使用した分は、21~22 ページ「10 使用した諸材料(購入分)」「11 使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

15



7ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等(続き)

2 肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

①

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

資材名等	数量(kg)	金額(円)	食用米負担割合(%)	備考欄
窒素質肥料(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
りん酸質肥料(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
カリ質肥料(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
けい酸質肥料(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
炭酸カルシウム(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。なお、融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料(計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
土壌改良資材		万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥	万 千 百 十			
その他				

①肥料費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「窒素質肥料(計)」、「りん酸質肥料(計)」、「カリ質肥料(計)」、「けい酸質肥料(計)」、「炭酸カルシウム(計)」、「複合肥料(計)」、「土壌改良資材」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)」「計」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更

なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更
また、たい肥・きゅう肥については、個別での把握が必要なため、「使用した、たい肥・きゅう肥(購入分)」として設問を分離

変更案

変更前

変更点及び理由

16ページ（変更前7ページと対比）

① 【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 📖 記入の仕方 ~ ページ

5 使用した、たい肥・きゅう肥(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した、たい肥・きゅう肥のうち、購入した分について、
 ①使用数量、②使用数量分の購入金額、③食用米負担割合を記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②使用数量分の購入金額	③食用米負担割合
たい肥・きゅう肥(購入分)	万 kg	万 円	%

①同上

変更案

変更前

変更点及び理由

17ページ

【6】 食用米生産のために使用した資材等(つづき) ☐ 記入の仕方 ~ ページ

① 6 使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、①使用数量、②単位、③食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

②

資材名等	①使用数量		③食用米負担割合	
	万	②単位		%
たい肥		kg		%
きゅう肥		kg		%
稲・麦わら(注1)		kg		%
その他				%
				%
				%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7ページ

【3】 食用米の生産のために使用した資材等(続き)

2 肥料費(続き)

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

②

資材名等	数量(kg)		食用米負担割合(%)
	万	十	
自給	たい肥		
	きゅう肥		
	稲・麦わら		
	その他		

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加

②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変更案

18ページ

【6】 食用米生産のために使用した資材等(つづき) 📄 記入の仕方 ~ ページ

7 使用した農業薬剤

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額		②食用米負担割合		内容例示
	円	円	%	%	
使用した農業薬剤「計」					
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
	円	円	%	%	・殺虫剤
					・殺菌剤
					・殺虫殺菌剤
					・除草剤
					・植物成長調整剤
					・展着剤
					・生産に使用する農具及び
					資材の殺菌・消毒剤
					など

注1: 航空防除賃は、農業代も含め 23 ページ「12 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)」に、共同負担金(薬剤散布)は、農業代も含め 24 ページ「13 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)」に記入してください。
注2: 除草剤等農業入りの肥料は 15 ページ「4 使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)」に記入してください。

変更前

7ページ

【3】 食用米の生産のために使用した資材等(続き)

3 農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額(円)		食用米負担割合(%)	備考欄
	円	円	%	
殺虫剤(計)				
殺菌剤(計)				
殺虫殺菌剤(計)				
除草剤(計)				
その他				

注1: 共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農業代も含め「6 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
注2: 除草剤等農業入りの肥料は「2 肥料費」の「その他」に記入してください。

①農業薬剤費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「殺虫剤(計)」、「殺菌剤(計)」、「殺虫殺菌剤(計)」、「除草剤(計)」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した農業薬剤「計」」を把握するよう変更

変更案

19ページ

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

8 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当しない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。

①

区分	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②食用米負担割合	
			万	円	%	
使用した光熱動力(購入分)「計」						
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油	L		円	%	
	軽油	L		円	%	
	灯油	L		円	%	
	ガソリン	L		円	%	
	潤滑油	L		円	%	
	混合油	L		円	%	
電力料				円	%	
その他(水道料、木炭などの燃料)				円	%	

19

つづく



変更前

8ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等(続き)

- ・ 食用米のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・ 食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

4 光熱動力費

① 当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資材名等	数量	単位	金額(円)	食用米負担割合(%)
	万	千	百	十
動力燃料	重油	L		
	軽油	L		
	灯油	L		
	ガソリン	L		
	潤滑油	L		
	混合油	L		
電力料				
その他(水道料、木炭などの燃料)				
自給				

① 使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

①使用した光熱動力(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用した光熱動力(購入分)「計」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更
 なお、回答が必須であった「数量」及び動力燃料等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

20ページ（変更前8ページと対比）

【6】 食用米生産のために使用した資材等(つづき) 📖 記入の仕方 ~ ページ

9 使用した光熱動力(自給分)

②

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量		③単位	④食用米負担割合
		万		
		万		%
		万		%
		万		%
		万		%
		万		%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

21ページ

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづく) □ 記入の仕方 ~ ページ

10 使用した諸材料(購入分)

令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

諸材料とは、育苗箱マット、あぜ波板、ビニールシート、なわ、バインダー用結束ひも等の消耗品です。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②食用米負担割合
			万	円	%
使用した諸材料(購入分)「計」					
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%

注 1: 償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、30~31ページ「【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況」の修繕費に記入してください。
 注 2: くわ、かま等の農具や作業着等については、25ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

21
つづく
↓

変更前

8ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等(続き)

5 諸材料費

当年度産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

①

資材名等	数量	単位	金額(円)		食用米負担割合(%)
			万	円	
育苗用土(素土含む。)		kg			
その他(計)					
自給					

注: 自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。
 諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート(償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上)、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

変更点及び理由

報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

①使用した諸材料(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「育苗用土(素土含む。)」及び「その他(計)」を削除し、「使用した諸材料(購入分)「計」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更

なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

22ページ（変更前8ページと対比）

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 📖 記入の仕方 ~ ページ

11 使用した諸材料(自給分)

② (1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、①資材名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量			③単位	④食用米負担割合	
	万	千	百		%	%
						%
						%
						%
						%
						%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

23ページ

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

12 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)

令和〇年産の食用米生産のために支払った航空防除賃、収穫請負わせ賃、ライスセンター費、カントリーエレベーター費、その他の乾燥・調製委託料について、①延べ委託面積または委託数量、②支払金額、③食用米負担割合を記入してください。

なお、乾燥・調製に係る委託数量については、玄米数量を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

①

料金名等	①延べ委託面積 または 委託数量				②支払金額			③食用米負担割合	
	町	反	畝	小数	万	千	円	円	%
航空防除賃(※1)		ha		a			円		%
収穫請負わせ賃		ha		a			円		%
ライスセンター費(※2)					万		円		%
カントリーエレベーター費(※2)					万		円		%
上記以外の乾燥・調製委託料(※2)					万		円		%

※1:航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
※2:ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

23

つづく



8ページ

【3】食用米の生産のために使用した資材等(続き)

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100(%)としてください。
・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

①

料 金 名 等	数 量	単 位	金 額 (円)				食用米負担割合 (%)
			万	千	百	十	
共同負担金							
薬 剂 散 布							
共 同 施 設							
共 同 苗 代							
農 機 具 借 料							
航 空 防 除 賃	ha	a					
賃 耕 料		a					
は 種 ・ 田 植 賃		a					
収 穫 請 負 せ 賃		a					
ラ イ ス セ ン タ ー 費		kg					
カ ン ト リ ー エ レ ベ ー タ ー 費		kg					
上 記 以 外 の 乾 燥 ・ 調 製 委 託 料		kg					
そ の 他							

注1: 共同負担金(薬劑散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
注2: ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

①賃借料及び料金のうち、航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料(「ライスセンター費」、「カントリーエレベーター費」及び「上記以外の乾燥・調製委託料」)以外の料金については、報告者の記入負担軽減を図るため、内訳等の把握を廃止し、設問を分離

変更案

変更前

変更点及び理由

24ページ（変更前8ページと対比）

【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

13 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)

令和〇年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製に係る費用を除く)について、①支払金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

①

料金名等		数量等	①支払金額		②食用米負担割合	
		単位	万	円		%
賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)「計」				円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
共同負担金	薬剤散布(※)		万	円		%
	共同施設		万	円		%
	共同苗代		万	円		%
農機具借料			万	円		%
賃耕料		a	万	円		%
は種・田植賃		a	万	円		%
その他			万	円		%
			万	円		%
			万	円		%
			万	円		%

(※)共同負担金(薬剤散布)は、農業代も含めて記入してください。

賃借料及び料金のうち、航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外の料金について、報告者の記入負担軽減を図るため、「支払金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更
 なお、回答が必須であった「数量」及び共同負担金等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

13ページ

同上

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合は、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変更案

27～28ページ

【8】物件税及び公課諸負担

記入の仕方～ページ

1 物件税

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の物件税について、①金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

①

区分	①金額	②食用米負担割合
物件税「計」	万円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
固定資産税(建物)(※)	万円	%
固定資産税(農機具)(※)	万円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万円	%
水利地益税	万円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万円	%
共同施設税	万円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の公課諸負担について、①金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

②

区分	①金額	②食用米負担割合
公課諸負担「計」	万円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
集落協議会費 (地域集落等の会費)	万円	%
農業協同組合費	万円	%
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)	万円	%
農業共済組合賦課金	万円	%

変更前

9ページ

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した食用米生産に関係する物件税について記入してください。

①

区分	金額 (円)	食用米負担割合 (%)
固定資産税 (建物)	万円	%
固定資産税 (農機具)		%
不動産取得税 (土地以外)		%
水利地益税		%
都市計画税 (土地以外)		%
共同施設税		%

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

- ・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
 - ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。
- 固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：使用面積割合
固定資産税(農機具)、共同施設税：機械等の使用時間割合

2 公課諸負担

1年間に負担した食用米生産に関係する公課諸負担について記入してください。

②

区分	金額 (円)	食用米負担割合 (%)
集落協議会費 (地域集落等の会費)	万円	%
農業協同組合費		%
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)		%
農業共済組合賦課金		%

- ・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
 - ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。
- 集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合
農業共済組合賦課金：作付面積割合

変更点及び理由

①物件税について、報告者の記入負担軽減を図るため、物件税「計」を把握し、内訳の「固定資産税(建物)」、「固定資産税(農機具)」、「不動産取得税(土地以外)」、「水利地益税」、「都市計画税(土地以外)」及び「共同施設税」は必要に応じて記入する扱いに変更

②公課諸負担について、報告者の記入負担軽減を図るため、公課諸負担「計」を把握し、内訳の「集落協議会費(地域集落等の会費)」、「農業協同組合費」、「農事実行組合費(稲作部会等の会費)」及び「農業共済組合賦課金」は必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

29ページ

【9】土地改良及び水利費

記入の仕方～ページ

1 土地改良区費

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の土地改良区費について、食用米作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③食用米負担割合を記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

事業種類	食用米作付ほ場負担金額				③食用米負担割合
	①維持負担金		②償還金		
ほ場整備事業	万	円	万	円	%
農地開発事業	万	円	万	円	%
かんがい排水事業	万	円	万	円	%
農道整備事業	万	円	万	円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万	円	万	円	%

2 水利費等

令和〇年産の食用米生産に関係する水利費等について、①食用米作付ほ場負担金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

①

費用名	①食用米作付ほ場負担金額		②食用米負担割合	
水利に係る費用「計」	万	円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
	万	円		%
	万	円		%
	万	円		%
	万	円		%

29

変更前

9ページ

【5】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額(円)		食用米負担割合(%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他(整地、表土扱いのない事業)			

① 2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場負担金額(円)	食用米負担割合(%)
水利組合費	万 千 百 十	
揚水ポンプ組合費		
その他		

- ・食用米のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

①水利費等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「水利組合費」、「揚水ポンプ組合費」及び「その他」の内訳を削除し、「水利に係る費用「計」」を把握するよう変更

なお、回答が必須であった水利費等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

30～31ページ（変更前10ページと対比）

【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	耐用年数	取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金	
			年(西暦)	月	円	円	円	円
1		○	年	年	円	円	円	円
2		○	年	年	円	円	円	円
3		○	年	年	円	円	円	円
4		○	年	年	円	円	円	円
5		○	年	年	円	円	円	円
6		○	年	年	円	円	円	円
7		○	年	年	円	円	円	円
8		○	年	年	円	円	円	円
9		○	年	年	円	円	円	円
10		○	年	年	円	円	円	円

30

つづく



変更前

- 当該建物等を食用米のみに使用した場合 100(%)としてください。
- 当該建物等を食用米以外にも使用した場合 食用米に使用した割合を記入してください。

番号	修繕費(※)	保険料	③ 食用米負担割合	④ 年内取り壊し・売却状況		発生金額	部分取り壊しをした面積割合	番号
				状況区分	部分取り壊し			
1	円	円	%	○	○	円	%	1
2	円	円	%	○	○	円	%	2
3	円	円	%	○	○	円	%	3
4	円	円	%	○	○	円	%	4
5	円	円	%	○	○	円	%	5
6	円	円	%	○	○	円	%	6
7	円	円	%	○	○	円	%	7
8	円	円	%	○	○	円	%	8
9	円	円	%	○	○	円	%	9
10	円	円	%	○	○	円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

31

変更点及び理由

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除

②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更

④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

10ページ

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	食用米負担割合 （%）	年内異動状況	
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード		
建築物		
1	住宅	8
2	事務所	11
3	納屋・倉庫	12
4	作業場	13
構築物		
14	橋架	18
15	コンクリートけい群	19
16	暗きょ排水施設	25
17	客土	31

構造コード		
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)		
1	木造	6
2	合成樹脂造	7
3	鉄筋コンクリート	8
4	コンクリートブロック	
9	木造モルタル	9
10	金属	10
11	その他	11
構築物 (14橋架)～(31その他の構築物)		
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2
2	金属	3
3	木造	4
4	土管	5
5	合成樹脂	6
6	塩化ビニール	7
7	その他	

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

32～33ページ（変更前11ページと対比）

【11】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 📄 記入の仕方 ~ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	② 償却済状況	耐用年数 (西暦)	取得年月		取得価額		修繕費(※)		自動車保険料	
				年	月	円	円	円	円		
1		○				円	円	円	円	円	円
2		○				円	円	円	円	円	円
3		○				円	円	円	円	円	円
4		○				円	円	円	円	円	円
5		○				円	円	円	円	円	円
6		○				円	円	円	円	円	円
7		○				円	円	円	円	円	円
8		○				円	円	円	円	円	円
9		○				円	円	円	円	円	円
10		○				円	円	円	円	円	円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金 など

32



自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		③ 食用米負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却・無償譲渡	売却金額	
円	円	円	%	円	円	1
円	円	円	%	円	円	2
円	円	円	%	円	円	3
円	円	円	%	円	円	4
円	円	円	%	円	円	5
円	円	円	%	円	円	6
円	円	円	%	円	円	7
円	円	円	%	円	円	8
円	円	円	%	円	円	9
円	円	円	%	円	円	10

33

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

11ページ

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両のみ。）の掛金を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を自宜に記入してください。

番号	名称等	種類コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	修繕費 （円） <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料 （円） <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税 （円） <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード 売却金額（円） <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
					年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード

1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード

(1) 貨物自動車	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2) その他の自動車	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード

1	売却
2	廃棄等

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

34～35ページ（変更前12ページと対比）

【12】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等 ② 償却済状況	耐用年数		取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金		修繕費(※)	
		年	月	年	月	円	円	円	円	円	円
1	○					円	円	円	円	円	円
2	○					円	円	円	円	円	円
3	○					円	円	円	円	円	円
4	○					円	円	円	円	円	円
5	○					円	円	円	円	円	円
6	○					円	円	円	円	円	円
7	○					円	円	円	円	円	円
8	○					円	円	円	円	円	円
9	○					円	円	円	円	円	円
10	○					円	円	円	円	円	円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

34



令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

- 当該農業機械等を食用米のみに使用した場合100(%)としてください。
- 当該農業機械等を食用米以外にも使用した場合食用米に使用した割合を記入してください。

番号	保険料	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		③ 食用米負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
			自動車重量税	自賠責保険		状況区分	売却金額	
1	円	円	円	円	%	円	円	1
2	円	円	円	円	%	円	円	2
3	円	円	円	円	%	円	円	3
4	円	円	円	円	%	円	円	4
5	円	円	円	円	%	円	円	5
6	円	円	円	円	%	円	円	6
7	円	円	円	円	%	円	円	7
8	円	円	円	円	%	円	円	8
9	円	円	円	円	%	円	円	9
10	円	円	円	円	%	円	円	10

35

① 報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

② 償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③ 表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

12ページ

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

② 修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代 など

③ ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

①

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新旧区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を 控除した額を記入してくだ さい。	農業経営基金 強化準備金 (円) 農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。	修繕費 (円) 当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。	軽自動車税 (円) 当年の当 該農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		食用米 負担 割合 (%)	年内異動状況		
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動 コード	売却金額 (円) 廃棄（無取壊を含む。） した場合は、0（ゼロ）	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード		
1	電動機	19 バインダー
2	発動機	20 自脱型コンバイン
3	歩行用トラクター	21 普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29 脱穀機
12	電熱育苗機	31 乾燥機
13	田植機	32 もみすり機
15	揚水ポンプ	56 その他の農機具
17	動力噴霧機	57 パソコン
18	動力散粉機	58 その他の生産管理機器
33	ドローン	

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	(31 乾燥機)	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	1 静置式	5 その他・耐用年数7年
(13 田植機)	2 循環式	上記以外の農機具
1 2条植		6 その他
2 3～5条植		
3 6～7条植		
4 8条植以上		

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

① 同上

③ 同上

変更案

変更前

変更点及び理由

36～37ページ（変更前14ページとの対比）

①

【13】土地の面積及び地代

記入の仕方～ページ

1 作付地

令和〇年産の食用米生産のために作付けた(1)所有地と(2)借入地について、①団地又はほ場名等、②土地台帳面積、③作付面積、④支払地代(借入地のみ)、⑤食用米負担割合を記入してください。なお、所有地、借入地の③作付面積の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ●食用米のみを作付けた団地・ほ場等の場合
 100(%)としてください。
 ●食用米以外の作物も作付けた団地・ほ場等の場合
 作付けた作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位			③作付面積 0.1a 単位			⑤食用米 負担割合
		町	反	畝	町	反	畝	
1		ha	a	小数	ha	a	小数	%
2		ha	a	小数	ha	a	小数	%
3		ha	a	小数	ha	a	小数	%
4		ha	a	小数	ha	a	小数	%
5		ha	a	小数	ha	a	小数	%
6		ha	a	小数	ha	a	小数	%
7		ha	a	小数	ha	a	小数	%
8		ha	a	小数	ha	a	小数	%
9		ha	a	小数	ha	a	小数	%
10		ha	a	小数	ha	a	小数	%
11		ha	a	小数	ha	a	小数	%
12		ha	a	小数	ha	a	小数	%
13		ha	a	小数	ha	a	小数	%
14		ha	a	小数	ha	a	小数	%
15		ha	a	小数	ha	a	小数	%

36

【13】土地の面積及び地代(つづき)

記入の仕方～ページ

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ●食用米のみを作付けた団地・ほ場等の場合
 100(%)としてください。
 ●食用米以外の作物も作付けた団地・ほ場等の場合
 作付けた作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位			③作付面積 0.1a 単位			④支払地代	⑤食用米 負担割合
		町	反	畝	町	反	畝		
1		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
2		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
3		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
4		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
5		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
6		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
7		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
8		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
9		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
10		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
11		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
12		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
13		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
14		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%
15		ha	a	小数	ha	a	小数	円	%

37

つづく



記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記(以下同じ)

①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

変更案

変更前

変更点及び理由

38ページ（変更前14ページとの対比）

①

【13】土地の面積及び地代(つづく) ☐ 記入の仕方 ~ ページ

2 建物敷地等

令和〇年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料(借入地のみ)、⑤食用米負担割合を記入してください。

総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。

②

番号	①建物敷地名	②総面積 ㎡単位		③使用面積 ㎡単位		④支払賃借料	⑤食用米 負担割合	
		万	千	万	千		円	%
所有地	1							%
	2							%
	3							%
	4							%
	5							%
	6							%
	7							%
	8							%
借入地	1					円		%
	2					円		%
	3					円		%
	4					円		%
	5					円		%
	6					円		%
	7					円		%
	8					円		%

38

つづく



①同上

②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

①

【11】 土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみ作付した団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物も作付した団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{\text{食用米400万円} + \text{小麦400万円}} \times 100 = 50\%$$

1 所有地
 (1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けた所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	食用米 負担割合 (%)
1		ha a	ha a	
2		.	.	
3		.	.	
4		.	.	
5		.	.	
6		.	.	
7		.	.	
8		.	.	
9		.	.	
10		.	.	

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	食用米 負担割合 (%)
1		ha a	ha a	
2		.	.	
3		.	.	

②

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外にも使用した場合は、使用面積割合を目安に記入してください。

2 借入地
 (1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けた借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	支払地代 (円)	食用米 負担割合 (%)
1		ha a	ha a	万円 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		
4		.	.		
5		.	.		
6		.	.		
7		.	.		
8		.	.		
9		.	.		
10		.	.		

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	食用米 負担割合 (%)
1		ha a	ha a	万円 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

②

① 同上

② 同上

変更案

変更前

変更点及び理由

39ページ

4ページ

【14】作付ほ場の状況

記入の仕方 ~ ページ

1 作付ほ場規模別のほ場枚数及び作付面積

令和〇年産の食用米を作付けたほ場について、ほ場の規模別に①ほ場枚数、②作付面積を記入してください。なお、②作付面積の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

区分	①ほ場枚数	②作付面積 0.1a単位		
		町	反	畝・小畝
未整理又は10a未満	枚	ha	a	.
10a~20a未満区画	枚	ha	a	.
20a~30a未満区画	枚	ha	a	.
30a~50a未満区画	枚	ha	a	.
50a~1ha未満区画	枚	ha	a	.
1ha以上区画	枚	ha	a	.

【1】経営の概況(続き)

6 水稲作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区分	ほ場枚数 (枚)	面積(a)		
未整理又は10a未満		ha	a	.
10a~20a区画				.
20a~30a区画				.
30a~50a区画				.
50a~1ha区画				.
1ha以上区画				.

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

変更案

変更前

変更点及び理由

40ページ

【14】作付ほ場の状況(つづき)

☐ 記入の仕方 ~ ページ

2 田の団地数

令和〇年産の食用米を作付けた田の団地はいくつですか。

区分	用語の説明	団地数
田の団地数	ほ場が地続きでまとまっている場合は、そのまとまりを1団地とします。地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。	

3 田の区画整理状況

令和〇年産の食用米を作付けた田の区画整理済の面積は何割ですか。該当するもの1つに○を記入してください。

区画整理済の面積割合	いずれかに○
50%未満	①
50~80%未満	②
80%以上	③

4 ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和〇年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離	
		0.1km単位	
		百	十
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離。(団地数が1つの場合は「-」を記入)		km
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。		km

40

4ページ

【1】経営の概況(続き)

7 田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区分	団地数等	
田の団地数	①	
区画整理済割合	50%未満	②
	50~80%	③
	80%以上	④

団地とは、田を含む地続きの耕地の一団をいいます。ただし、地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

8 ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区分	距離(km)
ほ場間の距離	
団地への平均距離	

ほ場間の距離とは、2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が1つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

田の状況について、報告者が記入しやすいよう、「田の団地数」と「田の区画整理状況」の設問を分離

変更案

41ページ

【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 📄 記入の仕方 ~ ページ

令和〇年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③食用米負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない区分は「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

①

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高			②令和〇年の支払利子額			③食用米負担割合		
「計」	万	千	円	万	千	円	円	円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
借入金	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
	万		円	万		円	円		%
買掛未払金	万		円	万		円	円		%

変更前

9ページ

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみの生産に関する金額を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目標に記入してください。

①

資金名(用途)	調査開始時未償還残高(円)	支払利子額(円)	食用米負担割合(%)
短期借入金 (計)	万 千 百 +	万 千 百 +	
長期借入金 (計)	万 千 百 +	万 千 百 +	
買掛未払金	万 千 百 +	万 千 百 +	

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変更点及び理由

①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、それぞれの「計」を把握し、内訳の「借入金」及び「買掛未払金」は必要に応じて記入する扱いに変更

変更案



変更前

変更点及び理由

42ページ

最後に 飼料用米 についてお教えてください。

飼料用米とは、家畜の飼料として生産される米のことを言います。

 調査範囲	 調査範囲外
飼料用米	食用のために生産された水稻 主食用米 もち米 政府備蓄米 新市場開拓用米(食用) 加工用米 米粉用米 醸造用米 バイオエタノール用稲 陸稲 ホールクroppサイレージ用稲 受託生産した米

【16】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間  記入の仕方 ~ ページ

①

1 飼料用米の作付状況

令和〇年産に飼料用米の作付けがありましたか。

飼料用米の作付けはなかった	①	調査は以上で終了です。 ご回答いただき、ありがとうございました。
飼料用米の作付けがあった	②	

報告者に飼料用米の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、説明を追加

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、飼料用米の作付の有無を確認する設問を追加

変更案

43ページ

【16】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

2 飼料用米の作付面積及び生産量

令和〇年産の飼料用米について①作付面積、②生産量(玄米、乾燥もみ及び生もみ別)を記入してください。

なお、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

区分	①作付面積 0.1a 単位				②生産量											
					玄米			乾燥もみ			生もみ					
	町	反	畝	小数	万	千	百	十	千	百	十	千	百	十		
飼料用米	ha	a			kg				kg				kg			
うち 多収品種	ha	a			kg				kg				kg			

3 稲わらの販売状況等

令和〇年産の飼料用米生産で発生した稲わらについて、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したものは含みません。)

また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	内容例示	①数量		②金額
販売用稲わら	民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの(きゅう肥交換含む。)	万	kg	円
① 自家用乾燥わら	取納された稲わらで、自家仕向けのもの(水田還元、敷料、たい肥等)	万	kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 飼料用米と食用米の10a当たり費用及び労働時間の違いの有無

令和〇年産の飼料用米と食用米生産にかかる10a当たりの費用及び労働時間に違いはありましたか。

費用及び労働時間に違いはなかった	①	→	調査は以上で終了。 ご回答いただき、ありがとうございました。
費用及び労働時間に違いがあった	②	→	次ページへ

変更前

16ページ

【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

当年産に飼料用米の作付けがある場合は、以下について記入してください。

1 飼料用米の作付面積及び生産量

当年産の作付面積と玄米、乾燥もみ及び生もみ別の生産量について記入してください。
また、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。

区分	作付面積 (a)	生産量								
		玄米 (kg)			乾燥もみ (kg)			生もみ (kg)		
飼料用米										
うち多収品種										

2 稲わら販売状況等

当年産の飼料用米生産で発生した稲わらの数量、自家用別に仕向けた数量または全体を100%とした場合の割合と販売金額を記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

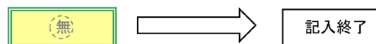
区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)			
販売用	民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの(きゅう肥交換含む。)					
① 自家用	生わら		/			
	乾燥わら					
	その他(焼却、放棄)					
計		100				

注:自家用については、記入の数量を基に市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

3 飼料用米と食用米の10a当たり費用及び労働時間の違いの有無

当年産の飼料用米と食用米生産にかかる10a当たりの費用及び労働時間に違いがない場合は「無」を○で囲んでください。その場合は以下の記入は不要です。



①稲わらの販売状況等のうち自家用分の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「自家用乾燥わら」のみを把握するよう変更

変更案

変更前

変更点及び理由

44ページ

【16】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

5 飼料用米生産にかかる費用(10a当たり)

令和〇年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの費用について、①食用米との違いの有無を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる10a当たりの費用を100%としたときの飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに○を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる10a当たりの費用を100%とした場合の割合を記入してください。

費用の種類	①食用米との違い		②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無		
種苗費	①	②		%
肥料費	①	②		%
農業薬剤費	①	②		%
光熱動力費	①	②		%
その他の諸材料費	①	②		%
土地改良及び水利費	①	②		%
賃借料及び料金	①	②		%
物件税及び公課諸負担	①	②		%
建物費	①	②		%
自動車費	①	②		%
農機具費	①	②		%
生産管理費	①	②		%

44

16ページ

【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

4 食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用(10a当たり)

当年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

費用の種類	食用米との違い		割合 (%)	違いが生じる主な要因
	有	無		
種苗費	①	②		
肥料費	①	②		
農業薬剤費	①	②		
光熱動力費	①	②		
その他の諸材料費	①	②		
土地改良及び水利費	①	②		
賃借料及び料金	①	②		
物件税及び公課諸負担	①	②		
建物費	①	②		
自動車費	①	②		
農機具費	①	②		
生産管理費	①	②		

変更案

変更前

変更点及び理由

45ページ

16ページ

【16】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

6 飼料用米生産にかかる労働時間(10a当たり)

5 食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間 (10a 当たり)

令和〇年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの労働時間について、①食用米との違いの有無を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる10a当たりの労働時間を100%としたときの飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因を記入してください。

当年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに○を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる10a当たりの費用を100%とした場合の割合を記入してください。

労働時間名	①食用米との違い		②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無		
種子予措	①	②	%	
育苗	①	②	%	
耕起整地	①	②	%	
基肥	①	②	%	
直まき	①	②	%	
田植	①	②	%	
追肥	①	②	%	
除草	①	②	%	
管理	①	②	%	
防除	①	②	%	
刈取脱穀	①	②	%	
乾燥	①	②	%	
生産管理	①	②	%	
間接労働	①	②	%	

労働時間名	食用米との違い		割合 (%)	違いが生じる主な要因
	有	無		
種子予措	①	②		
育苗	①	②		
耕起整地	①	②		
基肥	①	②		
直まき	①	②		
田植	①	②		
追肥	①	②		
除草	①	②		
管理	①	②		
防除	①	②		
刈取脱穀	①	②		
乾燥	①	②		
生産管理	①	②		
間接労働	①	②		

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>46ページ</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid blue; border-radius: 5px; display: inline-block;">令和〇年産の水稲栽培の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作柄概況 2 被害の状況や品質 3 栽培状況の変化 <ol style="list-style-type: none"> (1)新たな品種の導入 (2)直まき栽培の導入 (3)新たな設備・機械の導入 (4)その他(新たな栽培技術の導入) </div>	<p>6ページ</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid green; border-radius: 5px; display: inline-block;">当年産の水稲栽培の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作柄概況 2 被害の状況や品質 3 栽培状況の変化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新たな品種の導入 (2) 直まき栽培の導入 (3) 新たな設備・機械の導入 (4) その他(新たな栽培技術の導入) </div>	

変更案

48ページ

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

変更前

1ページ



農業経営統計調査
○年産 米生産費統計調査票
(個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産の米生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右つめで記入してください。
- 票の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本 ①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

2020年7月1日現在	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄付番号

問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変更案

変更前

変更点及び理由

(削除)

2 ページ

調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米(※1)及び飼料用米の生産コスト」を把握する調査です。

調査票の「1 経営の概況」～「12 作業別労働時間」には○年産の食用米、「13 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間」には飼料用米の生産(※2)のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 食用米とは
食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米(政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。)、加工用米、米粉用米が該当します。(食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。)

※2 この調査での食用米の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法(食用米負担割合について)】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

(記入例)

「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「8ha」、小麦「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区分	数量(kg)	金額(円)	食用米負担割合(%)
窒素質肥料	8000	800000	100

食用米負担割合には100%と記入

例2 食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

食用米と小麦の作付面積割合「8:2」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区分	数量(kg)	金額(円)	食用米負担割合(%)
窒素質肥料	10000	1000000	80

食用米負担割合には80%と記入

【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

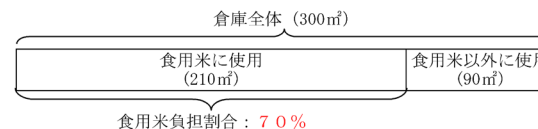
(1) 倉庫(建物)の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は70% (210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫(300㎡)の負担割合のイメージ図



(2) 農機具(トラクター)の場合

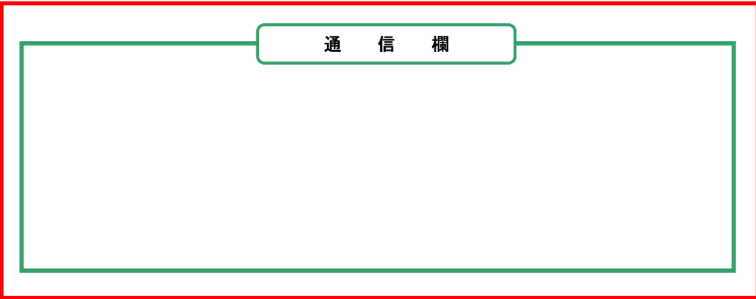
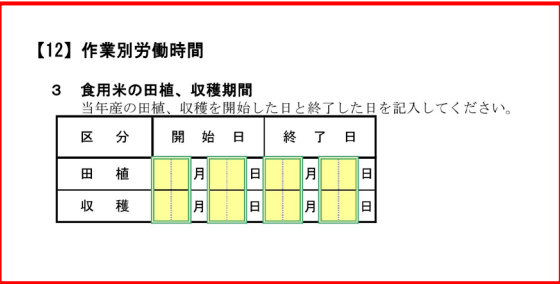
トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は40% (80時間÷200時間×100) になります。


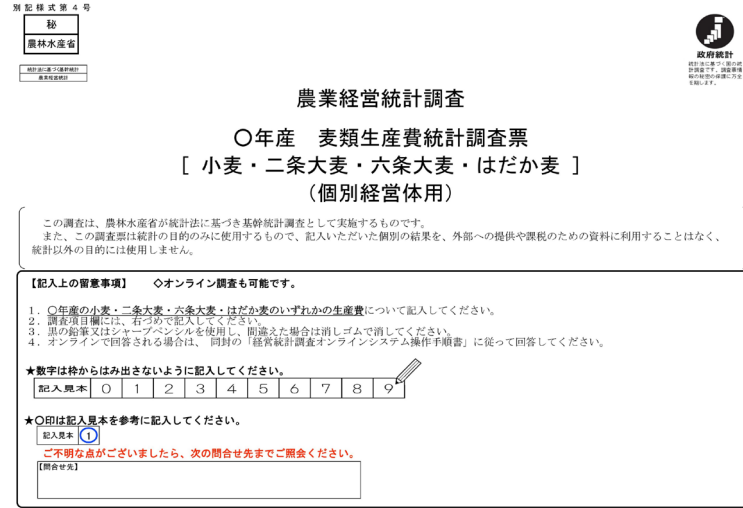
変更案	変更前	変更点及び理由																													
(削除)	<p>3 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>【1】経営の概況</p> <p>1 経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1032 379 1408 557"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">所有地 (a)</th> <th colspan="2">借入地 (a)</th> </tr> <tr> <th>ha</th> <th>a</th> <th>ha</th> <th>a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>普通畑</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>樹園地</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>牧草地</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	区 分	所有地 (a)		借入地 (a)		ha	a	ha	a	田					普通畑					樹園地					牧草地					<p>経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区 分	所有地 (a)		借入地 (a)																												
	ha	a	ha	a																											
田																															
普通畑																															
樹園地																															
牧草地																															
(削除)	<p>3 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>【1】経営の概況</p> <p>2 世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1032 1050 1686 1262"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>用 語 の 説 明</th> <th>男 (人)</th> <th>女 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 帯 員</td> <td>世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者 (住み込みの年雇等を含む。)</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>家 族</td> <td>夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団 (15歳未満を除く。)</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>農 業 就 業 者</td> <td>年間の農業労働日数が60日以上者</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>150 日 以 上</td> <td>年間の農業労働日数が150日以上者</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>農 業 年 雇</td> <td>農業経営のためにおおむね年間 (7か月以上) を通じて雇った者</td> <td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。</p> </div>	区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)	世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者 (住み込みの年雇等を含む。)			家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団 (15歳未満を除く。)			農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上者			150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上者			農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間 (7か月以上) を通じて雇った者			<p>世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>					
区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)																												
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者 (住み込みの年雇等を含む。)																														
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団 (15歳未満を除く。)																														
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上者																														
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上者																														
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間 (7か月以上) を通じて雇った者																														

変更案	変更前	変更点及び理由																																				
(削除)	<p>4 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>5 移植・直まき面積</p> <p>食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">面 積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移 植</td> <td style="text-align: center;">ha a .</td> </tr> <tr> <td>直 ま き</td> <td style="text-align: center;">. .</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。</p> </div>	区 分	面 積 (a)	移 植	ha a .	直 ま き	. .	<p>移植・直まき面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>																														
区 分	面 積 (a)																																					
移 植	ha a .																																					
直 ま き	. .																																					
(削除)	<p>4 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>9 食用米生産における作業委託の状況</p> <p>同一のほ場を複数回にわたって防除した場合は、延べ面積を記入してください。育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">数 量</th> <th style="width: 5%;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育 苗</td> <td style="text-align: center;">ha a .</td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> <tr> <td>防 除</td> <td style="text-align: center;">. .</td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区 分	数 量	単 位	育 苗	ha a .	a	防 除	. .	a	<p>食用米生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>																											
区 分	数 量	単 位																																				
育 苗	ha a .	a																																				
防 除	. .	a																																				
(削除)	<p>4 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>10 食用米（うるち米）の品種別作付面積</p> <p>当年産に作付けた食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 16.6%;">区 分</th> <th style="width: 16.6%;">品 種 名</th> <th style="width: 16.6%;">面 積 (a)</th> <th style="width: 16.6%;">区 分</th> <th style="width: 16.6%;">品 種 名</th> <th style="width: 16.6%;">面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品 種 1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">ha a .</td> <td>品 種 6</td> <td></td> <td style="text-align: center;">ha a .</td> </tr> <tr> <td>品 種 2</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> <td>品 種 7</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> </tr> <tr> <td>品 種 3</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> <td>品 種 8</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> </tr> <tr> <td>品 種 4</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> <td>品 種 9</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> </tr> <tr> <td>品 種 5</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> <td>品 種 10</td> <td></td> <td style="text-align: center;">. .</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区 分	品 種 名	面 積 (a)	区 分	品 種 名	面 積	品 種 1		ha a .	品 種 6		ha a .	品 種 2		. .	品 種 7		. .	品 種 3		. .	品 種 8		. .	品 種 4		. .	品 種 9		. .	品 種 5		. .	品 種 10		. .	<p>食用米（うるち米）の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区 分	品 種 名	面 積 (a)	区 分	品 種 名	面 積																																	
品 種 1		ha a .	品 種 6		ha a .																																	
品 種 2		. .	品 種 7		. .																																	
品 種 3		. .	品 種 8		. .																																	
品 種 4		. .	品 種 9		. .																																	
品 種 5		. .	品 種 10		. .																																	

変更案	変更前	変更点及び理由															
(削除)	<p>6 ページ</p> 	<p>通信欄について、利活用 の実績が乏しいことから削除</p>															
(削除)	<p>15ページ</p>  <p>【12】作業別労働時間</p> <p>3 食用米の田植、収穫期間 <small>当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。</small></p> <table border="1" data-bbox="1059 1098 1377 1209"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">開 始 日</th> <th colspan="2">終 了 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田 植</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>収 穫</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	開 始 日		終 了 日		田 植	月	日	月	日	収 穫	月	日	月	日	<p>食用米の田植、収穫期間 について、報告者の記入負 担軽減を図るため、把握を 取りやめ</p>
区 分	開 始 日		終 了 日														
田 植	月	日	月	日													
収 穫	月	日	月	日													

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

1 農産物生産費統計（小麦（個別経営体））

変更案	変更前	変更点及び理由																																							
<p>別記様式4号 1ページ</p>  <p>令和〇年産 小麦 生産費統計 (個別経営体) 調査票</p> <p>✓本調査の対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和〇年産の小麦の生産(受託生産を除く。)についてお答えください。 対象となる小麦については、3ページをご参照ください。 金額は消費税を含めて記入してください。 <p>✓記入にあたって (記入例1)123.4 アールの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」「計」欄がある設問では、「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 数字は右づめで記入してください。 該当がない項目は「-」を記入してください。 マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 <p>✓記入欄にあらかじめ印字されている場合 (記入例3) 印字内容を修正する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。) <table border="1" data-bbox="398 1340 891 1396"> <tr> <td>2025年センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>客体番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号								<p>別記様式4号 1ページ</p>  <p>農業経営統計調査 〇年産 麦類生産費統計調査票 [小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦] (個別経営体用)</p> <p>この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。また、この調査票は統計の目的のために使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することなく、統計以外の目的には使用しません。</p> <p>【記入上の留意事項】 ○オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 〇年産の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦のいずれかの生産費について記入してください。 調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p>*数字は枠からはみ出さないように記入してください。</p> <p>記入見本 <table border="1"><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table></p> <p>*〇印は記入見本を参考に記入してください。</p> <p>記入見本 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table></p> <p>ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。</p> <p>【問合せ先】</p> <table border="1" data-bbox="996 917 1288 957"> <tr> <td>2025年センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>客体番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号								<p>小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦で共用していた個別経営体用の調査票について、報告者が正確に回答できるよう調査対象品目ごとに調査票を作成</p> <p>これに伴い、「麦類生産費統計(個別経営体)」の調査票を「小麦生産費統計(個別経営体)」の調査票に変更し、「二条大麦生産費統計(個別経営体)」、「六条大麦生産費統計(個別経営体)」及び「はだか麦生産費統計(個別経営体)」の調査票を新設</p> <p>視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ)</p> <p>報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化</p> <p>報告者が記入ししやすいよう記入例などを追加</p> <p>問い合わせ先を調査票の最後のページに移動</p>
2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号																																			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																
0																																									
2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号																																			

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>2 ページ</p> <p style="text-align: center;">目次</p> <p>① 【1】 直近5か年の10a 当たり収量 3</p> <p>【2】 作業別労働時間 4</p> <p>【3】 生産物の販売等の状況 9</p> <p>【4】 小麦生産のために使用した資材等 12</p> <p>【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 21</p> <p>【6】 物件税及び公課諸負担 23</p> <p>【7】 土地改良及び水利費 25</p> <p>【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 26</p> <p>【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 28</p> <p>【10】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 30</p> <p>【11】 土地の面積及び地代 32</p> <p>【12】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 35</p>	<p>3 ページ</p> <p style="text-align: center;">調 査 事 項</p> <p>① 【1】 経営の概況 3 <small>経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、麦生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。</small></p> <p>【2】 生産物の販売等の状況 5 <small>麦の品質・用途別、麦わら及びふるい下麦等の販売状況等について記入してください。</small></p> <p>【3】 対象品目の麦生産のために使用した資材等 6 <small>種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。</small></p> <p>【4】 物件税及び公課諸負担 9 <small>固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。</small></p> <p>【5】 土地改良及び水利費 9 <small>土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。</small></p> <p>【6】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 9 <small>借入金残高、支払利子について記入してください。</small></p> <p>【7】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 10 <small>生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。</small></p> <p>【8】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 11 <small>生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。</small></p> <p>【9】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 12 <small>生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。</small></p> <p>【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 13 <small>生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。</small></p> <p>【11】 土地の面積及び地代 14 <small>所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。</small></p> <p>【12】 作業別労働時間 15 <small>家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。</small></p>	<p>報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え</p> <p>視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略</p> <p>報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止(廃止項目は36～38ページ参照)</p> <p>① 該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更</p>

変更案

変更前

変更点及び理由

3 ページ

本調査は、以下の調査範囲の小麦が対象です。

調査範囲

子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培した小麦

調査範囲外

青刈用とする目的で栽培したもの
受託生産したもの

まずは直近5か年の小麦の10a当たり収量について教えてください。

【1】直近5か年の10a当たり収量 記入の仕方 ~ ページ
直近5か年における小麦の10a当たりの収量(玄麦数量)を記入してください。

①

区分	10a当たりの収量
1年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

3

3 ページ

【1】経営の概況

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における対象品目の麦の10a当たり収量を記入してください。

①

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量(kg)					

本調査の対象品目は、調査をお願いした、小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦のいずれかです。対象品目以外の麦を含めないでください。また、食用だけでなく、種子用の麦も含まれます。(青刈り目的で栽培している麦は含みません。)

設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ)

報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ)

報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ)

報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、小麦の調査範囲の説明を追加

①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変更案

変更前

変更点及び理由

4～5ページ（変更前15ページと対比）

①

ここからは令和〇年産の小麦生産にかかった労働時間等についてお教えてください。

【2】作業別労働時間 記入の仕方～ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の小麦生産に携わった家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

②

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年9月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示					
種子 予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間
耕起 整地	耕起、整地、畝立て、融雪 剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間
中耕 除草	ほ場内の中耕、土入れ、 土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による 鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい酢の草刈り、けい酢 の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき 麦)、心土破砕、麦などで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。) による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間
刈取 脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架 作り(取り壊し含む。)、 麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間
生産 管理	共同作業打合せ、技術習 得、簿記記帳(税務申告は 含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、 購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間

4

つづく



【2】作業別労働時間(つづき)

記入の仕方～ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

②

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年9月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示					
種子 予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間
耕起 整地	耕起、整地、畝立て、融雪 剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間
中耕 除草	ほ場内の中耕、土入れ、 土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による 鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい酢の草刈り、けい酢 の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき 麦)、心土破砕、麦などで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。) による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間
刈取 脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架 作り(取り壊し含む。)、 麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間
生産 管理	共同作業打合せ、技術習 得、簿記記帳(税務申告は 含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、 購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間

5

①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離

②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変更案

変更前

変更点及び理由

6～8ページ（変更前15ページと対比）

①

【2】作業別労働時間(つづき) 記入の仕方～ページ

③ 2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のお答えください。)令和〇年産の小麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
		時間	時間	時間	時間
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽				
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)				
基肥	基肥の配合、運搬、施肥				
は種	種まき、覆土				
追肥	追肥の配合、運搬、施肥				
中耕	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布				
除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布				
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)				
管理	かん排水、けい群の草刈り、けい群の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦など、ほ場見回り				
防除	農薬散布(除草剤除く。)				
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理				
乾燥	乾燥、調製				
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)				
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等				

⑤

(3) 令和〇年産の小麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、①賃金、②小麦負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②小麦負担割合	
	円	%	円	%
男性				
女性				

つづく



【2】作業別労働時間(つづき) 記入の仕方～ページ

④ 3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる		いない	
		①	②	①	②
ゆい・手間替受け	小麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合				
共同作業受け	小麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合				
手伝い受け	小麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合				

1つでも「いる」に○…(2)へ
すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の小麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分	性別	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示	時間	時間	時間	時間	時間	時間
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽						
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)						
基肥	基肥の配合、運搬、施肥						
は種	種まき、覆土						
追肥	追肥の配合、運搬、施肥						
中耕	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布						
除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布						
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)						
管理	かん排水、けい群の草刈り、けい群の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦など、ほ場見回り						
防除	農薬散布(除草剤除く。)						
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理						
乾燥	乾燥、調製						
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等						

8

①同上

③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

15ページ

①同上

②同上

【12】作業別労働時間

① 当年産の対象品目の麦生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間		作業種類	内容例示
		性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	男	女		
種子	選種、浸種、種子消毒、催芽	男		女		男		女		男		女				種子	選種、浸種、種子消毒、催芽
耕起	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）															耕起	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土															は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															中耕	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）															麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
管理	かん排水、ひい畔の草刈り、ひい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦などで、ほ場見回り															管理	かん排水、ひい畔の草刈り、ひい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦などで、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理															刈取	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾燥	乾燥、調製															乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産の対象品目の麦生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	対象品目負担割合（%）
男		
女		

・対象品目の麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変更案

変更前

変更点及び理由

9 ページ

ここからは 令和〇年産の小麦の生産状況等 についてお教えてください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ~ ページ

1 小麦の販売状況(玄麦換算)

令和〇年産の収穫量のうち、販売用(予定を含む。)の小麦について、以下の区分ごとの①数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、②金額も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

①

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等(販売用)「計」	万 kg	円	○販売した以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)	万 kg	円	・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの
	万 kg	円	・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの
	万 kg	円	・種子用
規格外 B、C(販売用)「計」	万 kg	円	○販売した以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)	万 kg	円	
	万 kg	円	
	万 kg	円	



5 ページ

【2】生産物の販売等の状況

1 対象品目の麦(二条大麦のうちビール麦を除く。)の品質・用途別の販売状況等(玄麦換算)

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
なお、1等、2等、規格外 A 及び B について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

①

区分	内容例示	数量(kg)	金額(円)
1等(計)		万 kg	万 円
販売用(予定を含む(ビール麦を除く。))	農産物検査において「1等」と判定されたもの		
2等(計)		万 kg	万 円
	農産物検査において「2等」と判定されたもの		
規格外 A(計)		万 kg	万 円
	農産物検査において「規格外」と判定されたものうち、Aランクのもの		
規格外 B(計)		万 kg	万 円
	農産物検査において「規格外」と判定されたものうち、Bランクのもの		
規格外 C		万 kg	万 円
その他	農産物検査において「規格外」と判定されたもののほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの	万 kg	万 円
② 自家用	食用に仕向けた(予定を含む。)1・2等、規格外 A のもの	万 kg	万 円
種子用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの	万 kg	万 円
規格外 B	自家用に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちBランクのもの	万 kg	万 円
規格外 C	自家用に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちCランクのもの	万 kg	万 円
その他	食用、種子用、規格外 B・C以外に仕向けた(予定を含む。)もの	万 kg	万 円

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変わら、ふるい下麦等の販売状況等については、6 ページへ記入してください。

報告者が記入しやすいよう、自家用の小麦の数量に関する設問を分離

①小麦の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「規格外A(計)」、「規格外B(計)」、「規格外C」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A、種子用等(販売用)「計」及び「規格外B、C(販売用)「計」」を把握するよう変更
また、金額については「規格外B、C(販売用)「計」」のみを把握するよう変更

②自家用の小麦の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A、種子用等(自家用)「計」、「規格外B(自家用)「計」及び「規格外C(自家用)「計」」を把握するよう変更

変更案

変更前

変更点及び理由

10ページ（変更前5ページと対比）

【3】生産物の販売等の状況(つづき) □ 記入の仕方 ~ ページ

2 自家用の小麦の数量(玄麦換算)

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

②

区分	数量				内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等 (自家用)「計」	万			kg	○自家用に仕向けた以下の小麦 (予定を含む。) <ul style="list-style-type: none"> 農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの 農産物検査において「規格外」と判定されたものうち、Aランクのもの 農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの 種子用
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)	万			kg	
	万			kg	
	万			kg	
	万			kg	
	万			kg	
規格外 B(自家用)「計」	万			kg	○自家用に仕向けた以下の小麦 (予定を含む。) <ul style="list-style-type: none"> 農産物検査において「規格外」と判定されたものうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C(自家用)「計」	万			kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

②同上

変更案

11ページ

【3】生産物の販売等の状況(つづき)

📄 記入の仕方 ~ ページ

3 麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の小麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。(該当しない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる産先販売価額)。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら 麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万 kg	万 円
	ふるい下麦等 選別により除かれた麦(販売したもの)	万 kg	万 円
自家用	麦わら 自家仕向けの麦わら(刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く)	万 kg	
	ふるい下麦等 選別により除かれた麦(自家で使用したもの)	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更前

6ページ

【2】生産物の販売等の状況(続き)

3 麦わら、ふるい下麦等の販売状況等

当年産の対象品目の小麦生産で発生した麦わら及びふるい下麦等の状況について記入してください。なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等出荷経費を除いた金額を記入してください。

③

(1) 麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		万 千 百 十
自家用	販売していない麦わら全般		/
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		100	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

(2) ふるい下麦等

用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合 (%)	数量の割合 (%)		
		販売用	自家用	その他(廃棄等)
ふるい下麦等	100			

ふるい下麦等の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他(廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、自家用、その他(廃棄等)の合計が100となります。)

区分	販売金額 (円)
ふるい下麦等	万 千 百 十

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

③報告者の記入負担軽減を図るため、麦わら、ふるい下麦等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ

変更案

12ページ

ここからは 令和〇年産の小麦生産のために使用した金額等 についてお教えてください。

【4】小麦生産のために使用した資材等 記入の仕方 ~ ページ

1 使用した種子(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。
(該当がない場合は「-」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額			
使用した種子(購入分)「計」			万	千	百	円
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
			万			円
			万			円
			万			円
			万			円
			万			円

① 2 使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、①品種名等、②使用数量、③単位を記入してください。
また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更前

6ページ

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子(購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)			
計		-	万	千	百	円

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子(自給)

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注:自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

14ページ

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) ☐ 記入の仕方 ~ ページ

4 使用した肥料(自給分)

① (1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、①使用数量、②単位、③小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。

②

資材名等	①使用数量		③小麦負担割合	
	万	②単位		%
たい肥	万	kg		%
きゅう肥	万	kg		%
稲・麦わら(注1)	万	kg		%
その他	万			%
	万			%
	万			%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7ページ

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等(続き)

2 肥料費(続き)

- ・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

② (2) 自給(自家生産した肥料)

資材名等	数量(kg)	対象品目負担割合(%)
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加

②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

16ページ

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) □ 記入の仕方 ~ ページ

6 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

区分	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②小麦負担割合	
			万	円		%
使用した光熱動力(購入分)「計」						
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油	L	万	円		%
	軽油	L	万	円		%
	灯油	L	万	円		%
	ガソリン	L	万	円		%
	潤滑油	L	万	円		%
	混合油	L	万	円		%
電力料			万	円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)			万	円		%

8ページ

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等(続き)

4 光熱動力費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額(円)		対象品目負担割合(%)
			万	円	
購入(計)					
動力燃料	重油	L			
	軽油	L			
	灯油	L			
	ガソリン	L			
	潤滑油	L			
	混合油	L			
電力料					
その他(水道料、木炭などの燃料)					
自給					

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離



変更案

変更前

変更点及び理由

17ページ（変更前8ページと対比）

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) ☐ 記入の仕方 ~ ページ

7 使用した光熱動力(自給分)

① (1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	④小麦負担割合	
		③単位	%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

18ページ

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) ☐ 記入の仕方 ~ ページ

8 使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額			②小麦負担割合		
			万	千	円			%
使用した諸材料(購入分)「計」					円			%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%
			万		円			%

注1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。
 注2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

18
つづく
↓

8ページ

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等(続き)

5 諸材料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額(円)			対象品目負担割合(%)
			万	千	円	
購入(計)		-				
自給						
給						

注:自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

- ・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。
- ・使用した自給の資材名と数量を記入してください。

報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変更案

変更前

変更点及び理由

19ページ（変更前8ページと対比）

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

9 使用した諸材料(自給分)

① (1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、①資材名等、②使用数量、③単位、④小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④小麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

変更案

20ページ

【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

10 賃借料及び料金

令和〇年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、①支払金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの支払分を記入する場合は、100(%)としてください。
- 小麦以外の支払分を含めて記入する場合は、小麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量	①支払金額				②小麦負担割合			
		単位	円				%			
賃借料及び料金「計」										
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)										
負担共同	薬剤散布(※1)		円							
	共同施設		円							
農機具借料			円							
	航空防除費(※1)	a	円							
	賃耕料	a	円							
	は種・定植料	a	円							
	収穫請負わせ賃	a	円							
	乾燥・調製委託料(※2)	kg	円							
その他			円							
			円							
			円							
			円							

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除費は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

変更前

8ページ

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等(続き)

- ・対象品目の麦のみの支払分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の支払分を含めて記入する場合は、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の対象品目の麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額(円)				対象品目負担割合(%)
				万	千	百	十	
計			-					
負担共同	薬剤散布		-					
	共同施設		-					
	農機具借料		-					
	航空防除賃		a					
	賃耕料		a					
	は種・定植料		a					
	収穫請負わせ賃		a					
	乾燥調製料		kg					
	その他		-					

注1: 共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
 2: 乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

変更点及び理由

賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

13ページ

同上

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の対象品目の麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100 (%)としてください。
 ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合は、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額(円)	対象品目負担割合(%)	内容例示
(計)			
農具・農業被服等の購入費			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
			【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農業用の衣類の購入費

名称等	金額(円)	対象品目負担割合(%)	内容例示
(計)			
生産管理関係の費用			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費
			【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料(受講料)、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
			【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変更案

変更前

変更点及び理由

23～24ページ

【4】物件税及び公課諸負担

記入の仕方～ページ

1 物件税

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の物件税について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

【6】物件税及び公課諸負担(つづき)

記入の仕方～ページ

2 公課諸負担

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の公課諸負担について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
集落協議会費 (地域集落等の会費)	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%

9ページ

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した対象品目の麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税(建物)		
固定資産税(農機具)		
不動産取得税(土地以外)		
水利地益税		
都市計画税(土地以外)		
共同施設税		

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：使用面積割合

固定資産税(農機具)、共同施設税：機械等の使用時間割合

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した対象品目の麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合

農業共済組合賦課金：作付面積割合

変更案

変更前

変更点及び理由

25ページ

【7】土地改良及び水利費

記入の仕方 ~ ページ

1 土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に関する以下の土地改良区費について、**小麦作付ほ場負担金額**(①維持負担金、②償還金)、**③小麦負担割合**を記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額		③小麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万円	円	%
農地開発事業	万円	円	%
かんがい排水事業	万円	円	%
農道整備事業	万円	円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万円	円	%

2 水利費等

令和〇年産の小麦生産に関する水利費等について、**①小麦作付ほ場負担金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額	②小麦負担割合
水利に係る費用「計」	万円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万円	%
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%

25

9ページ

【5】土地改良及び水利費

当年産の対象品目の麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額(円)		対象品目負担割合(%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万円	円	%
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他(整地、表土扱いのない事業)			

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額(円)	対象品目負担割合(%)
水利に係る費用計	万円	%

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

変更案

26～27ページ（変更前10ページと対比）

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金				
			年(西暦)	月	購入金額から補助金を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。				
1					円	万			円	万			円
2					円	万			円	万			円
3					円	万			円	万			円
4					円	万			円	万			円
5					円	万			円	万			円
6					円	万			円	万			円
7					円	万			円	万			円
8					円	万			円	万			円
9					円	万			円	万			円
10					円	万			円	万			円

26

つづく



変更前

- 当該建物等を小麦のみに使用した場合 100(%)としてください。
- 当該建物等を小麦以外にも使用した場合 小麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※)	保険料	小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況				番号
			状況区分	発生金額	部分取り壊しをした面積割合	部分取り壊しをした面積割合	
円	円	%	○	円	%	1	
円	円	%	○	円	%	2	
円	円	%	○	円	%	3	
円	円	%	○	円	%	4	
円	円	%	○	円	%	5	
円	円	%	○	円	%	6	
円	円	%	○	円	%	7	
円	円	%	○	円	%	8	
円	円	%	○	円	%	9	
円	円	%	○	円	%	10	

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

27

変更点及び理由

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除

②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更

④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

10ページ

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該建物等の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。</small>	対象品目負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						異動コード	異動に伴う発生金額 (円) <small>売却金額、取り壊しの金額</small>
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい群	19	用水路
16	暗きよ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

28～29ページ（変更前11ページと対比）

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を小麦のみに使用した場合 100(%)としてください。
●当該自動車等を小麦以外にも使用した場合 小麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等 ②	償却済状況	取得年月		取得価額		修繕費(※)		自動車保険料	
			年 (西暦)	月	円	円	円	円		
1					円	円	円	円	円	円
2					円	円	円	円	円	円
3					円	円	円	円	円	円
4					円	円	円	円	円	円
5					円	円	円	円	円	円
6					円	円	円	円	円	円
7					円	円	円	円	円	円
8					円	円	円	円	円	円
9					円	円	円	円	円	円
10					円	円	円	円	円	円

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況		番号
	自動車重量税	自賠責保険		売却・無償譲渡	売却金額	
円	円	円	%	円	円	1
円	円	円	%	円	円	2
円	円	円	%	円	円	3
円	円	円	%	円	円	4
円	円	円	%	円	円	5
円	円	円	%	円	円	6
円	円	円	%	円	円	7
円	円	円	%	円	円	8
円	円	円	%	円	円	9
円	円	円	%	円	円	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金 など

28

つづく



29

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

11ページ

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

対象品目の表生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・対象品目の妻のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・対象品目の妻以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

①

③

番号	名称等	種類コード	型式コード	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円）	修繕費 （円）	自動車保険料 （円）	自動車・軽自動車税 （円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		対象品目負担割合 （%）	年内異動状況	
					年 （西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円）
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンブ式）
3	普通自動車（ダンブ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

30～31ページ（変更前12ページと対比）

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等 ②	耐用年数	取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金		修繕費(※)	
			年(西暦)	月	円	円	円	円		
1	○		年	月	円	円	円	円	円	
2	○		年	月	円	円	円	円	円	
3	○		年	月	円	円	円	円	円	
4	○		年	月	円	円	円	円	円	
5	○		年	月	円	円	円	円	円	
6	○		年	月	円	円	円	円	円	
7	○		年	月	円	円	円	円	円	
8	○		年	月	円	円	円	円	円	
9	○		年	月	円	円	円	円	円	
10	○		年	月	円	円	円	円	円	

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

30

つづく



番号	保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 ③	売却金額	番号
			自動車重量税	自賠責保険			
1	円	円	円	円	%	円	1
2	円	円	円	円	%	円	2
3	円	円	円	円	%	円	3
4	円	円	円	円	%	円	4
5	円	円	円	円	%	円	5
6	円	円	円	円	%	円	6
7	円	円	円	円	%	円	7
8	円	円	円	円	%	円	8
9	円	円	円	円	%	円	9
10	円	円	円	円	%	円	10

31

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

12ページ

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代 など

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

①

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

③

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を 控除した額を記入してくだ さい。</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の引 取農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。</small>	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		対象品目 負担割 合 (%)	年内異動状況		
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。) した場合は、「0(ゼロ)」</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 2.0馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 2.0～5.0馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 5.0～8.0馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 8.0～10.0馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 10.0馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

32～33ページ（変更前14ページと対比）

①

【11】土地の面積及び地代

記入の仕方～ページ

1 作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けた(1)所有地と(2)借入地について、①団地又はほ場名等、②土地台帳面積、③作付面積、④支払地代(借入地のみ)、⑤小麦負担割合を記入し、⑥地目について該当するものに○を記入してください。

なお、所有地、借入地の③作付面積の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ●小麦のみを作付けた団地・ほ場等の場合
 100(%)としてください。
 ●小麦以外の作物も作付けた団地・ほ場等の場合
 作付けた作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位			③作付面積 0.1a 単位			⑤小麦 負担割合	⑥地目 田 畑
		町	反	畝	小	町	反		
1		ha	a		ha	a		%	○
2		ha	a		ha	a		%	○
3		ha	a		ha	a		%	○
4		ha	a		ha	a		%	○
5		ha	a		ha	a		%	○
6		ha	a		ha	a		%	○
7		ha	a		ha	a		%	○
8		ha	a		ha	a		%	○
9		ha	a		ha	a		%	○
10		ha	a		ha	a		%	○
11		ha	a		ha	a		%	○
12		ha	a		ha	a		%	○
13		ha	a		ha	a		%	○
14		ha	a		ha	a		%	○
15		ha	a		ha	a		%	○

32

【11】土地の面積及び地代(つづき)

記入の仕方～ページ

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ●小麦のみを作付けた団地・ほ場等の場合
 100(%)としてください。
 ●小麦以外の作物も作付けた団地・ほ場等の場合
 作付けた作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位			③作付面積 0.1a 単位			④支払地代	⑤小麦 負担割合	⑥地目 田 畑
		町	反	畝	小	町	反			
1		ha	a		ha	a	万	円	%	○
2		ha	a		ha	a	万	円	%	○
3		ha	a		ha	a	万	円	%	○
4		ha	a		ha	a	万	円	%	○
5		ha	a		ha	a	万	円	%	○
6		ha	a		ha	a	万	円	%	○
7		ha	a		ha	a	万	円	%	○
8		ha	a		ha	a	万	円	%	○
9		ha	a		ha	a	万	円	%	○
10		ha	a		ha	a	万	円	%	○
11		ha	a		ha	a	万	円	%	○
12		ha	a		ha	a	万	円	%	○
13		ha	a		ha	a	万	円	%	○
14		ha	a		ha	a	万	円	%	○
15		ha	a		ha	a	万	円	%	○

33

つづく



記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記

①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

変更案

変更前

変更点及び理由

34ページ（変更前14ページと対比）

①

【11】土地の面積及び地代(つづく) □ 記入の仕方 ~ ページ

2 建物敷地等

令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、
①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料(借入地のみ)、⑤小麦負担割合を記入してください。

総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。

②

番号	①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤小麦 負担割合	
1		万	㎡	㎡	%	
2		万	㎡	㎡	%	
3		万	㎡	㎡	%	
4	所有地	万	㎡	㎡	%	
5		万	㎡	㎡	%	
6		万	㎡	㎡	%	
7		万	㎡	㎡	%	
8		万	㎡	㎡	%	
1		万	㎡	万	円	%
2		万	㎡	万	円	%
3		万	㎡	万	円	%
4	借入地	万	㎡	万	円	%
5		万	㎡	万	円	%
6		万	㎡	万	円	%
7		万	㎡	万	円	%
8		万	㎡	万	円	%

34

つづく



①同上

②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

①

【1】土地の面積及び地代

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ・対象品目の麦のみ作付けた団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $小麦400万円 \div (米400万円 + 小麦400万円) \times 100 = 50（%）$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)	対象品目負担割合 (%)	地目	
		ha	a			田	畑
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	面積 (a)		対象品目負担割合 (%)
		総面積	使用面積	
1				
2				
3				

2 借入地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)	支払地代 (円)	対象品目負担割合 (%)	地目	
		ha	a				田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	面積 (a)		支払借料 (円)	対象品目負担割合 (%)
		総面積	使用面積		
1					
2					
3					

①同上

②同上

変更案

変更前

変更点及び理由

35ページ

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 記入の仕方～ページ

令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
 - 小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。
- 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高		②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額		③小麦負担割合	
	万	円	万	円	円	%
「計」						
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
借入金						
買掛未払金						

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

9ページ

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の対象品目の麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・対象品目の麦のみの生産に係る金額を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の金額を含めて記入する場合は、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名(用途)	調査開始時未償還残高(円)	支払利子額(円)	対象品目負担割合(%)					
	万	千	百	十	円	円	円	円
計								
借入金								
買掛未払金								

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>36ページ</p> <p style="text-align: center;">令和〇年産の小麦栽培の特徴</p> <p>1 作柄概況</p> <p>2 被害の状況や品質</p> <p>3 栽培状況の変化 (1)新たな品種の導入</p> <p>(2)新たな設備・機械の導入</p> <p>(3)その他(新たな栽培技術の導入)</p>	<p>4ページ</p> <p style="text-align: center;">当年産の対象品目の麦栽培の特徴</p> <p>1 作柄概況</p> <p>2 被害の状況や品質</p> <p>3 栽培状況の変化 (1) 新たな品種の導入</p> <p>(2) 新たな設備・機械の導入</p> <p>(3) その他(新たな栽培技術の導入)</p>	

変更案

38ページ

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

変更前

1ページ



農業経営統計調査
○年産 麦類生産費統計調査票
[小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦]
(個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ○年産の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦のいずれかの生産費について記入してください。
2. 調査項目欄には、右ついで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

2020年センサス 番号	都道府県	市区町村	国用区 町村	農業集落 町村	調査区	寄体番号
-----------------	------	------	-----------	------------	-----	------

問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

(削除)

2 ページ

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦（※1）の生産コスト」を把握する調査です。

調査票には、○年産の小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦のうち、対象品目の麦の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦とは食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈目的で栽培している麦は含みません。）
また、二条大麦についてはビール麦も含みます。

※2 この調査での対象品目の麦の生産とは自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（対象品目が小麦の場合の負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	2 0 0	2 0 0 0 0	1 0 0

対象品目負担割合には100%と記入

例2 小麦、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

小麦と水稻の作付面積割合「2：8」を目安に小麦負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	1 0 0 0	1 0 0 0 0 0	2 0

対象品目負担割合には20%と記入

【対象品目が小麦の場合の負担割合設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

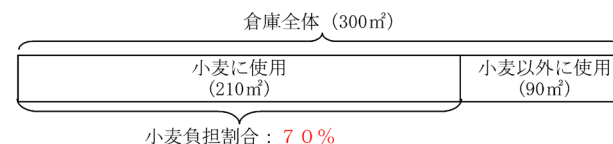
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除


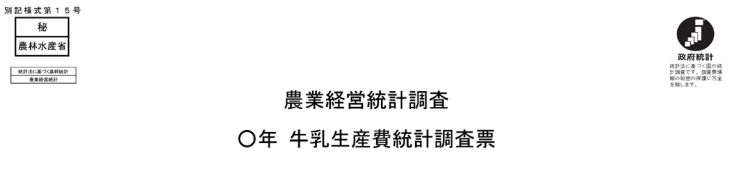
変更案	変更前	変更点及び理由																								
(削除)	<p>3 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況</p> <p>1 経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">所有地 (a)</th> <th style="width: 15%;">借入地 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>ha a</td> <td>ha a</td> </tr> <tr> <td>普通畑</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹園地</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧草地</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	区 分	所有地 (a)	借入地 (a)	田	ha a	ha a	普通畑			樹園地			牧草地			<p>経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>									
区 分	所有地 (a)	借入地 (a)																								
田	ha a	ha a																								
普通畑																										
樹園地																										
牧草地																										
(削除)	<p>3 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況</p> <p>2 世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 45%;">用 語 の 説 明</th> <th style="width: 10%;">男 (人)</th> <th style="width: 10%;">女 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 帯 員</td> <td>世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家 族</td> <td>夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農 業 就 業 者</td> <td>年間の農業労働日数が60日以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>150 日 以 上</td> <td>年間の農業労働日数が150日以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農 業 年 雇</td> <td>農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。</p> </div>	区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)	世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）			家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）			農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上			150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上			農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者			<p>世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)																							
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）																									
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）																									
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上																									
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上																									
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者																									
(削除)	<p>3 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【1】経営の概況</p> <p>3 認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">い</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">る</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">い</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">ない</div> </div> </div>	<p>認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>																								

変更案	変更前	変更点及び理由																		
(削除)	<p>4 ページ</p> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>5 対象品目の麦生産における作業委託の状況 耕うん・整地や防除などで、同一のは場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1048 363 1400 603"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕うん・整地</td> <td>ha</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>は</td> <td></td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>防除</td> <td></td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>刈取・脱穀</td> <td></td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>乾燥・調製</td> <td>万 千 百 十</td> <td>kg</td> </tr> </tbody> </table>	区分	数量	単位	耕うん・整地	ha	a	は		a	防除		a	刈取・脱穀		a	乾燥・調製	万 千 百 十	kg	<p>対象品目の麦生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区分	数量	単位																		
耕うん・整地	ha	a																		
は		a																		
防除		a																		
刈取・脱穀		a																		
乾燥・調製	万 千 百 十	kg																		
(削除)	<p>4 ページ</p> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>6 対象品目の麦の品種別作付面積 当年産に作付けした対象品目の麦の品種名及びその作付面積を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1048 786 1377 1010"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>品種名</th> <th>面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品種 1</td> <td></td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>品種 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品種 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品種 4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品種 5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：面積の合計が当年産の対象品目の麦の作付面積です。</p>	区分	品種名	面積 (a)	品種 1		ha	品種 2			品種 3			品種 4			品種 5			<p>対象品目の麦の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区分	品種名	面積 (a)																		
品種 1		ha																		
品種 2																				
品種 3																				
品種 4																				
品種 5																				
(削除)	<p>4 ページ</p> <p>【1】経営の概況（続き）</p> <p>7 制度受取金等の状況 当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1048 1209 1500 1425"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>掛金 (円)</th> <th>受取金 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業共済</td> <td>万 千 百 十</td> <td>万 千 百 十</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。</p>	区分	掛金 (円)	受取金 (円)	農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十										<p>制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>			
区分	掛金 (円)	受取金 (円)																		
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十																		

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																																																																					
(削除)	<p>4 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center; margin: 0 auto; width: 100px;">通 信 欄</div> </div>	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除																																																																																																																																																					
(削除)	<p>5 ページ</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>【2】生産物の販売等の状況</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;">※ 対象品目が二条大麦の場合、「2 ビール麦の販売内訳」についても記入してください。</div> <p>2 ビール麦の販売内訳（玄麦換算） ビール麦の販売がある場合、その販売状況等について黄色の欄に記入してください。 なお、1等、2等及び等外上について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">内 容 例 示</th> <th colspan="4">数 量 (kg)</th> <th colspan="4">金 額 (円)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">万</th> <th colspan="2">千</th> <th colspan="2">万</th> <th colspan="2">千</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）</td> <td>1 等 (計)</td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 等 (計)</td> <td></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">等 外 上 (計)</td> <td></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自 家 用</td> <td>食 用</td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> <td colspan="2" rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>種 子 用</td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> <td colspan="2" style="background-color: yellow;"></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。</p> </div>	区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)				金 額 (円)				万		千		万		千		販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）	1 等 (計)																																				2 等 (計)																																					等 外 上 (計)																																					自 家 用	食 用					/				種 子 用					そ の 他					麦類生産費統計の調査票を小麦生産費統計単独の調査票に変更したことから、二条大麦のみが対象であるビール麦の販売内訳を削除
区 分	内 容 例 示			数 量 (kg)				金 額 (円)																																																																																																																																															
		万		千		万		千																																																																																																																																															
販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）	1 等 (計)																																																																																																																																																						
2 等 (計)																																																																																																																																																							
等 外 上 (計)																																																																																																																																																							
自 家 用	食 用					/																																																																																																																																																	
	種 子 用																																																																																																																																																						
	そ の 他																																																																																																																																																						

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

2 畜産物生産費統計（牛乳）

変更案	変更前	変更点及び理由																																																
<p>別記様式18号 1 ページ</p>  <p>✓本調査の対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和〇年1月～12月の1年間についてお答えください。 調査対象畜(搾乳牛、子牛、育成牛)及び自給飼料についてお答えください。 金額は消費税を含めて記入してください。 <p>✓記入にあたって (記入例1)123.4 アールの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 数字は右づめで記入してください。 該当がない項目は「-」を記入してください。 マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて記入してください。 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 <p>✓記入欄にあらかじめ印字されている場合 (記入例3) 印字内容を修正する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータであらかじめ青字で印字しています。 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。) <table border="1" data-bbox="403 1332 891 1385"> <tr> <td>2025年センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>寄付番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄付番号								<p>別記様式15号 1 ページ</p>  <p>農業経営統計調査 〇年 牛乳生産費統計調査票</p> <p>この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。また、この調査票は統計の目的にのみ使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。</p> <p>【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 〇年1月1日～〇年12月31日までの1年間について記入してください。 調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p>★数字は枠からはみ出さないように記入してください。</p> <p>記入見本 <table border="1" data-bbox="1019 742 1400 774"><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table></p> <p>★〇印は記入見本を参考に記入してください。</p> <p>記入見本 <table border="1" data-bbox="1019 805 1355 837"><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table></p> <p>ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】</p> <table border="1" data-bbox="1003 901 1276 933"> <tr> <td>2025年センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>寄付番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄付番号								<p>視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ)</p> <p>報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化</p> <p>報告者が記入しやすいよう記入例などを追加</p> <p>問い合わせ先を調査票の最後のページに移動</p>
2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄付番号																																												
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																									
2025年センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	寄付番号																																												

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>2 ページ</p> <p style="text-align: center;">目次</p> <p>① 【1】 農業就業者数3</p> <p>【2】 作業別労働時間5</p> <p>【3】 生産物の販売等の状況8</p> <p>① 【4】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等16</p> <p>【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等32</p> <p>【6】 物件税及び公課諸負担34</p> <p>【7】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況36</p> <p>【8】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況38</p> <p>【9】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況40</p> <p>【10】 地代(所有地及び借入地)42</p> <p>【11】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子44</p> <p>【12】 乳用牛の月齢別の飼育経費45</p> <p>【13】 搾乳牛等の所有状況45</p>	<p>3 ページ</p> <p style="text-align: center;">調 査 事 項</p> <p style="text-align: right;">ページ</p> <p>① 【1】 経営の概況 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。</p> <p>【2】 生産物の販売等の状況 4 生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。</p> <p>① 【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 7 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。</p> <p>【4】 物件税及び公課諸負担 11 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。</p> <p>【5】 消費税 11 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。</p> <p>【6】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 11 借入金残高、支払利子を記入してください。</p> <p>【7】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 12 建物・構築物の所有状況を記入してください。</p> <p>【8】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 13 自動車等の所有状況を記入してください。</p> <p>【9】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 14 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。</p> <p>【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 15 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。</p> <p>【11】 搾乳牛等の所有状況 16 搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。</p> <p>【12】 作業別労働時間 16 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。</p> <p>【13】 地代(所有地及び借入地) 17 地代を記入してください。</p> <p>【14】 乳用牛の月齢別の飼育経費 17 搾乳牛(成牛)の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。</p>	<p>報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え</p> <p>視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略</p> <p>報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止(廃止項目は49ページ参照)</p> <p>①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更</p>

変更案

変更前

変更点及び理由

3 ページ

まずは経営全体のことをお教えてください。

【1】農業就業者数

記入の仕方 ~ ページ

農業就業者数について記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

区分	用語の説明	男性	女性
農業就業者	家族(※1)のうち、年間の農業労働日数が60日以上(※2)の者(15歳未満を除く。)		
150日以上	農業就業者のうち、年間の農業労働日数が150日以上(※2)の者		

(※1)家族とは、世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団を言います。

(※2)農業労働日数は、1日=8時間を目安にしてください。

3 ページ

【1】経営の概況

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区分	用語の説明	男(人)	女(人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者(住み込みの年雇等を含む。)		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団(15歳未満を除く。)		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間(7か月以上)を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日=8時間を目安にしてください。

設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ)

報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ)

報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ)

①報告者の記入負担軽減を図るため、「世帯員」及び「農業年雇」の把握をとりやめ

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>4 ページ</p> <p>ここからは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に関する作業時間等についてお教えください。</p> <p>調査対象畜とは、以下のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; margin: 0;">調査対象畜(調査範囲)</p> <p>搾乳牛…ホルスタイン種等の乳用種の雌牛(終産牛) (乾乳中の牛や廃用後に肥育している牛を含む。)</p> <p>子牛 …調査期間中に搾乳牛から生まれた生後 10 日齢までの子牛 (交雑種(F1)の牛や受精卵移植(ET)により生まれた牛を含む。)</p> <p>育成牛…将来、搾乳牛にするために育成する乳用種の雌牛(後継牛) (育成牧場等に預託している牛は、その期間中は調査対象畜としない。)</p> </div> <p>自給飼料とは、以下のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; margin: 0;">自給飼料(調査範囲)</p> <p>生産した飼料全て (調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したものや、販売又は廃棄したものも含む。)</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">4</p>		<p>報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、調査対象畜と自給飼料の調査範囲の説明を追加</p>

変更案

変更前

変更点及び理由

5 ページ

16 ページ

①

①

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ~ ページ

1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
 ・種付け、分べん関係作業
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
 ・衛生管理(殺虫剤の散布等)

②

作業者	年齢	性別	定型作業内容							
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男(女)	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

②

作業者	年齢	性別	定型外作業内容				
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※1)	経営管理(※2)
	歳	男(女)	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男(女)	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男(女)	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男(女)	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男(女)	時間	時間	時間	時間	時間

(※1)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等
 (※2)経営管理:役員として出席する打合せ、簿記記帳(税務申告)、畜産経営のための資金調達等

つづく



【12】作業別労働時間

1 酪農に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
 ・種付け、分べん関係作業
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
 ・衛生管理(殺虫剤の散布等)

②

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
				時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男(女)		家族・雇用	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

注:雇用の年齢は記入不要です。

2 酪農に関する1以外の作業

「作業名」欄の()に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
 ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料(牧草等)の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業等を記入してください。

②

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				()	()	()	()	()
	男(女)		家族・雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男(女)		家族・雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男(女)		家族・雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男(女)		家族・雇用	時間	時間	時間	時間	時間

注:雇用の年齢は記入不要です。

①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1酪農に関する定型作業」と「2酪農に関する1以外の作業」の設問をそれぞれ「調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)」及び「調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)」に分離

②氏名に限定せず、作業者及び区分を特定可能な記入欄へ変更

③定形外作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため、作業名を記入する形式からあらかじめ回答欄に記載された定形外作業内容について回答する形式へ変更

6 ページ（変更前16ページと対比）

①

【2】作業別労働時間(つづき)

記入の仕方 ~ ページ

④ 2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ
すべて「いない」に○…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和〇年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
 ・種付け、分べん関係作業
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
 ・衛生管理(殺虫剤の散布等)

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

②

区分	性別	定型作業内容							
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日

6

つづく



①同上

②同上

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、雇用者(住み込みの年雇を除く。)、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受けの人の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

7ページ（変更前16ページと対比）

16ページ

①

①同上

【2】作業別労働時間(つづき) 📄 記入の仕方 ~ ページ

(3) (1)に記載の農業従事者について伺います。(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

②

③

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間
	男	時間	時間	時間	時間
	女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者、ヘルパーに支払った賃金について、①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

- ①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万円 円	%	%
女性	万円 円	%	%

7

【12】作業別労働時間

3 支払賃金

雇用者(ヘルパー、研修生等)に支払った賃金(現物支給も含む。)を男女別に記入してください。

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給飼料
男	万円 円	%	%
女	万円 円	%	%

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給飼料の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給飼料」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給飼料の負担割合を記入してください。

②同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

8～9ページ（変更前4ページと対比）

ここからは令和〇年1年間の生産物の販売等の状況についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方～ページ

1 生乳の販売状況

①

(1) 次の設問で令和〇年の1年間の生乳の生産量等についてお伺いします。1年分合算と月別のどちらで記入しますか。

1年分合算	①	→	1月分(または年間計)欄のみ記入してください。
月別	②	→	1月分～12月分欄すべてを記入してください。

(2) 生乳の生産量等を(1)で回答した方法で記入してください。なお、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補助金等の補助金、販売手数料、集乳経費及び小売りの価額を記入してください。(該当がない区分は「-」を記入)

1月分(または年間計)

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	値 万 円	値 万 円	加工原料乳生産者補助金等の補助金
販売手数料	値 万 円	値 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費	値 万 円	値 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg		乳脂肪分率
無脂乳固形分生産量	値 万 kg		無脂乳固形分率

割合	
0.01%単位	
一の位	小数第一位第二位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

【3】生産物の販売等の状況(つづき)

記入の仕方～ページ

2月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	値 万 円	値 万 円	加工原料乳生産者補助金等の補助金
販売手数料	値 万 円	値 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費	値 万 円	値 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg		乳脂肪分率
無脂乳固形分生産量	値 万 kg		無脂乳固形分率

割合	
0.01%単位	
一の位	小数第一位第二位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

3月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	値 万 円	値 万 円	加工原料乳生産者補助金等の補助金
販売手数料	値 万 円	値 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費	値 万 円	値 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg		乳脂肪分率
無脂乳固形分生産量	値 万 kg		無脂乳固形分率

割合	
0.01%単位	
一の位	小数第一位第二位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、生乳の生産量の記入方法について、1年分合算又は月別のいずれかを選択する設問を追加



変更案

変更前

変更点及び理由

10～11ページ（変更前4～5ページと対比）

【3】生産物の販売等の状況(つづき)

☐ 記入の仕方～ページ

4月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	/	値 万	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		値 万	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		値 万	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り		値 万 kg	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	割合 0.01%単位

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

5月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	/	値 万	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		値 万	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		値 万	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り		値 万 kg	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	割合 0.01%単位

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。



【3】生産物の販売等の状況(つづき)

☐ 記入の仕方～ページ

6月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	/	値 万	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		値 万	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		値 万	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り		値 万 kg	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	割合 0.01%単位

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

7月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等	/	値 万	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		値 万	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		値 万	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り		値 万 kg	消費者に小売した生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	割合 0.01%単位

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

11

変更案

変更前

変更点及び理由

12～13ページ（変更前5～6ページと対比）

[3] 生産物の販売等の状況(つづき)

☐ 記入の仕方～ページ

8月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等	△	値 万 円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
販売手数料		値 万 円	農協や指定団体へ 支払った手数料
集乳経費		値 万 円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売りした 生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

9月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等	△	値 万 円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
販売手数料		値 万 円	農協や指定団体へ 支払った手数料
集乳経費		値 万 円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売りした 生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

12

つづく



[3] 生産物の販売等の状況(つづき)

☐ 記入の仕方～ページ

10月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等	△	値 万 円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
販売手数料		値 万 円	農協や指定団体へ 支払った手数料
集乳経費		値 万 円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売りした 生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

11月分

区分	数量	価額	内容
出荷(乳代)	値 万 kg	値 万 円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等	△	値 万 円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
販売手数料		値 万 円	農協や指定団体へ 支払った手数料
集乳経費		値 万 円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
小売り	値 万 kg	値 万 円	消費者に小売りした 生乳の金額
子牛給与(※)	値 万 kg		
自家消費(※)	値 万 kg		
計	値 万 kg		
乳脂肪生産量	値 万 kg	乳脂肪分率	割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	値 万 kg	無脂乳固形分率	

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

13

変更案

変更前

変更点及び理由

14ページ（変更前6ページと対比）

[3] 生産物の販売等の状況(つづく)

記入の仕方 ~ ページ

12月分

区分	数量		価額		内容		
出荷(乳代)	億	万	kg	億	万	円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等	億	万	kg	億	万	円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
販売手数料							農協や指定団体へ 支払った手数料
集乳経費							メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
小売り	億	万	kg	億	万	円	消費者に小売りした 生乳の金額
子牛給与(※)	億	万	kg				
自家消費(※)	億	万	kg				
計	億	万	kg				
乳脂肪生産量	億	万	kg				割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量	億	万	kg				

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

14

つづく



変更案

変更前

変更点及び理由

4 ページ

【2】生産物の販売等の状況

1 生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。
ただし、1年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、1月分の記入欄に年間計を記入してください。
乳脂肪生産量 (kg) や無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合には、乳脂肪分率 (%) や無脂乳固形分率 (%) を記入してください。
また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

1月分 (または年間計)

区 分		数量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出荷 (乳代)			控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集乳経費
	小売り			消費者に小売した生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

2月分

区 分		数量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)		
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
計			
乳 脂 肪 生 産 量			
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			

3月分

区 分		数量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)		
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
計			
乳 脂 肪 生 産 量			
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			

4月分

区 分		数量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)		
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
計			
乳 脂 肪 生 産 量			
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			

つづく



変更案

変更前

変更点及び理由

5 ページ

【2】生産物の販売等の状況（続き）

5月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出荷 (乳代)			控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売 手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

6月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出荷 (乳代)			
	補給金等			
	販売 手数料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

7月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出荷 (乳代)			
	補給金等			
	販売 手数料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

8月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出荷 (乳代)			
	補給金等			
	販売 手数料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

つづく



変更案

変更前

変更点及び理由

6ページ

【2】生産物の販売等の状況（続き）

9月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳脂肪生産量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

10月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳脂肪生産量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

11月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳脂肪生産量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

12月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳脂肪生産量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。


変更案

変更前

変更点及び理由

15ページ

【3】生産物の販売等の状況(つづき)

 記入の仕方 ~ ページ

2 子牛

令和〇年の1年間に搾乳牛から生まれ、死産等により「牛トレーサビリティ」(耳標番号)に未登録の子牛の頭数を記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

区分	雄		雌	
乳用種		頭		頭
交雑種(F1)		頭		頭
黒毛和種(受精卵移植)		頭		頭

15

7ページ

【2】生産物の販売等の状況(続き)

2 子牛

1年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」(耳標番号)を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。

区 分	乳用種		交雑種(F1)		黒毛和種(受精卵移植)	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数(頭)						

変更案

変更前

変更点及び理由

16ページ

7ページ

ここからは令和〇年1年間の調査対象畜及び自給飼料に使用した金額等についてお教えてください。

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 記入の仕方 ~ ページ

1 給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①又は③に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分	①給与数量			②単位	③給与数量分の購入金額			④調査対象畜負担割合
	値	万	円		値	万	円	
穀類	大麦							
	その他の麦							
	とうもろこし							
	大豆							
	飼料用米							
	その他の穀類							
	ふすま							
ふすま類	米・麦ぬか							
	その他のぬか・ふすま類							
	大豆油かす							
植物性かす類	ビートパルプ							
	その他の植物性かす類							
	配合飼料							
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)								
牛乳脱脂乳								
いも類及び野菜類								
わら類	稲わら							
	その他のわら類(麦わら等)							
生牧草								
乾牧草	ハイキューブ							
	その他の乾牧草							
サイレージ	いね科(稲発酵粗飼料を除く。)							
	稲発酵粗飼料							
その他のサイレージ								
上記以外の購入飼料								

16

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
(自給飼料は、8ページに記入してください。)

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を自記に調査対象畜の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$

区分	数量			単位	金額(円)			調査対象畜負担割合
	値	万	円		値	万	円	
穀類	大 麦							
	そ の 他 の 麦							
	とうもろこし							
	大 豆							
	飼 料 用 米							
	そ の 他 の 穀 類							
ぬか・ふすま類	ふ す ま							
	米・麦ぬか							
	そ の 他 の ぬか・ふすま類							
植 物 性 か す 類	大 豆 油 か す							
	ビートパルプ							
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類							
配 合 飼 料								
T M R (粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)								
牛 乳 脱 脂 乳								
いも類及び野菜類								
わら類	稲 わ ら							
	そ の 他 の わ ら 類 (麦 わ ら 等)							
生 牧 草								
乾 牧 草	ハ イ キ ュ ー ブ							
	そ の 他 の 乾 牧 草							
サイレージ	い ね 科 (稲 発 酵 粗 飼 料 を 除 く 。)							
	稲 発 酵 粗 飼 料							
そ の 他 の サ イ レ ー ジ								
上 記 以 外 の 購 入 飼 料								

変更案

変更前

変更点及び理由

17ページ（変更前8ページと対比）

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづく) 記入の仕方 ~ ページ

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の①作付面積、②総収穫量、③単位を記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

総収穫量とは、収穫時の重量(乾燥等の調製をする前の生重量)です。

区分	飼料の例示	1年間の飼料の生産状況							
		①作付面積			②総収穫量			③単位	
		町	反	畝	万	kg	kg		
いね科	デントコーン			ha		a		万	
	イタリアンライグラス			ha		a		万	
	ソルゴー			ha		a		万	
	稲発酵粗飼料	WCS:ホークロップサイレージ			ha		a		万
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草			ha		a		万
まぜまぜ	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまぜ牧草			ha		a		万
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草			ha		a		万
その他の飼料	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等			ha		a		万	
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類			ha		a		万	
いも類及び野菜類	かんしょ、いもづる等			ha		a		万	
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、そのまま給与するもの			ha		a		万	
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			ha		a		万	
放牧場				ha		a		万	

・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した(予定も含む。)場合には100(%)としてください。
 ・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売(又は廃棄)した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

%

17

つづく



報告者が記入しやすいよう、飼料の生産状況に関する設問を分離

記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記

変更案

変更前

変更点及び理由

18～19ページ（変更前 8 ページと対比）

同上

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

3 給与した飼料(自給分)

(1) 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、①数量、②単位、③調査対象畜負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分	飼料の例示	生牧草等 (生で給与するもの)		
		①数量	②単位	③ 調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン	万		%
	イタリアンライグラス	万		%
	ソルゴー	万		%
	稲発酵粗飼料	WCS:ホールクロップサイレージ		
その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%
まげまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまげまき牧草	万	%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万	%
その他の飼料	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%
いも類及び野菜類	かんしょ、いもづる等	万		%
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの	万		%
放牧時間	放牧場における放牧時間	万	時間	%

区分	乾牧草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)		
	①数量	②単位	③ 調査対象畜負担割合	①数量	②単位	③ 調査対象畜負担割合
いね科	万		%	万		%
	万		%	万		%
	万		%	万		%
	WCS:ホールクロップサイレージ			万		
その他	万		%	万		%
まげまき	万		%	万		%
	万		%	万		%
その他の飼料	万		%	万		%
穀類	万		%	万		%
いも類及び野菜類	万		%	万		%
野生草	万		%	万		%
野乾草	万		%	万		%
放牧時間	万	時間	%	万	時間	%

18

つづく



19

同上

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調整をする前の生重量）です。

区分	自給飼料の例示	生牧草 (生の状態で給与するもの)			乾牧草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況		
		数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン												
	イタリアンライグラス												
	ソルゴー												
	稲発酵粗飼料	WCS : ホルクroppサイレージ											
まぜまき	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草											
	その他	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草											
その他の牧草	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草											
	その他	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等											
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類											
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等											
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの											
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの											
放牧時間(放牧場)		放牧場における放牧時間											

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。



- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

変更案

変更前

変更点及び理由

20ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

①

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (3)へ

(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量			③単位	④調査対象畜負担割合
		万			%
		万			%
		万			%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(続き)

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

作物名 (具体的に記入)	数量			調査対象畜負担割合
			単位	
		万	千	%
				%
				%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例については、調査票の記入の仕方に記載することから削除

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、家畜に給与する目的以外で栽培した作物の有無を確認する設問を追加

変更案

21ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) □ 記入の仕方 ~ ページ

4 種付料

- (1) 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。黒毛和種精液の人工授精(F1)や黒毛和種の受精卵移植(ET)を含めて記入してください。
(該当がない場合は「-」を記入)

種付料金	億	万	千	百	十	円
------	---	---	---	---	---	---

- (2) 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。
(該当がない場合は「-」を記入)

延べ種付回数	万	千	百	十	回
--------	---	---	---	---	---

5 使用した敷料(購入分)

- (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、①使用した敷料の購入金額、②調査対象畜負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料(購入分)「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	万 円	%
おがくず	万 円	%
麦わら	万 円	%
乾牧草	万 円	%
その他	万 円	%

21

つづく



変更前

9ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(続き)

3 種付料

- (1) 種付けに支払った料金を記入してください。
(精液代、種付料等)
- (2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

黒毛和種の種付け(F1)や黒毛和種の受精卵移植(ET)を含みます。

種付料金 (円)	万	千	百	十
延べ種付回数 (回)	万	千	百	十

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区分	金額(円)	調査対象畜負担割合
計	万 千 百 十	%
稲わら		
おがくず		
麦わら		
乾牧草		
その他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変更点及び理由

報告者の未記入防止のため、敷料費の購入分のうち物々交換した場合の数量について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

22～23ページ（変更前9ページと対比）

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

①

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	①	→ 次ページへ
物々交換した	②	↓ (3)へ

(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量		③単位
	万		
	万		
	万		
	万		
	万		

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

②

6 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	↓ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量		④調査対象畜負担割合
	万	③単位	
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料(購入分)について物々交換の有無を確認する設問を追加

②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

24ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

7 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合
販売用(物々交換含む。)	%
自家利用	%
廃棄	%
計	100%

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ
販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

① (3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①	次ページへ
物々交換した	②	(4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

24

7ページ

【2】生産物の販売等の状況(続き)

3 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合(%)	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。(販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。)

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額(円)
万円

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名(具体的に記入)	数量	単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

報告者の未記入防止のため、きゅう肥の利用状況のうち販売金額について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更

回答欄の変更により、用途別の割合に関する補足説明(青枠)を削除

報告者に記入方法を分かりやすく伝えるため、販売価額に関する注意書き(青枠)を追加

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、きゅう肥の物々交換の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

25ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) □□ 記入の仕方 ~ ページ

8 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用した光熱動力の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額		②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合	
	円	円	%	%	%	%
使用した光熱動力(購入分)「計」						
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)						
重油						
軽油						
灯油						
ガソリン						
水道料						
電力料						
その他						

9ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(続き)

5 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額(料金)を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草
計			
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名(具体的に記入)	使用数量	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】 薪、木炭 など

「自給で使用した燃料の例」については、調査票の記入の仕方に記載することから削除

25

つづく



変更案

変更前

変更点及び理由

26ページ（変更前9ページと対比）

[4] 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

9 使用した光熱動力(自給分)

① (1) 令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量			④調査対象畜 負担割合	⑤自給飼料 負担割合
			③単位		
		万		%	%
		万		%	%
		万		%	%
		万		%	%
		万		%	%
		万		%	%
		万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力について自家生産の有無を確認する設問を追加

変更案

27～28ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

10 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、①支払金額、②調査対象畜負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
 ①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
獣医師料	万円	%	獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	万円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤、ミルクカーの洗剤費用等

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方～ページ

11 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
共同負担金	万円	%	%	共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万円	%	%	農機具のリース代
牛乳検査料	万円	100	%	
削蹄料	万円	%	%	
疾病の検査料	万円	%	%	義務付けられている検査(結核、ブルセラ病等)に要した費用
乳用牛群検定料	万円	100	%	
その他	万円	%	%	建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料等

変更前

10ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(続き)

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額(円)	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万円	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルクカーの洗剤費用等

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外に支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

7 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額(円)	負担割合(%)		賃借料及び料金の例示
		調査対象畜	自給飼料	
計	万円	%	%	
共同負担金				共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
牛乳検査料		100	%	
削蹄料				
疾病の検査料				義務付けられている検査(結核、ブルセラ病等)に要した費用
乳用牛群検定料		100	%	
その他				建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給飼料の支払い分のみを記入する場合には「自給飼料」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給飼料、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給飼料」の負担割合を記入してください。

変更案

29ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) □ 記入の仕方～ページ

12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和〇年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

区分	草地開発事業負担金			
草地造成事業	万			円
草地整備事業	万			円

(2) 令和〇年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

①

区分	土地改良事業負担金			
ほ場整備事業	万			円
農地開発事業	万			円
かんがい排水事業	万			円
農道(牧道)整備事業	万			円
その他の整備事業	万			円

変更前

10ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

8 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金(円)		土地改良事業の負担金(円)		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号()	事業番号()	事業番号()
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道(牧道)整備事業、⑤ その他の整備事業

報告者が記入しやすいよう、草地開発事業の負担金と土地改良事業の負担金の設問を分離

①土地改良事業の負担金について、報告者の記入負担軽減を図るため、事業番号の選択欄を削除し、事業を選択する形式からあらかじめ回答欄に記載された事業区分について回答する形式に変更

変更案

30ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

13 使用したその他の諸材料(購入分)

前記1~12以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、①使用したその他の諸材料の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

前記1~12(飼料/種付料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費)以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額		②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合		内容例示
	万円	円	%	%	%	%	
使用したその他の諸材料(購入分)「計」							【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
							【自給飼料の生産に使用した資材例】 飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥(購入)など

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、32ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

30

つづく



変更前

10ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

- ・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

9 その他の資材等

前記1~8以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額 (円)		負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草	調査対象畜	自給牧草
計						
購						
入						
自						
給						

注:自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- 【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙 など
- 【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥(購入・自給) など

報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変更案

変更前

変更点及び理由

31ページ（変更前10ページと対比）

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ~ ページ

① 14 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1~13以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量		④調査対象畜 負担割合	⑤自給飼料 負担割合
	③単位			
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用したその他の諸材料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

15ページ

同上

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	万 千 百 十			
農具・農業被服等の購入費				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費
				【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	万 千 百 十			
生産管理関係の費用				【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
				【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
				【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変更案

34～35ページ

[6] 物件税及び公課諸負担

記入の仕方～ページ

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、

①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額		②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合	
		値	万	円	%	円	%
物件税「計」							
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
固定資産税(※)	建物	値	万	円	%		%
	農機具	値	万	円	%		%
都市計画税(土地以外)(※)		値	万	円	%		%
不動産取得税(土地以外)(※)		値	万	円	%		%
共同施設税		値	万	円	%		%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

[6] 物件税及び公課諸負担(つづき)

記入の仕方～ページ

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、

①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額		②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合		公課諸負担の例示
		値	万	円	%	円	%	
公課諸負担「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)								
集落協議会費		値	万	円	%		%	地域集落等の会費
農業協同組合費		値	万	円	%		%	農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費		値	万	円	%		%	
生乳出荷枠の取得費		値	万	円	100	%		
農事実行組合費		値	万	円		%		実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金		値	万	円		%		

変更前

11ページ

[4] 物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草
計			
固定資産税	建物		
	農機具		
都市計画税(土地以外)			
不動産取得税(土地以外)			
共同施設税			

注：固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

- 固定資産税(建物)、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。
- 固定資産税(農機具)、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額(円)	負担割合(%)		公課諸負担の例示
		調査対象畜	自給牧草	
計				
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費				
生乳出荷枠の取得費			100	
農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。
- 集落協議会費、農業協同組合費、酪農組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
- 家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

変更点及び理由

変更案

36～37ページ（変更前12ページと対比）

【7】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	② 償却済状況 耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金			
			年 (西暦)	月	購入金額から補助金を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。			
1		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
2		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
3		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
4		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
5		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
6		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
7		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
8		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
9		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円
10		○	年	年	円	万	円	円	万	円	円	円

36

つづく



変更前

- 当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※)	保険料	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	③ 年内取り壊し・売却状況				発生金額	④ 部分取り壊しをした面積割合	番号
				状況区分	取り壊し	売却	売却金額、取り壊しの金額			
円	円	%	%	○	○	○	円	%	1	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	2	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	3	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	4	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	5	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	6	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	7	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	8	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	9	
円	円	%	%	○	○	○	円	%	10	

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費 など

37

変更点及び理由

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除

②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更

④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

12ページ

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄
 に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を自任に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新区分 新築 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>(建物等の取得のために 取り崩した準備金の額を 記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該建物等の修繕 費を記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該建物等の 災害保険料を記入して ください。)</small>	負担割合 (%)		年内異動状況 異動コード 異動に伴う発生金額 (円) <small>(売却金額、取り壊しの金額)</small>
							年 (西暦)	月					調査対象畜	自給牧草	
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード		
建築物		
1 住宅	5 畜舎・ファースト	9 たい肥舎・たい肥盤
2 事務所	6 畜舎・ファースト以外	10 乾牧草収納庫
3 納屋・倉庫	7 クレーン室	13 その他の建築物
4 作業場	8 車庫	
構築物		
20 牧柵	24 飼料用タンク	29 プラスチック利用乾燥施設
21 電気牧柵	26 ふん尿貯留槽	30 その他のふん乾燥施設
22 給水配管・パイプ	27 浄化処理施設	31 その他の構築物
23 サイロ	28 脱臭施設	

構造コード		
建築物		
(1 住宅)～(13 その他の建築物)		
1 木造	6 木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下
2 合成樹脂造	7 金属	10 鉄骨格材の肉厚3～4mm
3 鉄筋コンクリート	8 その他	11 鉄骨格材の肉厚4mm以上
4 コンクリートブロック		
構築物		
(20 牧柵)～(31 その他の構築物)		
1 コンクリート、れんが、石、ブロック	2 金属	5 合成樹脂
	3 木造	6 塩化ビニール
	4 土管	7 その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・ 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・ パンカーサイロのビニールの張替え費 など

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

38～39ページ（変更前13ページと対比）

【8】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 記入の仕方～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	② 償却済状況	耐用年数 (西暦)	取得年月		取得価額		修繕費(※)		自動車保険料	
				年	月	円	円	円	円	円	円
1		○				円	円	円	円	円	円
2		○				円	円	円	円	円	円
3		○				円	円	円	円	円	円
4		○				円	円	円	円	円	円
5		○				円	円	円	円	円	円
6		○				円	円	円	円	円	円
7		○				円	円	円	円	円	円
8		○				円	円	円	円	円	円
9		○				円	円	円	円	円	円
10		○				円	円	円	円	円	円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー、補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

つづく



- 当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		調査対象畜負担割合	③ 自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
	自動車重量税	自賠責保険			売却	売却金額	
円	円	円	%	%	円	円	1
円	円	円	%	%	円	円	2
円	円	円	%	%	円	円	3
円	円	円	%	%	円	円	4
円	円	円	%	%	円	円	5
円	円	円	%	%	円	円	6
円	円	円	%	%	円	円	7
円	円	円	%	%	円	円	8
円	円	円	%	%	円	円	9
円	円	円	%	%	円	円	10

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄へ「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を自案に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	型式コード	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	修繕費(円)	自動車保険料(円)	自動車・軽自動車税(円)	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合(%)		年内異動状況		
					年(西暦)	月					自動車重量税(円)	自賠責保険(円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額(円)	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	型式コード	
1 貨物自動車	(1 貨物自動車)	
2 その他の自動車	1 軽自動車	(2 その他の自動車)
	2 普通自動車(ダンプ式)	2 普通自動車
	3 普通自動車(ダンプ式以外)	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード
1 売却
2 廃棄等

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

40～41ページ（変更前14ページと対比）

【9】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ☐ 記入の仕方～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	② 償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金		修繕費(※)	
				年(西暦)	月	円	円	円	円	円	円
1		○									
2		○									
3		○									
4		○									
5		○									
6		○									
7		○									
8		○									
9		○									
10		○									

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代 など



- 当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		調査対象畜負担割合	③ 自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
		自動車重量税	自賠責保険			状況区分	売却金額	
令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。	令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。					○		1
						○		2
						○		3
						○		4
						○		5
						○		6
						○		7
						○		8
						○		9
						○		10

41

①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除

②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加

③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変更案

変更前

変更点及び理由

14ページ

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、15ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額 (円)	農業経営基盤 強化準備金 (円)	修繕費 (円)	保険料 (円)	軽自動車税 (円)	当年、車検を受けた車両について 記入してください。		負担割合(%)		年内異動状況		
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査 対象畜	自給 牧草	異動 コード	売却金額 (円)	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード

5	農用トラクター	33	モア	40	飼料粉砕機	47	ハルカター	54	トレーラー
6	ブラウ	34	カッター	41	飼料配合機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
7	ハロー	35	ペーラー	42	パンクラー	49	ローダー	56	その他の農機具等
8	マユアプレター	36	集草機	43	ミカ	50	パキューター	57	パソコン
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	44	ミカ	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器
16	中耕除草機	38	播込機	45	搾乳ロボット	52	固液分離機		
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	46	牛乳冷却器	53	自動給水機		

型式コード

56	その他の農機具等
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
	上記以外の農機具等
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード

1	売却
2	廃棄等

①同上

③同上

変更案

変更前

変更点及び理由

42～43ページ（変更前17ページと対比）

【10】地代(所有地及び借入地) □ 記入の仕方～ページ

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、
①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①	
			①実面積	②調査対象畜負担割合 ③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫、牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha a	% %
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	% %
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a	% %
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	% %
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a	% %

【10】地代(所有地及び借入地)(つづき) □ 記入の仕方～ページ

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、
①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①		③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
		①実面積	②支払地代		
1	建物敷地	ha a	円	%	%
2	運動場	ha a	円	%	%
3	飼料栽培	ha a	円	%	%
4	放牧地	ha a	円	%	%
5	採草地	ha a	円	%	%

所有地及び借入地の設問について、報告者が分かりやすいよう設問文をそれぞれの設問に追加

①回答欄のうち、負担割合の記載が不要な項目に斜線を付与し、回答対象外に指定



変更案

変更前

変更点及び理由

17ページ

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
 なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

①

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合(%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地			
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

2 借入地

①

ほ場名	実面積	支払地代(円)	負担割合(%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

同上

①同上

変更案

44ページ

【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 □ 記入の仕方 ~ ページ

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日 時点の未償還残高		②令和〇年の支払利子額		③調査対象 畜負担割合		④自給飼料 負担割合	
	億	万	円	億	万	円	%	%
「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)								
借入金	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
	億	万	円	億	万	円	%	%
① 買掛未払金	億	万	円	億	万	円	%	%

44

変更前

11ページ

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時(1月1日)の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時 未償還残高(円)	支払利子額 (円)	負担割合(%)	
			調査 対象畜	自給牧草
計				
買掛未払金				

①

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次とおり農業収入全体に占める調査対象畜(酪農)の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜(酪農)の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

変更点及び理由

①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、「計」のみを把握するよう変更
なお、回答が必須であった買掛未払金については、必要に応じて記入する扱いに変更

変更案

変更前

変更点及び理由

45ページ（変更前17ページと対比）

【12】乳用牛の月齢別の飼育経費 □ 記入の仕方 ~ ページ

搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費、(2)建物の面積、(3)労働時間を基準(100)とした場合、各月齢(①生後11日未満、②生後11日~6か月未満、③6か月~18か月未満、④18か月以上)の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費、(2)建物の面積、(3)労働時間の割合を記入してください。

(1) 飼料費

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上	【具体的な計算例】 ①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための飼料費 搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための飼料費 ×100
□	□	□	□	

(2) 建物の面積

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上	【具体的な計算例】 ①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための建物面積 搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための建物面積 ×100
□	□	□	□	

(3) 労働時間

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上	【具体的な計算例】 ①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための労働時間 搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための労働時間 ×100
□	□	□	□	

つづく



【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～6か月、③6～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
 なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

1 飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】
 各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$

2 建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】
 各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$

3 飼育作業

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】
 各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$

変更案

変更前

変更点及び理由

45ページ

最後に搾乳牛等の所有状況についてお教えてください。

【13】搾乳牛等の所有状況

📄 記入の仕方 ~ ページ

1 農家団体コード(牛トレサ関係)

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

45

16ページ

【11】搾乳牛等の所有状況

1 農家団体コード(牛トレサ関係)

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード1	農家団体コード2	農家団体コード3

変更案

変更前

変更点及び理由

46～47ページ（変更前16ページと対比）

①

【13】搾乳牛等の所有状況(つづき)

記入の仕方～ページ

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いた金額を記入してください。

搾乳牛の成畜は、初回分べん時です。

年内の状況を記入

番号	個体識別番号 (10桁の耳標番号)	名称 (記入は任意)	種類	品種	性別		生産年月		購入年月		売却・死亡年月	
					雄	雌	年 (西暦)	月	年 (西暦)	月	年 (西暦)	月
1					○	○	年	月	年	月	年	月
2					○	○	年	月	年	月	年	月
3					○	○	年	月	年	月	年	月
4					○	○	年	月	年	月	年	月
5					○	○	年	月	年	月	年	月
6					○	○	年	月	年	月	年	月
7					○	○	年	月	年	月	年	月
8					○	○	年	月	年	月	年	月
9					○	○	年	月	年	月	年	月
10					○	○	年	月	年	月	年	月

番号	搾乳牛のみ記入						後継牛のみ記入		搾乳牛から産まれた子牛のみ記入		番号	
	成畜 年(西暦) 月	成畜価額		購入価額	売却価額	育成牧場への預託		10日齢時点評価額・10日齢未満売却額等				
		万	円			万	円	年 月	年 月	万		円
1										1		
2										2		
3										3		
4										4		
5										5		
6										6		
7										7		
8										8		
9										9		
10										10		

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

46

47

つづく



①報告者の記入負担軽減や記入漏れを防ぐため、調査期間内に異動(生産、購入、売却、死亡)があった調査対象畜のみを記入する方式から、異動の有無を問わず飼養した調査対象畜を牛トレサデータから取得した情報であらかじめ印字し、追記する方式に変更。

変更案

変更前

変更点及び理由

16ページ

【11】搾乳牛等の所有状況

①

2 搾乳牛の取引状況

1年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、未経産牛（育成牛）を育成牧場へ預託している場合、育成牧場に預けた牛には「出」に、
育成牧場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	名称 (記入は任意)	異動 月	異動区分 生産・購入・ 売却・死亡	取引金額(円) (購入額、売却額)				育成牧場 への預託 (該当に○)	
				万	千	百	十	出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻
								出	戻

①同上

変更案

変更前

変更点及び理由

48ページ

1ページ

別記様式第15号
 格
 農林水産省
 農林水産省
 農林水産省



農業経営統計調査
 ○年 牛乳生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
 また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。
- 調査項目欄には、右つめ記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

***数字は枠からはみ出さないように記入してください。**

記入見本

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

***○印は記入見本を参考に記入してください。**

記入見本

①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

2020年シヤス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	寄付番号

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

(削除)

2 ページ

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年1月1日～○年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
- ② 子牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
- ③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

● 記入例1 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量	単 位	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	1 4 0	t	7 0 0 0 0 0 0	1 0 0

● 記入例2 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合
(調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合)

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量	単 位	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	2 0 0	t	1 0 0 0 0 0 0 0	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

(1) 配合飼料の場合

経営全体の家畜（搾乳牛+肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{搾乳牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が9頭の場合の調査対象畜負担割合は70% (21頭÷30頭×100) になります。

(2) 畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80% (240㎡÷300㎡×100) になります。

(3) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は40% (60日÷150日×100) になります。

◎ 調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

(4) 倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は30% (45㎡÷150㎡×100)、「自給牧草負担割合」は50% (75㎡÷150㎡×100) になります。
<倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図>

倉庫全体（150㎡）		
調査対象畜の飼料置き場 (45㎡)	自給牧草生産用の農機具の保管場所 (75㎡)	その他 (30㎡)
調査対象畜負担割合：30%	自給牧草負担割合：50%	

調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

変更案	変更前	変更点及び理由																									
(削除)	<p>3 ページ</p> <p>【1】経営の概況</p> <p>1 経営耕地</p> <p>農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1043 347 1402 531"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">所有地 (a)</th> <th colspan="2">借入地 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>ha</td> <td>a</td> <td>ha</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>普通畑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹園地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧草地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	所有地 (a)		借入地 (a)		田	ha	a	ha	a	普通畑					樹園地					牧草地					<p>経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>
区 分	所有地 (a)		借入地 (a)																								
田	ha	a	ha	a																							
普通畑																											
樹園地																											
牧草地																											
(削除)	<p>3 ページ</p> <p>【1】経営の概況</p> <p>3 認定農業者の状況</p> <p>認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。</p> <p><input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない</p>	<p>認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>																									
(削除)	<p>3 ページ</p> <p>通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）</p>	<p>通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除</p>																									
(削除)	<p>11 ページ</p> <p>【5】消費税</p> <p>消費税申告書により申告した酪農分の消費税額を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1028 1295 1543 1390"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額 (円)</th> <th>調査対象畜 負担割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消 費 税 (納付額)</td> <td>万 千 百 十</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	消 費 税 (納付額)	万 千 百 十	%	<p>消費税について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ</p>																			
区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合																									
消 費 税 (納付額)	万 千 百 十	%																									

調査計画（変更後）

1 調査の名称

農業経営統計調査 ^(注1)

（その1：営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）

（注1）農業経営統計調査は、経営統計調査及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の2種類とする。

2 調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（全国 その他）

（2）属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体
その他）

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照）とし、次の区分とする。

ア 個人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体

イ 法人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

4,526経営体（母集団の大きさ：969,279経営体）

（内訳）

○個人経営体	3,665（母集団の大きさ（以下同じ）942,155）
水田作	768（520,198）
畑作	826（58,800）
野菜作	818（159,191）
果樹作	556（126,808）
花き作	147（19,312）
酪農	88（11,104）
肉用牛	307（25,982）

養豚	70 (1,200)
採卵養鶏	15 (980)
ブロイラー養鶏	20 (965)
その他 ^(注2)	50 (17,615)

(注2) 「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

○法人経営体	861 (27,124)
水田作（集落営農）	111 (4,538)
水田作（集落営農以外）	153 (3,698)
畑作	126 (3,189)
野菜作	100 (4,848)
果樹作	98 (1,541)
花き作	65 (1,113)
酪農	26 (1,660)
肉用牛	38 (1,612)
養豚	45 (1,278)
採卵養鶏	58 (892)
ブロイラー養鶏	16 (434)
その他 ^(注3)	25 (2,321)

(注3) 「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

(2) 報告者の選定方法（全数 無作為抽出（全数階層あり） 有意抽出）

個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作（集落営農）については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する^(注4)。

詳細については、別添2のとおり。

(注4) 次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。

(3) 報告義務者

- ア 農業経営体を代表する者
- イ 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注5)の職員又は経営統計調査に係る事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

(注5) 「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項（詳細は、調査票（別添3-1、3-2）を参照）

《基本項目》

- ア 経営体の現況に関する事項
- イ 損益計算書に関する事項
- ウ 事業収支の概要
- エ 保有する土地面積の状況
- オ 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項
- カ 制度受取金・積立金等に関する事項
- キ 労働に関する事項

《詳細項目》

- ク 貸借対照表に関する事項
- ケ 投資と資金調達の状況
- コ 役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）

なお、ク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体^(注6)、準主業経営体^(注7)及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体^(注8)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。

(注6) 「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

(注7) 「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

(注8) 「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

[集計しない事項の有無] 無 有

経営統計調査は、農業経営体の経営の実態について詳細に報告を求めるとともに、調査票への記入に代えて関係資料の開示等についても許容していることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（経営している土地があるか等）及び関係資料の開示等を確認する事項（青色申告決算書（農業所得用）の提供の有無等）を含む。

(2) 基準となる期日又は期間^(注9)

- ア 個人経営体
毎年1月1日から12月31日までの1年間
- イ 法人経営体
毎年、決算の対象となった1年間

(注9) 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。

6 報告を求めるときに用いる方法

(1) 調査系統

ア 経営統計調査のみの報告者

農林水産省 — 民間事業者 — 報告者
└ 民間調査員 ┘
(注10)

(注10) 民間事業者が雇用する調査員をいう。

イ 生産費調査の報告者を兼ねる者

農林水産省 — 地方農政局等^(注11) — 報告者
└ 統計調査員 ┘
(注12)

(注11) 地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を經由して農林水産省との間における事務を行う。

(注12) 農林水産省が任命する調査員をいう。

なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、アに記載する調査系統により実施する。

(2) 調査方法

■郵送調査 ■オンライン調査 (■政府統計共同利用システム ■独自のシステム
□電子メール) ■調査員調査 ■その他 (職員調査)

[調査方法の概要]

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法(自計報告)により行う。ただし、経営統計調査のみの報告者であるか、生産費調査の報告者を兼ねるものであるかの区分に応じて、以下のとおり、報告者の希望により、地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に対して、決算書類等(報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。)を開示若しくは提供又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員、統計調査員又は民間事業者が調査票に記入する方法(他計報告)により行う場合もある。

ア 調査票の配布

(ア) 経営統計調査のみの報告者

民間事業者が郵送で配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求めるとの事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。

(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求めるとの事項のうち

経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。

イ 調査票の提出等

(ア) 経営統計調査のみの報告者

次のいずれかの方法により行う。

- a 報告者が郵送により、民間事業者に提出する。
- b 民間調査員が、報告者を訪問して回収する。
- c 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。
- d 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は、民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者

次のいずれかの方法により行う。

- a 報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。
- b 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
- c 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。
- d 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

- 1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期
 その他（ ）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。

8 集計事項

次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。

(1) 営農類型別経営統計

ア 個人経営体

(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、
(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、
(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営

なお、5(1)のク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。

イ 法人経営体

(ア) 水田作経営、(イ) 水田作経営(集落営農)、(ウ) 畑作経営、
(エ) 野菜作経営、(オ) 果樹作経営、(カ) 花き作経営、(キ) 酪農経営、
(ク) 肉用牛経営、(ケ) 養豚経営、(コ) 採卵養鶏経営、(サ) ブロイラー養鶏経営

ウ 農業経営体

(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、
(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、
(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営

(2) 経営形態別経営統計

ア 個人経営体、イ 法人経営体、ウ 農業経営体

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法 (e-Stat インターネット (e-Stat以外) 印刷物 閲覧)

(2) 公表の期日

調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、別添5のとおり。

10 使用する統計基準等

使用する → 日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他 ()

使用しない

経営統計調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票 ^(注13)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	＜経営統計調査のみの報告者に係るもの＞ 農林水産省大臣官房統計部長 ＜生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの＞ 地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長

(注13) 記入済み調査票とは、調査票の記入に代えて提出された決算書類等を含む。

12 立入検査等の対象とすることができる事項

経営統計調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5（1）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

調査計画（変更後）

1 調査の名称

農業経営統計調査（注1）

（その2：農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。））

（注1）農業経営統計調査は、生産費調査及び営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）の2種類とする。

2 調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（全国 その他）

（2）属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体
その他）

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照）とし、次の区分とする。

ア 個別経営体

世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）

イ 組織法人経営体

個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

3,360経営体（母集団の大きさ：656,131経営体）

（内訳）

○個別経営体 3,082（母集団の大きさ（以下同じ）640,434）

《農産物生産費統計》

米生産費	720 (514,784)
小麦生産費	374 (22,466)
二条大麦生産費	60 (6,118)
六条大麦生産費	58 (1,948)
はだか麦生産費	38 (846)
そば生産費	127 (13,262)

大豆生産費	365 (25,266)
原料用かんしょ生産費	57 (1,010)
原料用ばれいしょ生産費	79 (1,543)
なたね生産費	36 (398)
てんさい生産費	61 (5,256)
さとうきび生産費	96 (8,678)

《畜産物生産費統計》

牛乳生産費	350 (8,822)
去勢若齢肥育牛生産費	186 (5,328)
乳用雄肥育牛生産費	48 (465)
交雑種肥育牛生産費	69 (1,144)
子牛生産費	199 (20,848)
乳用雄育成牛生産費	35 (323)
交雑種育成牛生産費	42 (1,073)
肥育豚生産費	82 (856)

○組織法人経営体 278 (15,697)

《農産物生産費統計》

米生産費	98 (9,458)
小麦生産費	82 (2,651)
大豆生産費	98 (3,588)

(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出)

2025年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する^(注2)。

詳細については、別添2のとおり。

(注2) 次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。

(3) 報告義務者

ア 農業経営体を代表する者

イ 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注3)の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

(注3) 「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務所の農林水産センターをいう。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項（詳細は、調査票（別添3-3から3-22まで）を参照）

- ア 認定農業者の状況（米生産費（個別経営体）のみ）、直近5か年の10a当たり収量（農産物生産費のみ）、農業就業者数（牛乳生産費のみ）
- イ 生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況
- ウ 調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項
- エ 物件税及び公課諸負担に関する事項
- オ 土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）
- カ 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項
- キ 建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況
- ク 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
- ケ 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
- コ 農具の購入費等に関する事項
- サ 搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）
- シ 土地の面積及び地代に関する事項
- ス 労働に関する事項
- セ 乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）

〔集計しない事項の有無〕 無 有

生産費調査は、各種農畜産物の生産費の実態を明らかにすることを目的として、詳細な報告を求めていることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、生産費の集計する過程において用いる事項（負担割合等）、回答内容の審査のための事項（作業等）、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（自給の有無、物々交換の有無等）等を含む。

(2) 基準となる期日又は期間

生産サイクル（収穫終了月までの1年間）^(注4)に基づき、農畜産物の品目ごとに、次の期間とする。

農畜産物	期間
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日 までの1年間
さとうきび	毎年4月1日から3月31日 までの1年間
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日 までの1年間

(注4) 本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、2つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省 — 地方農政局等^(注5) — 報告者
└ 統計調査員^(注6)

(注5) 地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を經由して農林水産省との間における事務を行う。

(注6) 農林水産省が任命する調査員をいう。

(2) 調査方法

■郵送調査 ■オンライン調査 (□政府統計共同利用システム ■独自のシステム
□電子メール) ■調査員調査 ■その他 (職員調査)

[調査方法の概要]

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員に決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員又は統計調査員が調査票に記入する方法 (他計報告) により行う場合もある。

ア 調査票の配布

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年調査の報告内容をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。

また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成15年法律第72号)に基づき農林水産省が保有(データベースの管理は(独)家畜改良センターが実施)している牛個体識別台帳(トレーサビリティデータ)を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。

イ 調査票の提出等

次のいずれかの方法により行う。

(ア) 報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。

(イ) 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。

(ウ) 報告者が電子化した調査票を独自のシステム(民間事業者が行うセキュアファイル交換サービス)を利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを

防ぐ措置を施す。)により提出する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

- 1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期
 その他 ()

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票は、5(2)に掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。

8 集計事項

次に掲げる集計を行う(詳細は、別添4のとおり)。

(1) 農産物生産費統計

ア 個別経営体

- (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、(エ) 六条大麦生産費、
(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、(キ) 大豆生産費、
(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、
(コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、(シ) さとうきび生産費

イ 組織法人経営体

- (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費

(2) 畜産物生産費統計(個別経営体)

- ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛生産費、
エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成牛生産費、
キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法 (e-Stat インターネット (e-Stat以外) 印刷物 閲覧)

(2) 公表の期日

調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、別添5のとおり。

10 使用する統計基準等

使用する → 日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他 ()

使用しない

生産費調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長

12 立入検査等の対象とすることができる事項

生産費調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5（1）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

農業経営体の定義

「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。

- 1 その経営耕地面積が30 アール以上であること。
- 2 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上であること。
 - (1) 露地野菜作付面積 15 アール
 - (2) 施設野菜栽培面積 350 平方メートル
 - (3) 果樹栽培面積 10 アール
 - (4) 露地花き栽培面積 10 アール
 - (5) 施設花き栽培面積 250 平方メートル
 - (6) 搾乳牛飼養頭数 1 頭
 - (7) 肥育牛飼養頭数 1 頭
 - (8) 豚飼養頭数 15 頭
 - (9) 採卵鶏飼養羽数 150 羽
 - (10) ブロイラー年間出荷羽数 1,000羽
 - (11) その他 調査期間の開始の前日1年間における農業生産物の総販売額が50万円に相当する事業の規模

報告者の選定方法

- 1 農林水産省大臣官房統計部長（以下「統計部長」という。）は、農業経営統計調査規則（以下「規則」という。）第3条第2項の農業経営体の中から営農類型別の経営に関する統計の調査客体（以下「営農類型調査客体」という。）を抽出するため、別表第1の左欄に掲げる営農類型区分及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の長（以下「地方農政局等の長」という。）に送付する。
 - 2 地方農政局等の長は、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた営農類型調査客体の数を、前項の規定により統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。
 - 3 統計部長は、農畜産物の生産費に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第2の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。
 - 4 地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。
 - 5 なお、農業経営体を区分したリストから標本抽出できない場合には、行政記録情報（農事組合法人名簿等）を基に調査対象を選定する。
- ※ 2、4の結果、同一の農業経営体が営農類型調査客体と生産費調査客体として抽出された場合、両調査の調査対象として選定することも可能。

別表第1

営農類型区分		農業経営体の種類	分類基準
水田作経営		個人経営体 法人経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営			稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営			果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
	施設花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入より施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営			酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	繁殖牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営
	肥育牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
養豚経営			養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営			採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営			ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営			水田作経営、畑作経営、野菜作経営、果樹作経営、花き作経営、酪農経営、肉用牛経営、養豚経営、採卵養鶏経営、ブロイラー養鶏経営以外の経営

別表第2

品目	農業経営体の種類	分類基準	
米	個別経営体	水稻を作付けし、玄米を年間600キログラム以上販売する経営	
	組織法人経営体	水稻を作付けし、販売する経営	
小麦	個別経営体	小麦を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営	
二条大麦	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
六条大麦			
はだか麦			
そば			
大豆	個別経営体	大豆（黒大豆を除く）を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営	
原料用かんしょ	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
原料用ばれいしょ			
なたね			
てんさい			
さとうきび			
牛乳			搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営
去勢若齢肥育牛			肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営
乳用雄肥育牛			肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営
交雑種肥育牛			肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営
子牛			肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営
乳用雄育成牛			育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営
交雑種育成牛	育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営		
肥育豚	肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営		



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 米 生産費統計 (個別経営体) 調査票

✓本調査の対象範囲

- ・ 令和〇年産の米の生産(受託生産を除く。)についてお答えください。
- ・ 3ページ～41 ページは、食用米(食用のために生産された水稻)についてお答えください。
- ・ 42 ページ以降は、飼料用米についてお答えください。
- ・ 金額は消費税を含めて記入してください。

✓記入にあたって

- ・ 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。

なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。

- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ 該当がない項目は「-」を記入してください。
- ・ マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。
- ・ 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- ・ オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- ・ 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

(記入例1)123.4 アールの場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	3	4

(記入例2)該当がない場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
				-

✓記入欄にあらかじめ印字されている場合

- ・ 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- ・ 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。)

(記入例3)

印字内容を修正する場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	5	6
	1	2	3	4

2025年センサス 番号	都道府県		市区町村		旧市区町村		農業集落		調査区		客体番号	

目次

【1】 認定農業者の状況	3
【2】 直近5か年の10a 当たり収量	3
【3】 作業別労働時間	4
【4】 生産物の販売等の状況	9
【5】 制度受取金の状況	11
【6】 食用米生産のために使用した資材等	12
【7】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	25
【8】 物件税及び公課諸負担	27
【9】 土地改良及び水利費	29
【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況	30
【11】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況	32
【12】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況	34
【13】土地の面積及び地代	36
【14】作付ほ場の状況	39
【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子	41
【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間	42

まずは経営全体のことをお教えてください。

【1】認定農業者の状況

📖 記入の仕方 ~ ページ

認定農業者はいますか。

いる	①
いない	②

ここからは 食用米 についてお教えてください。

本調査は、以下の調査範囲の水稻(食用米)が対象です。

○ 調査範囲

食用のために生産された水稻
 (主食用米 もち米 政府備蓄米)
 (新市場開拓用米(食用) 加工用米)
 (米粉用米 醸造用米)

(※)畑に湛水した「田」で生産したものも含まれます。

✕ 調査範囲外

飼料用米 バイオエタノール用稲
 陸稲 ホールクロップサイレージ用稲
 受託生産した米

直近5か年の食用米の10a 当たり収量についてお教えてください。

【2】直近5か年の10a 当たり収量

📖 記入の仕方 ~ ページ

直近5か年における食用米の10a 当たりの収量(玄米数量)を記入してください。

区分	10a 当たり の収量
1年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

【3】作業別労働時間

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の食用米生産に携わった家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年1月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示					
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

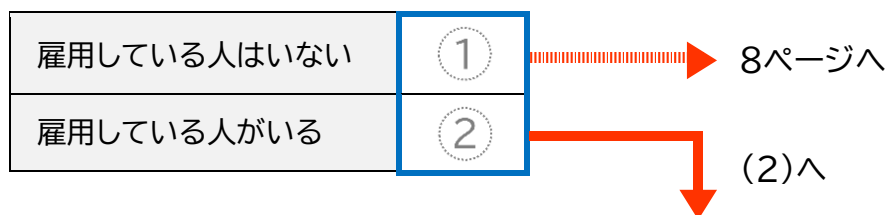
1 家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年1月1日時点)		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。



(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子 予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間
耕起 整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取 脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間
生産 管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

(3) 令和〇年産の食用米生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、
 ①賃金、②食用米負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

- 食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

区分	①賃金				②食用米負担割合	
男性			万		円	%
女性			万		円	%

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・ 手間替受け	食用米生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	食用米生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	食用米生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇
…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の食用米生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子 予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、 かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起 整地	荒起し、秋起し、耕うんか ら代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、 客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗 直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、 除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の 除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔 の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による 防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取 脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架 掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、 もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、 購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

【4】生産物の販売等の状況

1 食用米の販売状況(玄米換算)

令和〇年産の収穫量のうち、販売用(予定を含む。)の食用米について、①数量、②金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	①数量			②金額			内容例示
	万		kg	万		円	
販売用「計」			kg			円	○主食用、加工用として販売された米(予定を含む。)及びその種子
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)							
	万		kg	万		円	次のようなものも含む ・いわゆる縁故米 ・贈答米 ・産直米 ・政府備蓄米 ・新市場開拓用米 ・加工用米 ・米粉用米 ・醸造用
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	
	万		kg	万		円	

2 自家用の食用米の数量(玄米換算)

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)食用米の数量は何キログラムでしたか。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	内容例示	自家用の数量			
種子用	種子用に仕向けたもの(予定を含む。)	万			kg
飯米用	飯米用に仕向けたもの(予定を含む。)	万			kg
その他	種子用、飯米用以外に仕向けたもの(予定を含む。)	万			kg

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 稲わら、もみがら、ふるい下米等

令和〇年産の食用米生産で発生した稲わら、もみがら、ふるい下米等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したものは含みません。)

また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	内容例示	①数量			②金額		
販売用	稲わら加工品等	万			万		円
	もみがら	万			万		円
	ふるい下米等	万			万		円
自家用	乾燥わら	万					
	もみがら	万					
	ふるい下米等	万					

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

令和〇年産の食用米に係る以下の制度受取金はいくらでしたか。
 (該当がない区分は「-」を記入)

制度名	受取金				
			万		円
			万		円
			万		円
			万		円
			万		円

注:飼料用米、WCS 稲に係る交付金は含みません。

【6】食用米生産のために使用した資材等

1 使用した種子(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合	
			万		円		%	
使用した種子(購入分)「計」				万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%

2 使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、①品種名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位	④食用米負担割合	
				%
				%
				%
				%
				%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 使用した苗(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した苗のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合	
			万	千	百	円	％	
使用した苗(購入分)「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％

4 使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額			②食用米負担割合			内容例示
			万	円		万	円	%	
使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)「計」					円			%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量元素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	
				万		円		%	

注:融雪剤として使用した分は、21~22 ページ「10 使用した諸材料(購入分)」「11 使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

5 使用した、たい肥・きゅう肥(購入分)

令和○年産の食用米生産のために使用した、たい肥・きゅう肥のうち、購入した分について、

①使用数量、②使用数量分の購入金額、③食用米負担割合を記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。



資材名等	①使用数量	②使用数量分の購入金額	③食用米負担割合
たい肥・きゅう肥(購入分)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 万 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> kg </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 万 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 円 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> % </div>

6 使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、①使用数量、②単位、③食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量			②単位	③食用米負担割合
	万				
たい肥				kg	%
きゅう肥				kg	%
稲・麦わら(注1)				kg	%
その他					%
					%
					%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。

注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 使用した農業薬剤

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。



資材名等	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合		内容例示	
使用した農業薬剤「計」			万		円		%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	

注1:航空防除賃は、農薬代も含め 23 ページ「12 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)」に、共同負担金(薬剤散布)は、農薬代も含め 24 ページ「13 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)」に記入してください。

注2:除草剂等農薬入りの肥料は 15 ページ「4 使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)」に記入してください。

8 使用した光熱動力(購入分)

令和○年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当しない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」					万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
動力燃料	重油		L		万		円		%
	軽油		L		万		円		%
	灯油		L		万		円		%
	ガソリン		L		万		円		%
	潤滑油		L		万		円		%
	混合油		L		万		円		%
電力料					万		円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)					万		円		%

9 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	↓ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量			③単位	④食用米負担割合	
			万			%
			万			%
			万			%
			万			%
			万			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 使用した諸材料(購入分)

令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

諸材料とは、育苗箱マット、あぜ波板、ビニールシート、なわ、バインダー用結束ひも等の消耗品です。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合		
			万	千	百	円	円	%	
使用した諸材料(購入分)「計」				万			円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%
				万			円		%

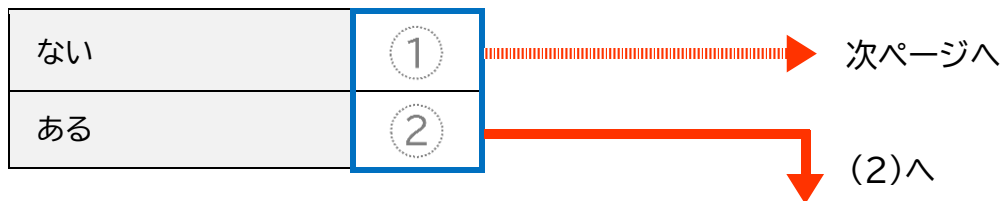
注 1:償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、30~31 ページ

「【10】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況」の修繕費に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、25 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

11 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。



(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、①資材名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合を記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量			③単位	④食用米負担割合	
		万				%
		万				%
		万				%
		万				%
		万				%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

12 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)

令和〇年産の食用米生産のために支払った航空防除賃、収穫請負わせ賃、ライスセンター費、カントリーエレベーター費、その他の乾燥・調製委託料について、①延べ委託面積または委託数量、②支払金額、③食用米負担割合を記入してください。

なお、乾燥・調製に係る委託数量については、玄米数量を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

料金名等	①延べ委託面積 または 委託数量					②支払金額				③食用米負担割合	
	町	反	畝	小数		万			円		%
航空防除賃(※1)			ha	a							
収穫請負わせ賃			ha	a							
ライスセンター費(※2)					kg						
カントリーエレベーター費(※2)					kg						
上記以外の乾燥・調製委託料(※2)					kg						

※1:航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

※2:ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

13 賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)

令和〇年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製に係る費用を除く)について、①支払金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	①支払金額				②食用米負担割合	
		単位						
賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)「計」				万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
共同負担金	薬剤散布(※)			万		円		%
	共同施設			万		円		%
	共同苗代			万		円		%
農機具借料				万		円		%
賃耕料			a	万		円		%
は種・田植賃			a	万		円		%
その他				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%
				万		円		%

(※)共同負担金(薬剤散布)は、農薬代も含めて記入してください。

1 農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の食用米生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額				②食用米負担割合		内容例示	
農具・農業被服等の購入費「計」		万		円		%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット 等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の 購入費	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		

2 生産管理関係の費用

令和〇年産の食用米生産のために発生した生産管理関係の費用について、①金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。



名称	①金額				②食用米負担割合		内容例示	
	万	千	百	円	％			
生産管理関係の費用「計」				円		％	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料(受講料) ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		
				円		％		

1 物件税

令和○年産の食用米生産に係る以下の物件税について、①金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額				②食用米負担割合	
物件税「計」		万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
固定資産税(建物)(※)		万		円		%
固定資産税(農機具)(※)		万		円		%
不動産取得税(土地以外)(※)		万		円		%
水利地益税		万		円		%
都市計画税(土地以外)(※)		万		円		%
共同施設税		万		円		%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産の食用米生産に係る以下の公課諸負担について、①金額、②食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額				②食用米負担割合	
公課諸負担「計」		万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
集落協議会費 (地域集落等の会費)		万		円		%
農業協同組合費		万		円		%
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)		万		円		%
農業共済組合賦課金		万		円		%

1 土地改良区費

令和〇年産の食用米生産に係る以下の土地改良区費について、**食用米作付ほ場負担金額** (①維持負担金、②償還金)、③**食用米負担割合**を記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

事業種類	食用米作付ほ場負担金額						③食用米負担割合						
	①維持負担金			②償還金									
ほ場整備事業			万			円				円			%
農地開発事業			万			円				円			%
かんがい排水事業			万			円				円			%
農道整備事業			万			円				円			%
その他(整地、表土扱いのない事業)			万			円				円			%

2 水利費等

令和〇年産の食用米生産に係る水利費等について、①**食用米作付ほ場負担金額**、②**食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

- 食用米のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

費用名	①食用米作付ほ場負担金額						②食用米負担割合					
水利に係る費用「計」			万			円			%			
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)												
			万			円			%			
			万			円			%			
			万			円			%			
			万			円			%			

令和〇年産の食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金				
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。				
						億	万			円	万			円
1		○	年	年	月					円				円
2		○	年	年	月					円				円
3		○	年	年	月					円				円
4		○	年	年	月					円				円
5		○	年	年	月					円				円
6		○	年	年	月					円				円
7		○	年	年	月					円				円
8		○	年	年	月					円				円
9		○	年	年	月					円				円
10		○	年	年	月					円				円

- 当該建物等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
- 当該建物等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

修繕費(※)	保険料			食用米 負担割合	年内取り壊し・売却状況						番号
					発生金額			部分 取り壊し をした 面積割合			
					状況 区分	売却金額、 取り壊しの金額		取り 壊し	部分 取り 壊し	売却	
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	1
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	2
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	3
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	4
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	5
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	6
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	7
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	8
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	9
万 円	万 円	円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

令和〇年産の食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				修繕費(※)				自動車保険料					
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		万		円		万		円		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。			
1		○		年	年	月													
2		○		年	年	月													
3		○		年	年	月													
4		○		年	年	月													
5		○		年	年	月													
6		○		年	年	月													
7		○		年	年	月													
8		○		年	年	月													
9		○		年	年	月													
10		○		年	年	月													

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー、補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

- 当該自動車等を食用米のみに使用した場合100(%)としてください。
- 当該自動車等を食用米以外にも使用した場合食用米に使用した割合を記入してください。

自動車・ 軽自動車税	令和〇年に車検を受けた 自動車等について 記入してください。						食用米 負担割合	状況 区分		年内売却・廃棄状況	番号					
	自動車重量税			自賠償保険				売却	廃棄・ 無償譲渡			売却金額				
	万	円	円	万	円	円							%	万	円	
万			円	万			円		%	○	○	万			円	1
万			円	万			円		%	○	○	万			円	2
万			円	万			円		%	○	○	万			円	3
万			円	万			円		%	○	○	万			円	4
万			円	万			円		%	○	○	万			円	5
万			円	万			円		%	○	○	万			円	6
万			円	万			円		%	○	○	万			円	7
万			円	万			円		%	○	○	万			円	8
万			円	万			円		%	○	○	万			円	9
万			円	万			円		%	○	○	万			円	10

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金		修繕費(※)	
				年 (西暦)	月	万	円	万	円	万	円
1		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
2		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
3		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
4		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
5		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
6		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
7		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
8		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
9		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
10		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

- 当該農業機械等を食用米のみに使用した場合 100(%)としてください。
- 当該農業機械等を食用米以外にも使用した場合 食用米に使用した割合を記入してください。

保険料 （災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。）	軽自動車税		令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。				食用米負担割合	年内売却・廃棄状況				番号				
			自動車重量税		自賠責保険			状況区分 売却 廃棄・無償譲渡	売却金額							
			万	円	万	円					万		円	万	円	
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	1
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	2
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	3
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	4
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	5
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	6
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	7
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	8
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	9
万		円		円	万		万		円	%	○	○	万		円	10

1 作付地

令和○年産の食用米生産のために作付けた(1)所有地と(2)借入地について、①団地又はほ場名等、②土地台帳面積、③作付面積、④支払地代(借入地のみ)、⑤食用米負担割合を記入してください。なお、所有地、借入地の③作付面積の合計が令和○年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和○年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、

- 食用米のみを作付けた団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の作物も作付けた団地・ほ場等の場合
作付けた作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位				③作付面積 0.1a 単位				⑤食用米 負担割合	
		町	反	畝	小数	町	反	畝	小数		
1		ha		a		ha		a			%
2		ha		a		ha		a			%
3		ha		a		ha		a			%
4		ha		a		ha		a			%
5		ha		a		ha		a			%
6		ha		a		ha		a			%
7		ha		a		ha		a			%
8		ha		a		ha		a			%
9		ha		a		ha		a			%
10		ha		a		ha		a			%
11		ha		a		ha		a			%
12		ha		a		ha		a			%
13		ha		a		ha		a			%
14		ha		a		ha		a			%
15		ha		a		ha		a			%

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、

- 食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位				③作付面積 0.1a 単位				④支払地代			⑤食用米 負担割合		
		町	反	畝	小数	町	反	畝	小数						
1		ha		a		ha		a			万			円	%
2		ha		a		ha		a			万			円	%
3		ha		a		ha		a			万			円	%
4		ha		a		ha		a			万			円	%
5		ha		a		ha		a			万			円	%
6		ha		a		ha		a			万			円	%
7		ha		a		ha		a			万			円	%
8		ha		a		ha		a			万			円	%
9		ha		a		ha		a			万			円	%
10		ha		a		ha		a			万			円	%
11		ha		a		ha		a			万			円	%
12		ha		a		ha		a			万			円	%
13		ha		a		ha		a			万			円	%
14		ha		a		ha		a			万			円	%
15		ha		a		ha		a			万			円	%

2 建物敷地等

令和〇年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料(借入地のみ)、⑤食用米負担割合を記入してください。

総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。

番号	①建物敷地名	②総面積 ㎡単位			③使用面積 ㎡単位			④支払賃借料		⑤食用米 負担割合			
		万			万						%		
所有地		万			万								
	1			㎡			㎡						%
	2	万			万								%
	3	万			万								%
	4	万			万								%
	5	万			万								%
	6	万			万								%
	7	万			万								%
8	万			万				%					
借入地		万			万			万			%		
	1			㎡			㎡		円		%		
	2	万			万			万		円	%		
	3	万			万			万		円	%		
	4	万			万			万		円	%		
	5	万			万			万		円	%		
	6	万			万			万		円	%		
	7	万			万			万		円	%		
8	万			万			万		円	%			

1 作付ほ場規模別のほ場枚数及び作付面積

令和〇年産の食用米を作付けたほ場について、ほ場の規模別に①ほ場枚数、②作付面積を記入してください。なお、②作付面積の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

区分	①ほ場枚数	②作付面積 0.1a 単位			
		町	反	畝	小数
未整理又は 10a 未満	枚	ha		a	.
10a~20a 未満区画	枚	ha		a	.
20a~30a 未満区画	枚	ha		a	.
30a~50a 未満区画	枚	ha		a	.
50a~1ha 未満区画	枚	ha		a	.
1ha 以上区画	枚	ha		a	.

2 田の団地数

令和○年産の食用米を作付けた田の団地はいくつですか。

区分	用語の説明	団地数
田の団地数	ほ場が地続きでまとまっている場合は、そのまとまりを1団地とします。地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。	<input type="text"/>

3 田の区画整理状況

令和○年産の食用米を作付けた田の区画整理済の面積は何割ですか。該当するもの1つに○を記入してください。

区画整理済の面積割合	いずれかに○
50%未満	①
50~80%未満	②
80%以上	③

4 ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和○年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離 0.1km単位			
		百	十	一	小数
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道ノりで移動した距離。(団地数が1つの場合は「-」を記入)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道ノりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

令和〇年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③食用米負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- 食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高			②令和〇年の支払利子額			③食用米負担割合		
「計」		万	円		万	円			%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
借入金		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
		万	円		万	円			%
買掛未払金		万	円		万	円			%

最後に 飼料用米 についてお教えてください。

飼料用米とは、家畜の飼料として生産される米のことを言います。

○ 調査範囲	✕ 調査範囲外
飼料用米	食用のために生産された水稻 主食用米 もち米 政府備蓄米 新市場開拓用米(食用) 加工用米 米粉用米 醸造用米 バイオエタノール用稲 陸稲 ホールクロップサイレージ用稲 受託生産した米

【16】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

📖 記入の仕方 ~ ページ

1 飼料用米の作付状況

令和○年産に飼料用米の作付けがありましたか。

飼料用米の作付けはなかった	①	調査は以上で終了です。 ご回答いただき、ありがとうございました。
飼料用米の作付けがあった	②	次ページへ

2 飼料用米の作付面積及び生産量

令和〇年産の飼料用米について①作付面積、②生産量(玄米、乾燥もみ及び生もみ別)を記入してください。

なお、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

区分	①作付面積 0.1a 単位				②生産量											
	町	反	畝	小数	玄米			乾燥もみ			生もみ					
飼料用米	ha	a	.		万			kg	万			kg	万			kg
うち 多収品種	ha	a	.		万			kg	万			kg	万			kg

3 稲わらの販売状況等

令和〇年産の飼料用米生産で発生した稲わらについて、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したものは含みません。)

また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	内容例示	①数量			②金額		
販売用稲わら	民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの(きゅう肥交換含む。)	万			万		円
自家用乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの(水田還元、敷料、たい肥等)	万					

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 飼料用米と食用米の 10a 当たり費用及び労働時間の違いの有無

令和〇年産の飼料用米と食用米生産にかかる 10a 当たりの費用及び労働時間に違いはありましたか。

費用及び労働時間に違いはなかった	①
費用及び労働時間に違いがあった	②

調査は以上で終了です。
ご回答いただき、ありがとうございました。

次ページへ

5 飼料用米生産にかかる費用(10a当たり)

令和○年産の飼料用米生産にかかる 10a 当たりの費用について、①食用米との違いの有無を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる 10a 当たりの費用を 100%としたときの飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに○を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる 10a 当たりの費用を 100%とした場合の割合を記入してください。

費用の種類	①食用米との違い		②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無		
種苗費	①	②	%	
肥料費	①	②	%	
農業薬剤費	①	②	%	
光熱動力費	①	②	%	
その他の諸材料費	①	②	%	
土地改良及び水利費	①	②	%	
賃借料及び料金	①	②	%	
物件税及び公課諸負担	①	②	%	
建物費	①	②	%	
自動車費	①	②	%	
農機具費	①	②	%	
生産管理費	①	②	%	

6 飼料用米生産にかかる労働時間(10a当たり)

令和○年産の飼料用米生産にかかる 10a 当たりの労働時間について、①食用米との違いの有無を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる 10a 当たりの労働時間を 100%としたときの飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに○を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる 10a 当たりの費用を 100%とした場合の割合を記入してください。

労働時間名	①食用米との違い		②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無		
種子予措	①	②	%	
育苗	①	②	%	
耕起整地	①	②	%	
基肥	①	②	%	
直まき	①	②	%	
田植	①	②	%	
追肥	①	②	%	
除草	①	②	%	
管理	①	②	%	
防除	①	②	%	
刈取脱穀	①	②	%	
乾燥	①	②	%	
生産管理	①	②	%	
間接労働	①	②	%	

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)直まき栽培の導入

(3)新たな設備・機械の導入

(4)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

令和〇年産 小麦 生産費統計 (個別経営体) 調査票

✓本調査の対象範囲

- ・ 令和〇年産の小麦の生産(受託生産を除く。)についてお答えください。
- ・ 対象となる小麦については、3ページをご参照ください。
- ・ 金額は消費税を含めて記入してください。

✓記入にあたって

- ・ 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。

なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。

- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ 該当がない項目は「-」を記入してください。
- ・ マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。
- ・ 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- ・ オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- ・ 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

(記入例1)123.4 アールの場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	3	4

(記入例2)該当がない場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
				-

✓記入欄にあらかじめ印字されている場合

- ・ 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- ・ 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。)

(記入例3)
印字内容を修正する場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	5	6
	1	2	3	4

2025年センサス 番号	都道府県		市区町村		旧市区町村		農業集落		調査区		客体番号	

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量	3
【2】 作業別労働時間	4
【3】 生産物の販売等の状況	9
【4】 小麦生産のために使用した資材等	12
【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	21
【6】 物件税及び公課諸負担	23
【7】 土地改良及び水利費	25
【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況	26
【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況	28
【10】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況	30
【11】 土地の面積及び地代	32
【12】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子	35

本調査は、以下の調査範囲の小麦が対象です。



調査範囲

子実(食用、種子用)を生産する目的で
栽培した小麦



調査範囲外

青刈用とする目的で栽培したもの
受託生産したもの

まずは直近5か年の小麦の10a 当たり収量についてお教えてください。

【1】直近5か年の10a 当たり収量

記入の仕方 ~ ページ

直近5か年における小麦の10a 当たりの収量(玄麦数量)を記入してください。

区分	10a 当たりの 収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg

【2】作業別労働時間

📖 記入の仕方 ~ ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の小麦生産に携わった家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年9月1日時点)		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破碎、麦など、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

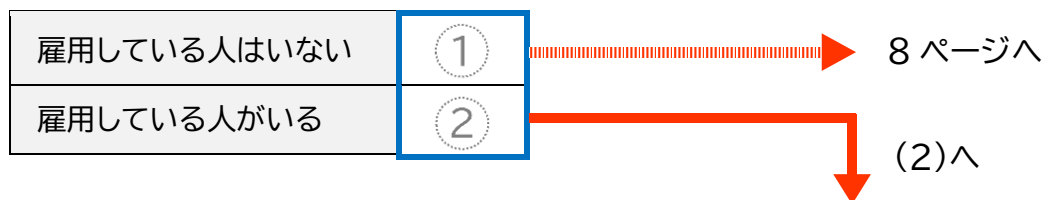
1 家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年9月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	7		8		9		10		11		12	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破碎、麦など、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。



(2) ((1)で「雇用している人がある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
		時間	時間	時間	時間
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽		時間		時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)		時間		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
は種	種まき、覆土		時間		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間		時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)		時間		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破碎、麦なで、ほ場見回り		時間		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間		時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理		時間		時間
乾燥	乾燥、調製		時間		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間		時間

- (3) 令和〇年産の小麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、
 ①賃金、②小麦負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

- 小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金				②小麦負担割合	
男性			万			%
女性			万			%

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・ 手間替受け	小麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	小麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	小麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…
次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の小麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子 予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起 整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤 散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕 除草	ほ場内の中耕、土入れ、 土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮 圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の 除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、 心土破碎、麦など、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)に よる防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取 脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、 稲架作り(取り壊し含む。)、 麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、 購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

【3】生産物の販売等の状況

1 小麦の販売状況(玄麦換算)

令和〇年産の収穫量のうち、販売用(予定を含む。)の小麦について、以下の区分ごとの①数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、②金額も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	①数量			②金額			内容例示	
1等、2等、規格外 A、 種子用等(販売用)「計」	万		kg				○販売した以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
	万		kg					
規格外 B、C(販売用)「計」	万		kg		万	円	○販売した以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
	万		kg		万	円		
	万		kg		万	円		
	万		kg		万	円		
	万		kg		万	円		

2 自家用の小麦の数量(玄麦換算)

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	数量				内容例示	
1等、2等、規格外 A、種子用等 (自家用)「計」	万				kg	○自家用に仕向けた以下の小麦 (予定を含む。) ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
	万				kg	
	万				kg	
	万				kg	
	万				kg	
規格外 B(自家用)「計」	万				kg	○自家用に仕向けた以下の小麦 (予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C(自家用)「計」	万				kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の小麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、①数量を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)

また、販売用に仕向けたものについては、②金額も記入してください。

(該当しない区分は①に「-」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分		内容例示	①数量			②金額				
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万			kg	万			円
	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(販売したもの)	万			kg	万			円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら(刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く)	万			kg				
	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(自家で使用したもの)	万			kg				

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【4】小麦生産のために使用した資材等

1 使用した種子(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は「-」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額			
			万	千	百	円
使用した種子(購入分)「計」						
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						

2 使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、①品種名等、②使用数量、③単位を記入してください。また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 使用した肥料(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②小麦負担割合		内容例示
			万	千	百	円	万	%	
使用した肥料(購入分)「計」						円		%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量元素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	
						円		%	

注:融雪剤として使用した分は、18~19 ページ「8 使用した諸材料(購入分)」「9 使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4 使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	
ある	②	

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、①使用数量、②単位、③小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量			②単位	③小麦負担割合	
	万					%
たい肥	万			kg		%
きゅう肥	万			kg		%
稲・麦わら(注1)	万			kg		%
その他	万					%
	万					%
	万					%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にはほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。

注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 使用した農業薬剤

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。



資材名等	①使用数量分の購入金額				②小麦負担割合		内容例示	
使用した農業薬剤「計」			万		円		%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	
			万		円		%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剂等農薬入りの肥料は 13 ページ「3 使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6 使用した光熱動力(購入分)

令和○年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

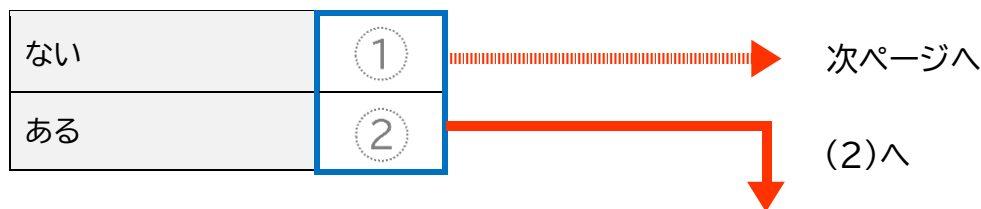
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②小麦負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」					万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
動力燃料	重油		L		万		円		%
	軽油		L		万		円		%
	灯油		L		万		円		%
	ガソリン		L		万		円		%
	潤滑油		L		万		円		%
	混合油		L		万		円		%
電力料					万		円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)					万		円		%

7 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。



(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④小麦負担割合	
				%
				%
				%
				%
				%
				%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8 使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②小麦負担割合	
			万	千	百	円	％	
使用した諸材料(購入分)「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％
				万			円	％

注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、①資材名等、②使用数量、③単位、④小麦負担割合を記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④小麦負担割合		
					%
					%
					%
					%
					%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 賃借料及び料金

令和○年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、①支払金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	①支払金額				②小麦負担割合	
		単位		万		円		%
賃借料及び料金「計」								
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
負担 共同	薬剤散布(※1)			万			円	%
	共同施設			万			円	%
	農機具借料			万			円	%
	航空防除賃(※1)	a		万			円	%
	賃耕料	a		万			円	%
	は種・定植料	a		万			円	%
	収穫請任せ賃	a		万			円	%
	乾燥・調製委託料(※2)	kg		万			円	%
その他				万			円	%
				万			円	%
				万			円	%
				万			円	%
				万			円	%

(※1) 共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2) 乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1 農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の小麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、①使用数量分の購入金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額			②小麦負担割合		内容例示	
農具・農業被服等の購入費「計」		万		円		%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット 等の購入費
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)							
		万		円		%	【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の 購入費
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	
		万		円		%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産の小麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額				②小麦負担割合		内容例示	
生産管理関係の費用「計」		万		円		%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料(受講料) ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)								
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		
		万		円		%		

1 物件税

令和○年産の小麦生産に係る以下の物件税について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額				②小麦負担割合	
物件税「計」		万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
固定資産税(建物)(※)		万		円		%
固定資産税(農機具)(※)		万		円		%
不動産取得税(土地以外)(※)		万		円		%
水利地益税		万		円		%
都市計画税(土地以外)(※)		万		円		%
共同施設税		万		円		%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和○年産の小麦生産に係る以下の公課諸負担について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額				②小麦負担割合	
公課諸負担「計」		万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
集落協議会費 (地域集落等の会費)		万		円		%
農業協同組合費		万		円		%
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)		万		円		%
農業共済組合賦課金		万		円		%

1 土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に係る以下の土地改良区費について、小麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③小麦負担割合を記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額						③小麦負担割合						
	①維持負担金			②償還金									
ほ場整備事業			万			円				円			%
農地開発事業			万			円				円			%
かんがい排水事業			万			円				円			%
農道整備事業			万			円				円			%
その他(整地、表土扱いのない事業)			万			円				円			%

2 水利費等

令和〇年産の小麦生産に係る水利費等について、①小麦作付ほ場負担金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

- 小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額						②小麦負担割合						
水利に係る費用「計」			万			円							%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)													
			万			円							%
			万			円							%
			万			円							%
			万			円							%

令和〇年産の小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金						
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。						
						億	万			円		万			円	
1		○	年	年	月											
2		○	年	年	月											
3		○	年	年	月											
4		○	年	年	月											
5		○	年	年	月											
6		○	年	年	月											
7		○	年	年	月											
8		○	年	年	月											
9		○	年	年	月											
10		○	年	年	月											

- 当該建物等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
- 当該建物等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※)	保険料		小麦 負担割合	令和○年9月～令和○年8月の 年内取り壊し・売却状況								番号
				状況 区分			発生金額				部分 取り壊し をした 面積割合	
				取り 壊し	部分 取り 壊し	売却	売却金額、 取り壊しの金額					
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	1		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	2		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	3		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	4		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	5		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	6		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	7		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	8		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	9		
万 円	万 円	円	%	○	○	○	万 円	円	%	10		

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

令和〇年産の小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				修繕費(※)				自動車保険料					
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。				任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。									
1		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
2		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
3		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
4		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
5		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
6		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
7		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
8		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
9		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円
10		○	年	年	月	万				円	万				円	万			円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー、補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

- 当該自動車等を小麦のみに使用した場合100(%)としてください。
- 当該自動車等を小麦以外にも使用した場合小麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税			令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。			小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号		
							自動車重量税	自賠責保険	状況区分		売却金額	
万		円	万		円	%	売却	廃棄・無償譲渡	万		円	
							○	○				1
							○	○				2
							○	○				3
							○	○				4
							○	○				5
							○	○				6
							○	○				7
							○	○				8
							○	○				9
							○	○				10

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金				修繕費(※)			
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を 控除した額を記入してく ださい。		農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を 記入してください。 なお、左欄の取得価額に は購入金額から準備金の 額を控除して記入してく ださい。									
1		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
2		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
3		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
4		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
5		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
6		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
7		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
8		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
9		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		
10		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円	円	円		

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

- 当該農業機械等を小麦のみに使用した場合 100(%)としてください。
- 当該農業機械等を小麦以外にも使用した場合 小麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。)	軽自動車税		令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。				小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況		番号	
			自動車重量税		自賠償保険			状況区分 売却	廃棄・無償譲渡		売却金額
	万	円	万	円	万	円					
										1	
										2	
										3	
										4	
										5	
										6	
										7	
										8	
										9	
										10	

1 作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、①団地又はほ場名等、②土地台帳面積、③作付面積、④支払地代(借入地のみ)、⑤小麦負担割合を記入し、⑥地目について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の③作付面積の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、

●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合

100(%)としてください。

●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合

作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位				③作付面積 0.1a 単位				⑤小麦 負担割合	⑥地目	
		町	反	畝	小数	町	反	畝	小数		田	畑
1		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
2		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
3		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
4		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
5		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
6		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
7		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
8		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
9		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
10		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
11		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
12		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
13		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
14		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○
15		ha	a	.		ha	a	.		%	○	○

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
 100(%)としてください。
 ●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
 作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位				③作付面積 0.1a 単位				④支払地代			⑤小麦 負担割合		⑥地目	
		町	反	畝	小数	町	反	畝	小数						田	畑
1		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
2		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
3		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
4		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
5		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
6		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
7		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
8		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
9		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
10		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
11		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
12		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
13		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
14		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○
15		ha	a	.	小数	ha	a	.	小数	万			円	%	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、
 ①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料(借入地のみ)、⑤小麦負担割合を記入してください。

総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。

番号	①建物敷地名	②総面積 ㎡単位			③使用面積 ㎡単位			④支払賃借料		⑤小麦負担割合	
		万			万						%
所有地		万			万						
		万			万						
		万			万						
		万			万						
		万			万						
		万			万						
		万			万						
		万			万						
借入地		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%
		万			万			万	円		%

令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- 小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
- 小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高				②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額				③小麦負担割合	
	万	千	百	円	万	千	百	円	円	%
「計」										
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)										
借入金										
買掛未払金										

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



令和〇年 牛乳 生産費統計 調査票

✓本調査の対象範囲

- ・ 令和〇年1月～12月の1年間についてお答えください。
- ・ 調査対象畜(搾乳牛、子牛、育成牛)及び自給飼料についてお答えください。
- ・ 金額は消費税を含めて記入してください。

✓記入にあたって

- ・ 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。

なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。

- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ 該当がない項目は「-」を記入してください。
- ・ マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。
- ・ 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- ・ オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- ・ 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

(記入例1)123.4 アールの場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	3	4

(記入例2)該当がない場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
				-

✓記入欄にあらかじめ印字されている場合

- ・ 一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。
- ・ 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。)

(記入例3)

印字内容を修正する場合

	町	反	畝	小数
	ha		a	
	1	2	5	6
	1	2	3	4

2025年センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

目次

【1】 農業就業者数	3
【2】 作業別労働時間	5
【3】 生産物の販売等の状況	8
【4】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等	16
【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	32
【6】 物件税及び公課諸負担	34
【7】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況	36
【8】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況	38
【9】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況	40
【10】地代(所有地及び借入地)	42
【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子	44
【12】乳用牛の月齢別の飼育経費	45
【13】搾乳牛等の所有状況	45

【1】農業就業者数

農業就業者数について記入してください。
 (該当がない区分は「-」を記入)

区分	用語の説明	男性	女性
農業就業者	家族(※1)のうち、年間の農業労働日数が60日以上(※2)の者 (15歳未満を除く。)		
150日以上	農業就業者のうち、年間の農業労働日数が150日以上(※2)の者		

(※1)家族とは、世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団を言います。

(※2)農業労働日数は、1日=8時間を目安にしてください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜(調査範囲)

搾乳牛…ホルスタイン種等の乳用種の雌牛(経産牛)
(乾乳中の牛や廃用後に肥育している牛を含む。)

子牛 …調査期間中に搾乳牛から生まれた生後 10 日齢までの子牛
(交雑種(F1)の牛や受精卵移植(ET)により生まれた牛を含む。)

育成牛…将来、搾乳牛にするために育成する乳用種の雌牛(後継牛)
(育成牧場等に預託している牛は、その期間中は調査対象畜としない。)

自給飼料とは、以下のとおりです。

自給飼料(調査範囲)

生産した飼料全て
(調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したのものや、販売又は廃棄した
ものも含む。)

1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。

- ・種付け、分べん関係作業
- ・手入・運動・放牧作業
- ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
- ・衛生管理(殺虫剤の散布等)

作業者	年齢	性別	定型作業内容											
			飼料の調理・給与・給水			敷料搬入・きゅう肥搬出			搾乳・牛乳処理・運搬			その他の飼育作業		
			1日当たり平均	年間	日	1日当たり平均	年間	日	1日当たり平均	年間	日	1日当たり平均	年間	日
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		
	歳	男 女	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日		

(2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容				
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※1)	経営管理(※2)
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間

(※1)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(※2)経営管理:役員として出席する打合せ、簿記記帳(税務申告)、畜産経営のための資金調達等

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○
…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和〇年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
 ・種付け、分べん関係作業
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
 ・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別		定型作業内容											
			飼料の調理・給与・給水			敷料搬入・きゅう肥搬出			搾乳・牛乳処理・運搬			その他の飼育作業		
			1日当たり平均	年間		1日当たり平均	年間		1日当たり平均	年間		1日当たり平均	年間	
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日
	男	女	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日	時間	分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別		定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間
	男	女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者、ヘルパーに支払った賃金について、①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

- ①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金				②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合	
男性			万			%		%
女性			万			%		%

【3】生産物の販売等の状況

1 生乳の販売状況

(1) 次の設問で令和〇年の1年間の生乳の生産量等についてお伺いします。1年分合算と月別のどちらで記入しますか。

1年分合算	①	1月分(または年間計)欄のみ記入してください。
月別	②	1月分~12月分欄すべてを記入してください。

(2) 生乳の生産量等を(1)で回答した方法で記入してください。なお、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料、集乳経費及び小売りの価額を記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

1月分(または年間計)

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等	/				億	万		円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量	億	万		kg					乳脂肪分率	
無脂乳固形分生産量	億	万		kg					無脂乳固形分率	

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位			
一の位	小数第一位	小数第二位	
.	.	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

2月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					の位
						乳脂肪分率	.		%	
						無脂乳固形分率	.		%	

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

3月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					の位
						乳脂肪分率	.		%	
						無脂乳固形分率	.		%	

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

4 月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					割合 0.01%単位
						乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
						無脂乳固形分率	.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

5 月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				割合 0.01%単位
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					割合 0.01%単位
						乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
						無脂乳固形分率	.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

6 月分

区分		数量				価額				内容				
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)				
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金				
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料				
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費				
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額				
	子牛給与(※)	億	万		kg									
	自家消費(※)	億	万		kg									
	計	億	万		kg									
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					無脂乳固形分率	.			%

割合 0.01%単位			
の位	小数第一位	小数第二位	
.			%
.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

7 月分

区分		数量				価額				内容				
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)				
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金				
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料				
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費				
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額				
	子牛給与(※)	億	万		kg									
	自家消費(※)	億	万		kg									
	計	億	万		kg									
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					無脂乳固形分率	.			%

割合 0.01%単位			
の位	小数第一位	小数第二位	
.			%
.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

8月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等	/				億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り					億	万		kg	億
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量	億	万		kg					乳脂肪分率	割合 0.01%単位 の位 小数第一位 小数第二位
無脂乳固形分生産量	億	万		kg					無脂乳固形分率	%

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

9月分

区分		数量				価額				内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等	/				億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り					億	万		kg	億
	子牛給与(※)	億	万		kg					
	自家消費(※)	億	万		kg					
	計	億	万		kg					
乳脂肪生産量	億	万		kg					乳脂肪分率	割合 0.01%単位 の位 小数第一位 小数第二位
無脂乳固形分生産量	億	万		kg					無脂乳固形分率	%

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

10月分

区分		数量				価額				内容				
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)				
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金				
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料				
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費				
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額				
	子牛給与(※)	億	万		kg									
	自家消費(※)	億	万		kg									
	計	億	万		kg									
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					無脂乳固形分率	.			%

割合 0.01%単位			
の位	小数第一位	小数第二位	
.			%
.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

11月分

区分		数量				価額				内容				
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万		kg	億	万		円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)				
	補給金等					億	万		円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金				
	販売手数料					億	万		円	農協や指定団体へ 支払った手数料				
	集乳経費					億	万		円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費				
	小売り	億	万		kg	億	万		円	消費者に小売りした 生乳の金額				
	子牛給与(※)	億	万		kg									
	自家消費(※)	億	万		kg									
	計	億	万		kg									
乳脂肪生産量		億	万		kg	数量で記入できない場合は、 割合を記入してください。				乳脂肪分率	の位	小数第一位	小数第二位	%
無脂乳固形分生産量		億	万		kg					無脂乳固形分率	.			%

割合 0.01%単位			
の位	小数第一位	小数第二位	
.			%
.			%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

12月分

区分		数量				価額				内容		
実搾乳量	出荷(乳代)	億	万			kg	億	万			円	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等	/					億	万			円	加工原料乳生産者 補給金等の補助金
	販売手数料						億	万			円	農協や指定団体へ 支払った手数料
	集乳経費						億	万			円	メーカーに引き渡され るまでの集送乳経費
	小売り						億	万			kg	億
	子牛給与(※)	億	万			kg						
	自家消費(※)	億	万			kg						
	計	億	万			kg						
乳脂肪生産量		億	万			kg						乳脂肪分率
無脂乳固形分生産量		億	万			kg						無脂乳固形分率

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合			
0.01%単位			
一の位	小数第一位	小数第二位	

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

2 子牛

令和○年の1年間に搾乳牛から生まれ、死産等により「牛トレーサビリティ」(耳標番号)に未登録の子牛の頭数を記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	雄	雌
乳用種	頭	頭
交雑種(F1)	頭	頭
黒毛和種(受精卵移植)	頭	頭

【4】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等

1 給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合を記入してください。

(該当がない区分は①又は③に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量			②単位	③給与数量分の購入金額			④調査対象畜負担割合	
		億	万			億	万		円	%
穀類	大麦								円	%
	その他の麦								円	%
	とうもろこし								円	%
	大豆								円	%
	飼料用米								円	%
	その他の穀類								円	%
ふすま類・ぬか類	ふすま								円	%
	米・麦ぬか								円	%
	その他のぬか・ふすま類								円	%
かす類 植物性	大豆油かす								円	%
	ビートパルプ								円	%
	その他の植物性かす類								円	%
配合飼料									円	%
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)									円	%
牛乳脱脂乳									円	%
いも類及び野菜類									円	%
わら類	稲わら								円	%
	その他のわら類(麦わら等)								円	%
生牧草									円	%
乾牧草	ハイキューブ								円	%
	その他の乾牧草								円	%
サイレージ	いね科(稲発酵粗飼料を除く。)								円	%
	稲発酵粗飼料								円	%
	その他のサイレージ								円	%
上記以外の購入飼料									円	%

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の①作付面積、②総収穫量、③単位を記入してください。

(該当がない区分は①に「-」を記入)

総収穫量とは、収穫時の重量(乾燥等の調製をする前の生重量)です。

区分	飼料の例示	1年間の飼料の生産状況													
		①作付面積					②総収穫量					③単位			
		町	反	畝	町	反	畝	万	kg	kg	kg				
いね科	デントコーン			ha		a					万				
	イタリアンライグラス			ha		a					万				
	ソルゴー			ha		a					万				
	稲発酵粗飼料	WCS:ホールクロップサイレージ			ha		a					万			
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草			ha		a					万			
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草			ha		a					万			
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草			ha		a					万			
その他の飼料	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等			ha		a					万				
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類			ha		a					万				
いも類及び野菜類	かんしょ、いもづる等			ha		a					万				
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの			ha		a					万				
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			ha		a					万				
放牧場				ha		a									

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

%

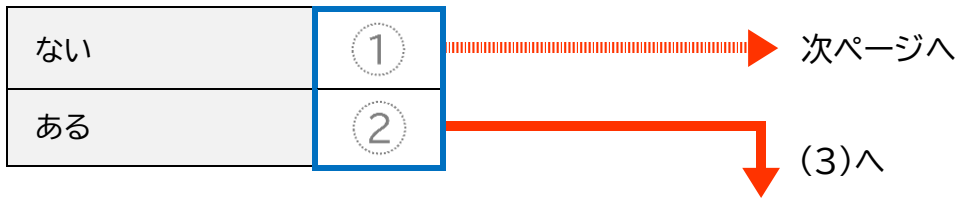
- ・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した(予定も含む。)場合には100(%)としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売(又は廃棄)した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

3 給与した飼料(自給分)

(1) 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、①数量、②単位、③調査対象畜負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「-」を記入)

区分	飼料の例示	生牧草等 (生で給与するもの)			
		①数量		②単位	③調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン	万			%
	イタリアンライグラス	万			%
	ソルゴー	万			%
	稲発酵粗飼料	WCS:ホールクロップサイレージ			
	その他	万			%
まぜまき	いね科が主	万			%
	その他	万			%
その他の飼料	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万			%
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万			%
いも類及び野菜類	かんしょ、いもづる等	万			%
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万			%
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの				
放牧時間	放牧場における放牧時間	万		時間	%

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。



(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量			③単位	④調査対象畜負担割合	
						%
		万				%
		万				%
		万				%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 種付料

- (1) 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。黒毛和種精液の人工授精(F1)や黒毛和種の受精卵移植(ET)を含めて記入してください。
(該当がない場合は「-」を記入)

種付料金	億			万					円
------	---	--	--	---	--	--	--	--	---

- (2) 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。
(該当がない場合は「-」を記入)

延べ種付回数		万					回
--------	--	---	--	--	--	--	---

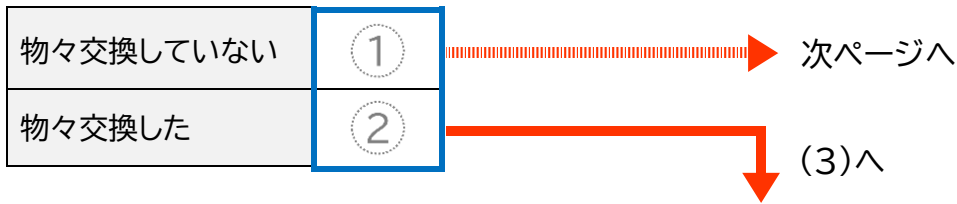
5 使用した敷料(購入分)

- (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、①使用した敷料の購入金額、②調査対象畜負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額				②調査対象畜負担割合		
使用した敷料(購入分)「計」			万				%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
稲わら			万				%
おがくず			万				%
麦わら			万				%
乾牧草			万				%
その他			万				%

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。



(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量				③単位
	万	千	百	十	
	万				
	万				
	万				
	万				

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	↓ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量			③単位	④調査対象畜負担割合	
	万	千	百		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合		
販売用(物々交換含む。)			%
自家利用			%
廃棄			%
計	1	0	0%

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ
 販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額			
販売用		万		円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①	次ページへ
物々交換した	②	(4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量		③単位
	万		
	万		
	万		
	万		
	万		
	万		

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用した光熱動力の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合

調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合

自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

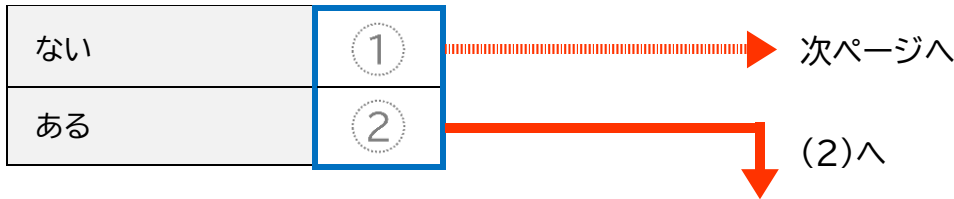
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合

①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の 購入金額			②調査対象畜 負担割合		③自給飼料 負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」		万		円		%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
重油		万		円		%	
軽油		万		円		%	
灯油		万		円		%	
ガソリン		万		円		%	
水道料		万		円		%	
電力料		万		円		%	
その他		万		円		%	

9 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。



(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量			③単位	④調査対象畜 負担割合	⑤自給飼料 負担割合
	万				%	%
					%	%
					%	%
					%	%
					%	%
					%	%
					%	%
					%	%
					%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、①**支払金額**、②**調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額				②調査対象畜負担割合		獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」			万		円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
獣医師料			万		円	%	獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金			万		円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費			万		円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			万		円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤、ミルクの洗剤費用等

11 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、

①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合

調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合

自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合

①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額			②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合		賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」		万	円		%		%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)								
共同負担金		万	円		%		%	共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料		万	円		%		%	農機具のリース代
牛乳検査料		万	円	100	%		%	
削蹄料		万	円		%		%	
疾病の検査料		万	円		%		%	義務付けられている検査(結核、ブルセラ病等)に要した費用
乳用牛群検定料		万	円	100	%		%	
その他		万	円		%		%	建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料等

12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和〇年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	草地開発事業負担金					
草地造成事業			万			円
草地整備事業			万			円

(2) 令和〇年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。

(該当がない区分は「-」を記入)

区分	土地改良事業負担金					
ほ場整備事業			万			円
農地開発事業			万			円
かんがい排水事業			万			円
農道(牧道)整備事業			万			円
その他の整備事業			万			円

13 使用したその他の諸材料(購入分)

前記1~12以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、①使用したその他の諸材料の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

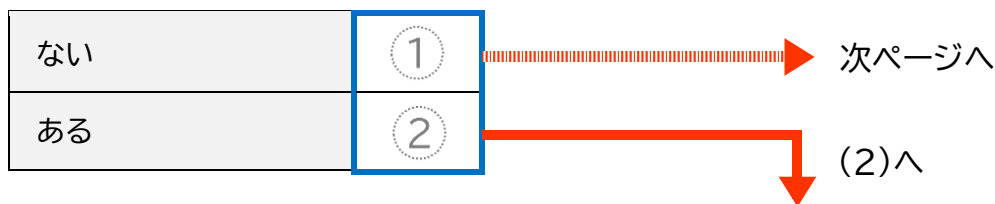
前記 1~12(飼料/種付料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費)以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の 購入金額				②調査対象畜 負担割合		③自給飼料 負担割合		内容例示	
使用したその他の諸材料 (購入分)「計」			万	円		%		%	【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙 など 【自給飼料の生産に使用した資材例】 飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥(購入)など	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)										
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		
			万	円		%		%		

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、32 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

14 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1~13以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。



(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量				③単位	④調査対象畜 負担割合	⑤自給飼料 負担割合
	万	千	百	十			
						%	%
						%	%
						%	%
						%	%
						%	%
						%	%
						%	%
						%	%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

1 農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、①使用した農具・農業被服等の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額				②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合		内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」			万	円		%		%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶 等の購入費
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)									
			万	円		%		%	【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	
			万	円		%		%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額				②調査対象畜負担割合		③自給飼料負担割合		内容例示
生産管理関係の費用「計」		万		円		%		%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンター等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料(受講料) ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	
		万		円		%		%	

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、
 ①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。
 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
 (該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額				②調査対象畜 負担割合	③自給飼料 負担割合
物件税「計」		億	万		円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
固定資産税(※)	建物	億	万		円	%	%
	農機具	億	万		円	%	%
都市計画税(土地以外)(※)		億	万		円	%	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億	万		円	%	%
共同施設税		億	万		円	%	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額				②調査対象畜 負担割合	③自給飼料 負担割合	公課諸負担の例示
	億	万		円			
公課諸負担「計」				円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)							
集落協議会費	億	万		円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億	万		円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費	億	万		円	%	%	
生乳出荷枠の取得費	億	万		円	100%		
農事実行組合費	億	万		円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億	万		円	%		

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				農業経営基盤強化準備金			
				年 (西暦)	月	億	万	円	万	円			
1		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
2		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
3		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
4		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
5		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
6		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
7		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
8		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
9		○		年	年	月	億	万	円	万	円		
10		○		年	年	月	億	万	円	万	円		

- 当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- 当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※) (令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。)	保険料 (令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。)		調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況						番号	
					状況区分			発生金額				部分取り壊しをした面積割合
					取り壊し	部分取り壊し	売却	売却金額、取り壊しの金額				
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	1
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	2
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	3
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	4
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	5
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	6
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	7
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	8
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	9
万	円	万	円	%	%	○	○	○	万	円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・バンカーサイロのビニールの張替え費 など

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額				修繕費(※)				自動車保険料			
				年 (西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。		令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。							
1		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
2		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
3		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
4		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
5		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
6		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
7		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
8		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
9		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				
10		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円	万	円				

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー、補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

- 当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- 当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- 当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・ 軽自動車税 (令和〇年の当該 自動車等の自動 車税又は軽自動 車税を記入して ください。)	令和〇年に車検を受けた 自動車等について 記入してください。				調査 対象畜 負担割合	自給飼料 負担割合	年内売却・廃棄状況			番号	
	自動車重量税		自賠償保険				状況 区分	売却 無償 譲渡	売却金額		
	万 円	円	万 円	円							
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに○を記入してください。
 償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額		農業経営基盤強化準備金		修繕費(※)	
				年 (西暦)	月	万	円	万	円	万	円
1		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
2		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
3		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
4		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
5		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
6		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
7		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
8		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
9		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円
10		○	年	年	月	万	円	万	円	万	円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

- 当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- 当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- 当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料 〔令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨て保険料を記入してください。〕	軽自動車税 〔令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。〕	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。				調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況		番号	
		自動車重量税		自賠償保険				状況区分 売却	廃棄・無償譲渡		売却金額
		万	円	万	円						
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	1	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	2	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	3	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	4	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	5	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	6	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	7	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	8	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	9	
万	円	万	円	万	円	%	%	○	○	10	

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、
 ①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を記入してください。
 (該当がない区分は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
 ①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積		②調査対象畜 負担割合	③自給飼料 負担割合
			ha	a		
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫、牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha	a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha	a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha	a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha	a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha	a		%

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、
 ①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を記入してください。
 (該当がない区分は①に「-」を記入)

- ①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
 ①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積			②支払地代			③調査対象畜 負担割合	④自給飼料 負担割合
		ha	a	万	円	円	円		
1	建物敷地							%	%
2	運動場							%	
3	飼料栽培							%	%
4	放牧地							%	
5	採草地							%	%

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない区分は「-」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日 時点の未償還残高				②令和〇年の支払利子額				③調査対象 畜負担割合		④自給飼料 負担割合	
	億	万		円	万		円		%		%	
「計」												
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)												
借入金	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
	億	万		円	万		円		%		%	
買掛未払金	億	万		円	万		円		%		%	

搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費、(2)建物の面積、(3)労働時間を基準(100)とした場合、各月齢(①生後11日未満、②生後11日~6か月未満、③6か月~18か月未満、④18か月以上)の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費、(2)建物の面積、(3)労働時間の割合を記入してください。

(1) 飼料費

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための飼料費}}{\text{搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための飼料費}} \times 100$$

(2) 建物の面積

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための建物面積}}{\text{搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための建物面積}} \times 100$$

(3) 労働時間

① 生後11日 未満	② 生後11日 ~6か月未満	③ 6か月~ 18か月未満	④ 18か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①~④の後継牛1頭を1か月飼育するための労働時間}}{\text{搾乳牛(成牛)1頭を1か月飼育するための労働時間}} \times 100$$

最後に搾乳牛等の所有状況についてお教えてください。

【13】搾乳牛等の所有状況

1 農家団体コード(牛トレサ関係)

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号 (10桁の耳標番号)	名称 (記入は任意)	種類	品種	性別		生産年月		購入年月		売却・死亡年月	
					雄	雌	年 (西暦)	月	年 (西暦)	月	年 (西暦)	月
1					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
2					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
3					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
4					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
5					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
6					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
7					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
8					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
9					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月
10					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年	月	年	月	年	月

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
 売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いた金額を記入してください。

搾乳牛の成畜は、初回分べん時です。

年内の状況を記入

搾乳牛のみ記入										後継牛のみ記入				搾乳牛から産まれた子牛のみ記入				番号						
成畜		成畜価額								購入価額				売却価額					育成牧場への預託		10日齢時点評価額・10日齢未満売却額等			
年(西暦)	月																		入牧					
		年(西暦)	月	年(西暦)	月																			
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	1				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	2				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	3				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	4				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	5				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	6				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	7				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	8				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	9				
年	月	万	円	万	円	万	円	円	年	月	年	月	万	円	円	円	円	円	円	10				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

農業経営統計調査の集計事項一覧（案）

目 次

I 営農類型別経営統計

1 個人経営体

(1) 水田作経営	1
(2) 畑作経営	1
(3) 野菜作経営	2
(4) 果樹作経営	3
(5) 花き作経営	3
(6) 酪農経営	4
(7) 肉用牛経営	4
(8) 養豚経営	4
(9) 採卵養鶏経営	4
(10) ブロイラー養鶏経営	4

2 個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）

(1) 水田作経営	4
(2) 畑作経営	4
(3) 野菜作経営	5
(4) 果樹作経営	6
(5) 花き作経営	7
(6) 酪農経営	7
(7) 肉用牛経営	7
(8) 養豚経営	7
(9) 採卵養鶏経営	7
(10) ブロイラー養鶏経営	7

3 法人経営体

(1) 水田作経営	8
(2) 畑作経営	9
(3) 野菜作経営	9
(4) 果樹作経営	9
(5) 花き作経営	9
(6) 酪農経営	10
(7) 肉用牛経営	10
(8) 養豚経営	10
(9) 採卵養鶏経営	10
(10) ブロイラー養鶏経営	10

4 農業経営体

(1) 水田作経営	11
(2) 畑作経営	11
(3) 野菜作経営	12
(4) 果樹作経営	12
(5) 花き作経営	12
(6) 酪農経営	12
(7) 肉用牛経営	12
(8) 養豚経営	12
(9) 採卵養鶏経営	12
(10) ブロイラー養鶏経営	12

II 経営形態別経営統計

1 個人経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13
(3) 農業の主副業別統計表	13
(4) 青色申告経営体統計表	13
(5) 農業地域類型別統計表	13
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支	13

2 法人経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体	13
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体	13

3 農業経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13

III 農産物生産費統計

1 個別経営体

(1) 米生産費	14
(2) 小麦生産費	14
(3) 二条大麦生産費	14
(4) 六条大麦生産費	14
(5) はだか麦生産費	14
(6) そば生産費	14
(7) 大豆生産費	15
(8) 原料用かんしょ生産費	15
(9) 原料用ばれいしょ生産費	15
(10) なたね生産費	15
(11) てんさい生産費	15
(12) さとうきび生産費	15

2 組織法人経営体

(1) 米生産費	15
(2) 小麦生産費	15
(3) 大豆生産費	15

IV 畜産物生産費統計（個別経営体）

1	牛乳生産費	16
2	去勢若齢肥育牛生産費	16
3	乳用雄肥育牛生産費	16
4	交雑種肥育牛生産費	16
5	子牛生産費	16
6	乳用雄育成牛生産費	16
7	交雑種育成牛生産費	16
8	肥育豚生産費	16

本文内の記号の意味

◎： 平均値及び階層別を表章

○： 平均値のみを表章

×： 集計しない

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
I 営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（5（2）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。（Ⅱにおいても同様）
1 個人経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況は2において集計
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	◎	○	
イ 水田作主業経営	〃	◎	○	×	
ウ 稲作経営	稲作作付面積	◎	◎	○	
エ 稲作1位経営	〃	◎	◎	○	
オ 稲作単一経営	〃	◎	◎	○	
カ 稲作1位複合経営	〃	◎	◎	○	
キ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	○ ^{※1}	○ ^{※2}	※1 北海道のみ ※2 関東・東山、九州のみ
ク 麦類作1位経営		○	×	×	
ケ 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	○	×	
コ 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	○	◎	○	
イ 畑作主業経営	〃	○	◎ ^{※1}	○ ^{※2}	※1 都府県は平均値のみ ※2 九州のみ

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
ウ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
エ 大豆作経営		×	○*	×	※ //
オ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ //
カ てんさい作経営		×	○*	×	※ //
キ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
ク さとうきび作経営		×	○*	×	※ //
ケ かんしょ作経営		×	○*	×	※ //
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営					
(ア) 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
(イ) 野菜作主業経営		○	×	×	
イ 露地野菜作経営					
(ア) 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
(イ) 露地野菜作主業経営		○	×	×	
(ウ) 露地野菜作単一経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
(エ) 露地野菜作1位複合経営	//	◎	○	○	
ウ 施設野菜作経営					
(ア) 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
(イ) 施設野菜作主業経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
(ウ) 施設野菜作単一経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
(エ) 施設野菜作1位複合経営	〃	◎	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
イ 果樹作主業経営		○	×	×	
ウ 果樹作単一経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営					
(ア) 花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 花き作主業経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営					
(ア) 露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 露地花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 露地花き作単一経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営					
(ア) 施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 施設花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 施設花き作単一経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	◎*	○	※ 北海道は平均値のみ
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎*	○	※ 北海道は平均値のみ
ウ 肥育牛経営					
(ア) 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	◎*	○	※ 北海道は平均値のみ
(イ) 肉専用種が主	〃	◎	×	×	
(ウ) 乳用種が主	〃	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	◎*	○	※ 北海道は平均値のみ
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
2 個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）					単一経営は貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営		○	○	○	
イ 水田作経営青色申告経営体		○	○	○	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営		○	○	○	
イ 畑作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ ばれいしょ作単一経営		×	○	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
エ 茶作単一経営		×	○※	×	※ 都府県のみ
オ かんしょ作単一経営		×	○※ ¹	○※ ²	※ ¹ 都府県のみ ※ ² 九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営		○	○	○	
イ 野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ 露地野菜作経営		○	○	○	
（ア）露地きゅうり作単一経営		○	×	×	
（イ）露地大玉トマト作単一経営		○	×	×	
（ウ）露地なす作単一経営		○	×	×	
（エ）露地キャベツ作単一経営		○	×	×	
（オ）露地ほうれんそう作単一経営		○	×	×	
（カ）露地たまねぎ作単一経営		○	×	×	
（キ）露地レタス作単一経営		○	×	×	
（ク）露地はくさい作単一経営		○	×	×	
（ケ）露地白ねぎ作単一経営		○	×	×	
（コ）露地だいこん作単一経営		○	×	×	
（サ）露地にんじん作単一経営		○	×	×	
エ 露地野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
オ 施設野菜作経営		○	○	○	
（ア）施設きゅうり作単一経営		○	×	×	
（イ）施設大玉トマト作単一経営		○	×	×	
（ウ）施設ミニトマト作単一経営		○	×	×	
（エ）施設なす作単一経営		○	×	×	
カ 施設野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア 果樹作経営		○	○	○	
イ 果樹作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ りんご作単一経営		○	×	×	
エ 露地温州みかん作単一経営		○	×	×	
オ 露地ぶどう作単一経営		○	×	×	
カ 日本なし作単一経営		○	×	×	
キ もも作単一経営		○	×	×	
ク 施設温州みかん作単一経営		○	×	×	
ケ 施設ぶどう作単一経営		○	×	×	
コ かき作単一経営		○	×	×	
サ うめ作単一経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
シ おうとう作単一経営		○	×	×	
ス キウイフルーツ作単一経営		○	×	×	
セ すもも作単一経営		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営		○	×	×	
ウ 施設花き作経営		○	×	×	
(6) 酪農経営		○	○	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営		○	○	○	
イ 繁殖牛経営		○	○	○	
ウ 肥育牛経営		○	○	○	
(8) 養豚経営		○	○	○	
(9) 採卵養鶏経営		○	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
3 法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ 稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○※	※ 東北、北陸のみ
ウ 稲作1位経営	〃	◎	○	○※	※ 〃
エ 稲作単一経営	〃	◎	○	○※	※ 〃
オ 稲作1位複合経営		○	×	×	
カ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ 麦類作1位経営		○	×	×	
ク 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ 大豆作1位経営		○	×	×	
コ 水田作経営のうち集落営農組織法人					
(ア) 水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○※	○	※ 都府県のみ
(イ) 稲作1位経営	稲作作付面積	◎	○※ ¹	○※ ²	※ ¹ 都府県のみ ※ ² 東北、北陸のみ
(ウ) 稲作単一経営	〃	◎	○※ ¹	○※ ²	※ ¹ 都府県のみ ※ ² 東北、北陸のみ
(エ) 稲作1位複合経営		○	×	×	
(オ) 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
(カ) 麦類作1位経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(キ) 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
(ク) 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営		×	○*	×	※ //
エ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ //
オ てんさい作経営		×	○*	×	※ //
カ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
キ さとうきび作経営		×	○*	×	※ //
ク かんしょ作経営		×	○*	×	※ //
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
4 農業経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ 稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○*	※ 東北、北陸のみ
ウ 稲作1位経営	〃	◎	○	○*	※ 〃
エ 稲作単一経営	〃	◎	○	○	※ 〃
オ 稲作1位複合経営		○	×	×	
カ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ 麦類作1位経営		○	×	×	
ク 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営		×	○*	×	※ 〃
エ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ 〃
オ てんさい作経営		×	○*	×	※ 〃
カ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
キ さとうきび作経営		×	○*	×	※ 〃
ク かんしょ作経営		×	○*	×	※ 〃

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
II 経営形態別経営統計					
1 個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 青色申告経営体統計表		○	○	○	
(5) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
2 法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
3 農業経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
Ⅲ 農産物生産費統計					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体、調査対象品目が収穫皆無となった経営体及び10アール以上作付けしなかった経営体（個別経営体のうち米以外の生産費）を除く経営体を集計の対象とし、このうち、調査期間の調査対象品目の生産実績として販売がなかった経営体（個別経営体のうち米生産費については、販売量600kg未満の経営体、個別経営体のうち麦類、そば及びなたね生産費については、販売量が計算単位数量未満の経営体）並びに過去5年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた3年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体を対象とした集計を行う。 更に、全ての集計対象経営体を対象とした集計（全国のみ）も、併せて行う。
1 個別経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	府県別平均値についても表章
(2) 小麦生産費					
ア 田畑計	小麦作付面積	◎	◎	○※	※ 関東・東山及び九州のみ
イ 田畑別	〃	◎	○	×	
(3) 二条大麦生産費		○	×	×	
(4) 六条大麦生産費		○	×	×	
(5) はだか麦生産費		○	×	×	
(6) そば生産費	そば作付面積	◎	○	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 大豆生産費					
ア 田畑計	大豆作付面積	◎	◎	○*	※ 東北、北陸、関東・東山及び九州のみ
イ 田畑別	〃	◎	×	×	
(8) 原料用かんしょ生産費		○*	×	×	※ 鹿児島のみ
(9) 原料用ばれいしょ生産費	原料用ばれいしょ作付面積	×	◎*	×	※ 北海道のみ
(10) なたね生産費		○	○	×	
(11) てんさい生産費	てんさい作付面積	×	◎*	×	※ 北海道のみ
(12) さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	鹿児島及び沖縄平均値についても表章
2 組織法人経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	×	×	
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	◎	×	×	
(3) 大豆生産費	大豆作付面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農 業 地域別	
IV 畜産物生産費統計（個別経営体）					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査期間の調査対象畜の飼養実績が別添2の別表第2の分類基準に該当しなかった経営体を除く経営体を集計の対象とする。
1 牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
2 去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ 北海道のみ
3 乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
4 交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
5 子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
6 乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
7 交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
8 肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○*	○	※ //

農業経営統計調査の公表時期

統 計	公 表 時 期	
	概 要	詳 細
営農類型別経営統計		
個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年12月まで	翌々年3月まで
農畜産物生産費統計（個別経営体）		
米	翌年10月まで	翌々年3月まで
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	翌年6月まで	翌々年3月まで
そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい さとうきび	翌年8月まで	翌々年3月まで
牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年12月まで	翌々年3月まで
農産物生産費統計（組織法人経営体）		
米	翌年10月まで	翌々年3月まで
小麦	翌年6月まで	翌々年3月まで
大豆	翌年8月まで	翌々年3月まで

（注）公表時期は、調査年を基準として記載している。

農業経営統計調査の必要性等について

1 調査の目的・必要性について

農業経営統計調査は、農産物の販売を目的とする農業経営体の年間の経営及び農畜産物の生産費の実態を明らかにし、農業行政の策定・検証に必要な資料を整備することを目的としている。

調査結果は、農業施策の企画・立案・評価の根拠として利用されるほか、「食料・農業・農村基本計画」（令和7年4月11日閣議決定）における指標の策定、経営所得安定対策における交付金の算定、畜産物の生産者補給金単価の算定等に利用されている。

【政府内において想定される主な利活用】

(1) 営農類型別経営統計

〔区分〕

- 重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
- 基幹統計など重要な統計作成への利用
- 国際機関への提供など国際比較上の利用
- その他

〔具体的な利活用〕

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」の「(参考2) 技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料として利用。
 - ・ 食料自給力指標の算定に各営農類型の投入労働時間が利用。
 - ・ E B P Mに基づく政策の効果測定、見直し等の基礎データとして利用。
 - ・ 「国民経済計算」、「産業連関表」、「生産農業所得統計」及び「農業・食料関連産業の経済計算」において、農業部門の投入・産出の細目を推計する上で必要な項目について基礎データとして利用。
 - ・ 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。
- 等

(2) 生産費統計

〔区分〕

- 重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
- 基幹統計など重要な統計作成への利用
- 国際機関への提供など国際比較上の利用
- その他

〔具体的な利活用〕

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産性の向上に関するK P Iに利用。
- ・ 麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、そば及びなたねに係る諸外国との生産条件の格差による不利を補正するための交付金算定に利用（農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律）。

- ・ 甘味資源作物及び国内産糖並びにでん粉原料用いも及び国内産いもでん粉についての交付金算定に利用（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律）。
 - ・ 加工原料乳及び子牛の畜産物価格並びに肉用牛及び肉豚の経営安定交付金の算定に利用（畜産経営の安定に関する法律、肉用子牛生産安定等特別措置法）。
 - ・ 「食料・農業・農村基本計画」の「(参考2) 技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料として利用。
 - ・ 食料自給力指標の算定に各品目・畜種の計算単位当たり労働時間が利用。
 - ・ 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。
- 等

2 他の統計調査との重複

本調査のように農業経営の収支及び生産費の実態を詳細にみる統計は存在しない。

3 行政記録情報等の利活用

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成十五年九月十一日法律第七十二号）に基づき、農林水産省が保有（データベースの管理については（独）家畜改良センターが実施）している「牛個体識別台帳」のデータ（調査客体が飼養している牛個体ごとの性別、品種、出生月、購入月、売却月、死亡月）を活用している。

「牛個体識別台帳」を利用することにより、当該データで把握できる事項については、当省職員において調査票に記入することができ、調査客体への聞き取り又は自計が不要となり、報告者負担の軽減が図られる。

4 事業所母集団データベースを利用した重複是正等

本調査は、次の標本選定期に至るまで5年間調査客体を固定して実施することから、次回、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、令和8年12月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、令和9年8月下旬までに実施し、重複是正措置結果の事業所母集団データベースシステムへの登録については、各調査、調査票配布後1か月後までに実施予定である。

また、履歴登録は、調査結果名簿を、営農類型別経営統計（法人経営体）については、毎年8月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、毎年7月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、毎年4月中旬までに提出することを予定している。

（直近の実績：営農類型別経営統計（法人経営体）は令和7年8月28日、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）は令和7年7月28日、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）は、令和7年4月10日に登録済み。）